

香川県立ミュージアム 年報

第 14 号（令和 3 年度）

香川県立ミュージアム

I 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

II 事業の概要

本館

1 展示・企画事業

(1) 館内展示

- ①歴史展示・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ②常設展示・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ③特別展示・・・・・・・・・・・・・・ 9
- ④ロビー展示・・・・・・・・・・・・・・ 23
- ⑤展示案内（委託業務）・・・・・・・・ 23
- ⑥音声ガイドシステム・・・・・・・・ 23
- ⑦貸館事業・・・・・・・・・・・・・・ 23

(2) 館外展示・・・・・・・・・・・・・・ 23

- ①市町等共同企画展示・・・・・・・・ 23

(3) 企画・広報

- ①広報活動・・・・・・・・・・・・・・ 23
- ②パスポート事業・・・・・・・・・・・・ 24

(4) 展覧会企画力向上事業・・・・・・・・ 25

2 地域連携事業

(1) 学校教育支援事業

- ①ミュージアム活用研究会・・・・・・・・ 26
- ②教員向けの講座
（ティチャーズプログラム）・・・・ 26
- ③館蔵資料・作品の複製教材の
制作、貸出・・・・・・・・・・・・・・ 26
- ④学校への広報・・・・・・・・・・・・・・ 27
- ⑤校外学習等への協力・・・・・・・・ 27
- ⑥教員研修会への協力・・・・・・・・ 28
- ⑦職場体験学習・インターンシップ
への協力・・・・・・・・・・・・・・ 28
- ⑧大学との連携・・・・・・・・・・・・・・ 28
- ⑨博物館実習・・・・・・・・・・・・・・ 28
- ⑩その他の学校等との連携・・・・・・ 29
- ⑪体験学習室・・・・・・・・・・・・・・ 29

- ⑫図書コーナー・・・・・・・・・・・・・・ 29
- ⑬ビデオライブラリー・・・・・・・・・・ 29

(2) 地域連携活動

- ①職員の講師等の派遣・・・・・・・・ 30
- ②地域資料調査・・・・・・・・・・・・・・ 30
- ③ボランティア・・・・・・・・・・・・・・ 31
- ④香川県資料館協議会・・・・・・・・ 31

(3) 普及活動

- ①ワークショップ・・・・・・・・・・・・ 32
- ②キッズワークショップ・・・・・・・・ 32
- ③特別展関連イベント・・・・・・・・ 32
- ④講演会・・・・・・・・・・・・・・ 34
- ⑤学芸講座・・・・・・・・・・・・・・ 34

3 調査研究事業

(1) 調査研究活動

- ①寺社総合調査・・・・・・・・・・・・ 35
- ②収蔵資料の調査研究・・・・・・・・ 35
- ③資料所在等の確認調査・・・・・・・・ 35
- ④展示に係る調査・・・・・・・・・・・・ 35
- ⑤レファレンス等による対応・調査
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
- ⑥他機関との共同研究・・・・・・・・ 36
- ⑦各種研修の受講・・・・・・・・・・・・ 36

(2) 成果物公表

- ①研究成果の公表・・・・・・・・・・・・ 37
- ②刊行物・・・・・・・・・・・・・・ 39

4 資料の収集・整理・保管事業

(1) 資料収集活動

- ①購入資料・・・・・・・・・・・・・・ 40
- ②寄贈資料・・・・・・・・・・・・・・ 40
- ③寄託資料・・・・・・・・・・・・・・ 40
- ④移管・その他・・・・・・・・・・・・ 40
- ⑤文献資料・・・・・・・・・・・・・・ 41

(2) 資料整理保管活動

- ①収蔵資料管理システム・・・・・・・・ 41
- ②虫菌害対策・・・・・・・・・・・・・・ 41

(3) 館外特別利用状況	⑤ レファレンス等による調査 57
① 貸出利用 42	⑥ 教育普及に伴う調査 57
② 閲覧利用 44	(2) 成果物の公表
③ 画像利用 45	① 研究成果の公表 57
	② 刊行物 58

分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

1 展示・企画事業

(1) 館内展示

① 常設展示 52
② 収蔵展示 52
③ 中央ロビーでのケース展示 52
④ 第1展示室での漁撈用具調査研究 報告展示 53
⑤ 休憩コーナーでの館蔵資料展示 53
⑥ 休憩コーナーでの季節展示 53
⑦ 「瀬戸内ギャラリー」企画展示 53
⑧ テーマ展示 54
⑨ 巡回展示 54
⑩ サテライト展示 54

(2) 広報 54

2 地域連携学習支援事業

(1) 学校教育支援活動 55

(2) 地域連携活動

① 職員の講師派遣 55
② 他機関との連携、地域の活動への 協力 55
③ ボランティア 55

(3) 普及活動

① れきみん講座 56
② ワークショップ 56

3 調査・研究事業

(1) 調査研究活動

① 歴史民俗総合調査研究 57
② 有形民俗資料の調査研究 57
③ 無形民俗資料の調査研究 57
④ 展示に係る調査 57

4 資料の収集・整理・保管事業

(1) 資料収集活動

① 民俗資料 58
② 文献資料 58

(2) 資料整理保管活動

① 資料整理活動 58
② 収蔵資料管理システム 59

(3) 資料の特別利用

① 閲覧利用 60
② 画像利用 60

分館 香川県文化会館

1 展示事業 62

2 貸館事業

(1) 県民ギャラリー 62
(2) 芸能ホール 62
(3) 和室 62

III 組織と運営

1 組織・職員

(1) 組織図 63
(2) 職員名簿 63

2 予算 63

3 香川県立ミュージアム運営協議会 63

4 利用状況 65

IV 施設の概要

本館

1 建築等の概要 66

2 面積 67

3 各階配置図・平面図 68

分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

- 1 建築概要・・・・・・・・・・・・・70
- 2 面積・・・・・・・・・・・・・70
- 3 平面図・・・・・・・・・・・・・71

分館 香川県文化会館

- 1 建築概要・・・・・・・・・・・・・72
- 2 面積・・・・・・・・・・・・・72
- 3 平面図・・・・・・・・・・・・・72

V 条例・規則等

- 香川県立ミュージアム条例・・・・・・・・・・74
- 香川県立ミュージアム規則・・・・・・・・・・74
- 教育委員会の権限に属する事務の
委任・・・・・・・・・・・・・78
- 香川県立ミュージアムの管理運営
のための組織規則・・・・・・・・・・79
- 香川県立ミュージアム使用料規則・・・・・・・・80
- 香川県政策部文化芸術局における歴史、
美術及び民俗に関する資料収集方針・・・・82
- 香川県政策部文化芸術局における歴史、
美術及び民俗に関する資料収集要綱・・・・84
- 利用案内・・・・・・・・・・・・・86

I 沿革

年	月	香川県文化会館	瀬戸内海歴史民俗資料館	香川県歴史博物館
昭和 39 年	10 月	建築工事着工		
昭和 41 年	3 月	建築工事竣工		
	4 月	開館（1 日） 開館記念「第 31 回香川県美術展覧会」開催（以後毎年開催）		
昭和 47 年	1 月		建築工事着工	
	4 月		香川県教育委員会社会教育課内に設置準備室設置	
昭和 48 年	3 月		建築工事竣工	
	8 月		発足	
	11 月		開館（3 日）	
			開館記念特別展示「国宝 伝讃岐国出土袈裟襷文銅鐸」	
昭和 50 年	5 月		日本建築学会賞受賞	
昭和 55 年	3 月		漁撈収蔵庫建築工事竣工	
昭和 60 年	9 月	「県展 50 周年記念県展回顧展」開催		
		県展 50 周年記念レセプション開催、「県展史」発行		
昭和 63 年	11 月	置県百年記念「香川の工芸の 100 年展」開催		
平成 6 年	4 月			香川県教育委員会に建設準備室設置
平成 8 年	7 月			建築工事起工
平成 9 年	9 月	第 1 回 JIA25 年賞受賞		
平成 10 年	10 月		公共建築百選顕彰	
平成 11 年	3 月			建築工事竣工
	11 月			開館（16 日）
平成 12 年	4 月			開館記念特別展「徳川御三家展」開催
平成 15 年	7 月		開館 30 周年記念建造物「歴民の灯台」除幕式	
平成 17 年	11 月			文化財保護法第 53 条に基づく公開承認施設として承認される
平成 19 年	4 月		瀬戸内海歴史民俗資料館が香川県歴史博物館の分館となる	
		香川県立ミュージアム		
平成 20 年	4 月	香川県歴史博物館と香川県文化会館を統合し香川県立ミュージアム開館（1 日）		
		本館（旧歴史博物館）のほか、文化会館と瀬戸内海歴史民俗資料館の 2 分館体制となる（文化会館は改修工事のため一時休館）		
		開館記念展「静かなる情熱－藤川勇造とロダンの美」開催		
平成 21 年	4 月	文化会館の改修が終わり、県民ギャラリーがオープン		
平成 22 年	10 月	県立ミュージアム入館者 50 万人達成（13 日）		
	11 月	公開承認施設 更新		
平成 24 年	9 月	本館常設展示室 2・4・5、多目的室を改修		
平成 25 年	10 月	県立ミュージアム入館者数 100 万人達成		
		瀬戸内海歴史民俗資料館が DOCOMOMO Japan「日本におけるモダンムーブメントの建築 164」選出		
平成 27 年	3 月	瀬戸内海歴史民俗資料館所蔵「西日本の背負運搬具コレクション」310 点が国重要有形民俗文化財に指定される		
	11 月	公開承認施設 更新		
令和元年		県立ミュージアム入館者数 150 万人達成		
令和 2 年		瀬戸内海歴史民俗資料館 第 1 展示室天井耐震改修、「瀬戸内ギャラリー」開設		
	11 月	公開承認施設 更新		

II 事業の概要

本館

1 展示・企画事業

(1) 館内展示

① 歴史展示

歴史展示室では、香川県の生い立ちから現代までの歩みを通観できるよう、「かがわ今昔—香川の歴史と文化」と題して、原始・古代・中世・近世・近現代の5つの時代に分け、各時代を計20の大項目にそって展示を行っている。各時代入口には、象徴する建物や景観などを再現したメイン展示とあらましを紹介した映像（歴史ショーステージ）を配し、時代状況を捉えやすくしている。さらに、展示内容をより詳しく紹介するために、各時代の番組をタッチパネル式のモニターで放映している（詳覧映像。ただし、当該年度は新型コロナウイルス感染症対策のため休止とした）。

歴史展示室は固定的な展示物も多いため、その内容が大きく変わることはないが、調査研究の成果を展示に反映するとともに、展示資料の保護と収蔵資料の活用を目的として資料の展示替えを実施している。令和3年度は6月、11月、3月に定期的な展示替えを行った。

【展示替え実績】

第1回	令和3年6月19日（土）	33件39点
第2回	令和3年11月15日（月）	38件46点
第3回	令和4年3月3日（木）	49件64点

歴史展示一覧

時代	原始	古代	中世	近世	近現代
	讃岐のあけぼの	古代の讃岐	躍動する武士と讃岐	江戸時代の社会と人々の暮らし	香川県の成立と発展
歴史ショーステージ	ガイダンス映像	ガイダンス映像	ガイダンス映像	ガイダンス映像 高松城下を歩く	ガイダンス映像
メイン展示	狩りをする旧石器時代の人々 縄文の森 堅穴住居	今岡古墳出土埴輪組陶棺 乾漆聖観音坐像 讃岐五大師	志度寺縁起 白峯寺十三重塔 明王寺釈迦堂瓦 蒙古襲来絵詞	江戸講中燈籠 高松塩飽漁場争論裁許状 高松城下図屏風 四国古図 庄屋の蔵 讃岐の生んだ人物	昭和初期の教室 昭和20年代の住宅
詳覧展示	氷河期を生き抜いた人々 旧石器時代の暮らし 石器をつくる 森と海に生きる人々 瀬戸内海の成立 縄文土器 自然の中で生きる(海の暮らし) 自然の中で生きる(山の暮らし) 新しい文化の伝来 米を作る暮らし 弥生の技術 弥生人の祈り 争いとムラの統合	支配者の誕生 前方後円墳の時代 ムラの暮らしと渡来系文化 律令国家と讃岐 讃岐国の成立 条里制 寒早十首の世界 仏教文化の伝来と発展 変容 国分寺と古代寺院 讃岐の高僧たち 仏教の変容と末法思想 律令体制の変容 地方政治の変質と純友の乱	武家政権の成立 崇徳上皇と源平合戦 讃岐の荘園 公領 蒙古襲来 細川氏の支配と文化 細川氏と讃岐 中世の流通 中世讃岐の神仏信仰 信仰の広がり 讃岐の戦国時代 細川氏から三好氏へ 長宗我部元親と讃岐	統一政権と生駒藩 統一政権と生駒藩 生駒氏の讃岐支配 生駒騒動 三藩の成立 高松藩の成立 丸亀 多度津藩の成立 幕府領と朱印地 讃岐三白と廻船 町の暮らし 村の暮らし 讃岐廻船と湊の発達 金毘羅参詣と四国遍路 金毘羅参り 四国遍路と旅する人々 幕末の動乱 開国と攘夷のはざままで 幕末外交使節と讃岐人の活躍 明治維新と讃岐の動向	香川県の成立 藩から県へ 博文社と分県独立運動 第三次香川県の成立 文明開化と殖産興業 「開化」と人々の暮らし 博覧会と産業の近代化 デモクラシーと民衆 日清 日露戦争と農村の変化 大衆文化と観光地の発展 民衆運動のたかまり 戦中 戦後の県民生活 15年戦争のはじまり 戦後の復興
詳覧映像	瀬戸内海の2万年 銅鑄絵画の世界	讃岐の古代遺跡 讃岐のみほとけ 菅原道真と讃岐	水主神社の経函 中世の埋納銭	寛政の百姓一揆 讃岐三白 庄屋の蔵ガイダンス映像	香川の近代建築1 2 汽車が電車が香川を走る 戦後の公営住宅

②常設展示

歴史・美術にかかわるテーマの展示を、収蔵品を中心に企画し、5つの展示室で展示している。一部の展示について、観覧の補助として展示ごとの解説シートを作成し、観覧者へ無料配布した。また、各会期中には担当者によるミュージアムトークを実施した。各展示の内容・会期等は、表「常設展示一覧」参照。

〔常設展示室1〕

展示室は通年の「高松松平家歴史資料コーナー」と「テーマ展示」の二部構成からなる。

「高松松平家歴史資料コーナー」では甲冑や大名行列道具等の複製品や参勤交代等で用いられた藩主専用船の一室を復元した「御座之間」を通年展示し、松平家に伝来した書画、武具、古文書等の資料を順次展示している。

「テーマ展示」は5企画を実施した。

「描いて、眺めて 讃岐の文人画」は、江戸時代に多く描かれた文人画について、讃岐出身あるいは讃岐を拠点に活動した文人画家たちの作品を紹介した。また、国宝「藤原佐理筆詩懷紙」を特別公開（4月16日～5月2日）した。

「高松松平家名品展」は、高松松平家歴史資料の中から、指定文化財を中心とする美術工芸の名品を紹介した。主な展示資料は「法華経 卷六」（重要文化財）、玉楮象谷「一角印籠」（重要美術品）、「衆鱗図 第三帖」（県指定有形文化財）など。

「野の香に愛でる 日本絵画の妙」は、幕末から明治、現代へと受け継がれてきた日本の伝統絵画について、松平家に伝わる絵画資料や香川ゆかりの近代日本画を通して紹介した。主な展示資料は沈南蘋「松鹿図」、紀太理兵衛「蜀葵図」、村上委山「菊二小鳥図」、馬場不二「朝顔」など。

「高松松平家と県立工芸学校」は、明治31（1898）年に設立された香川県立工芸学校の関係者が制作し、松平家へ納められた作品を通じて、工芸学校と松平家との関係や作品制作の背景について紹介した。主な展示資料は三字扁額「玉藻廟」、「雌雄銀鳥」（松平公益会蔵）、「摂政官使用 テーブル・椅子」など。

「あちこち旅日記」は、当館が所蔵する様々な旅日記を中心に、伊勢参詣や金毘羅参詣、四国遍路など、江戸から明治時代を中心とした旅の様子を紹介した。なお、重要文化財「木造倭迹々日百襲姫命坐像」（国所有）を特別公開（3月8日～4月24日）した。

〔常設展示室2〕

当館収蔵のアート・コレクションを活用して4企画を実施した。

「20世紀の美術Ⅰ 一人物・風景・静物」は、特別展「空間に生きる画家 猪熊弦一郎」に関連し、猪熊弦一郎と同時代のルオー、ヴラマンクなどの西洋画家と、藤川勇造、井上孟など香川ゆかりの作家の作品を紹介した。

「岩倉壽 一心に映す風景」は、三豊市出身の日本画家・岩倉壽について、東山魁夷せとうち美術館の秋の特別展「岩倉 壽 一自然を掬う」と連携して開催した。主に当館が令和2年度に新規収蔵した日展出品の大作などを展示し、その画業を振り返りながら、独特の世界観を紹介した。

「ColorsⅠ 色彩に遊ぶ 一野見山暁治・木村忠太」は、福岡県出身の野見山と本県出身の木村に、青年時代は戦時下に生き、戦後にフランス・パリで出会い、それぞれ活躍した二人に注目。近年収蔵した作品から色彩に遊ぶ二人の競演として紹介した。

「20世紀の美術Ⅱ 一版画の世界」は、西洋美術作品から版画を取り上げ、特に版画の装丁に注目しながら紹介した。

〔常設展示室3（空海室）〕

「弘法大師空海の生涯と事績」と題し、通年で香川県ゆかりの弘法大師空海の生涯の歩みを中心に紹介する。展示室は京都東寺の灌頂院（重要文化財）の内部空間を部分的に縮小し、曼荼羅と五大尊を掲出した内陣空間を再現し、密教儀礼の場面を演出している。曼荼羅と五大尊は実物の複製品と復元制作品を定期的に入れ替えている。

〔常設展示室4・5〕

当館収蔵のアート・コレクションを活用した2企画と収蔵資料のほか館外の資料を借用した歴史系の企画を実施した。

「生誕110年 明石朴景 一物語を紡ぐ、漆の世界」は、本県出身の漆芸家・明石朴景の生誕110年の節目にあたり、当館で初めて収蔵作品全21点を一堂に展示し、明石の活動の軌跡とその作品の魅力を紹介した。

「私の町にも映画館があった」は、戦前から戦後にかけて各市町村に所在した映画館について、その誕生から広がり、流通、公共性、建築と様々な視点から、当時の写真・地図・資料を用いて、香川県の映画館がたどってきた歴史や魅力について紹介した。

「ColorsⅡ 響きあう色彩 一江戸健」は、丸亀市出身の画家・江戸健の作品を、師・猪熊弦一郎との長年にわたる交流と「旅」をテーマに、初期から晩年にわたる油彩作品と版画作品及び資料を展示した。

	No.127	に、伊勢参詣や金毘羅参詣、四国遍路など、江戸から明治時代を中心とした旅の様子を紹介した。	※R4.3.12(土)・13(日)・19(土)～21(月・祝) 臨時休館 [50日間]	5.8(日)
常設展示室2				
7	アート・コレクション 20世紀の美術Ⅰ—人物・風景・静物	特別展に関連して、猪熊弦一郎が生きた時代の西洋の作家と香川ゆかりの作家の美術作品を展示した。	3.30(火)～8.8(日・祝) ※5.3(月・祝)～31(月)、 6.5(土)・6(日)・12(土)・ 13(日)・19(土)・20(日) 臨時休館 [79日間]	4.10(土)
8	アート・コレクション 岩倉壽 一心に映す風景	香川県三豊市出身の日本画家、岩倉壽(1936～2018)の新収蔵作品を中心に紹介した。 ※同時期開催の、東山魁夷せとうち美術館「岩倉壽—自然を掬う」[9.18(土)～11.7(日)]においても当館収蔵作品が公開された。	9.14(火)～12.12(日) ※9.14(火)～30(木)、 10.2(土)・3(日) 臨時休館 [61日間]	10.16(土) 10.30(土)
9	アート・コレクション ColorsⅠ 色彩に遊ぶ—野見山暁治・木村忠太 No.124	近年新たに収蔵した作品から、福岡県出身の野見山暁治(1920～)と香川県高松市出身の木村忠太(1917～87)による激しく華やかな色彩の油彩画を紹介した。	12.14(火)～R4.3.21(月・祝) ※R4.3.12(土)・13(日)・ 19(土)～21(月・祝) 臨時休館 [69日間]	1.16(日) 2.19(土)
10	アート・コレクション 20世紀の美術Ⅱ—版画の世界	当館所蔵作品から、西洋の版画作品を紹介した。	R4.3.23(水)～5.8(日) [42日間]	3.27(日)
常設展示室3				
11	弘法大師空海の生涯と事績	空海の生涯と事績について関連資料を通して紹介。空海ゆかりの国宝・重要文化財など貴重な資料の複製品を中心に、館蔵の四国徧礼図など遍路関係資料も展示。	1期:3.9(火)～8.8(日・祝) 2期:9.14(火)～11.14(日) 3期:11.16(火)～R4.2.27(日) 4期:R4.3.8(火)～6.5(日)	—
常設展示室4・5				
12	アート・コレクション 生誕110年 明石朴景—物語を紡ぐ、漆の世界 No.121	香川県高松市出身の漆芸家、明石朴景(1911～92)の作品に通底する物語世界を、所蔵作品を通して紹介した。	9.14(火)～10.24(日) ※9.14(火)～30(木)、 10.2(土)・3(日) 臨時休館 [19日間]	10.9(土)
13	私の町にも映画館があった No.123	香川県内の映画館について、戦前から戦後にかけての分布の推移や関係資料、近年の調査の成果を、当館所蔵の歴史資料とともに紹介した。	10.29(金)～12.19(日) [45日間]	11.27(土) 12.12(日)
14	アート・コレクション ColorsⅡ 響きあう色彩—江戸健 No.126	香川県丸亀市出身の洋画家、江戸健(1927～2017)の生涯や作風の変遷について、新収蔵作品を中心に初期から晩年にわたり紹介した。	R4.1.22(土)～3.21(月・祝) ※R4.3.12(土)・13(日)・ 19(土)～21(月・祝) 臨時休館 [40日間]	1.22(土) 2.27(日)

※No. は解説シート発行番号。1「高松松平家歴史資料」及び11「弘法大師空海の生涯と事績」についても個別解説シートを作成した。

③特別展示

令和3年度は、大規模な展覧会を含む計4回の特別展を実施した。うち3展示については新型コロナウイルス感染症の影響により会期等に変更があった（詳細は表「特別展一覧」参照）。こうしたなか、各展示ともTwitter・YouTubeなどのSNSを活用し、展示解説等の動画配信に努め、それぞれの概要を分かりやすく発信し、とくに春・秋の特別展においては展示解説の手話動画を初めて作成し配信した。

春の「空間に生きる画家 猪熊弦一郎 一民主主義の生活空間と造形の試み」では本県出身の画家・猪熊弦一郎（1902～93）の長年にわたる制作活動のうち、終戦直後から1950年代頃の多様な仕事に注目し、激しく変化する時代を反映しながら絵画の枠を超えて芸術に向き合った猪熊を4部構成で紹介した。関連行事については講演会及びトーク・イベントを中止した。なお事業実施にあたり、公益財団法人花王芸術・科学財団及び一般財団法人地域創造の助成を得た。

展示は当館及び丸亀市猪熊弦一郎現代美術館の所蔵作品及び資料を中心に、地域に根差した美術作品ほか関連資料も活用し、出品総数は190件307点になった。

美術と歴史の分野に及ぶ当館ならではの特質を活かし、美術作品と共に関連する歴史資料を豊富に展示したことにより、時代背景や猪熊の半生を丁寧に辿り、県民にとってすでに親しみのある作家を、これまでにない新鮮な切り口で紹介することができた。

特に1950年代頃に猪熊が建築やデザインの仕事を手掛けたことに注目し、絵画作品にとどまらない猪熊の多彩な活躍を新たに提示することができた。なお、三越包装紙「華ひらく」とデザイン原画を紹介するにあたり、株式会社三越伊勢丹ホールディングス、株式会社高松三越の協力を得た。

秋の「近代香川を生み出したまち 多度津ものごと」は、当館の掲げる使命「地域とともに歩む博物館」（「香川県立ミュージアム中期活動計画」）に基づき、平成28年度より取り組んできた多度津町の資料調査成果を踏まえ、多度津町が持つ特性や魅力を展覧会として紹介するため、同町及び同町教育委員会との共催により実施した。関連行事については、展覧会と地域活動を連続するものとして位置づけ、現地でのイベントも積極的に実施した。なお事業実施にあたり、独立行政法人日本芸術文化振興会、公益財団法人松平公益会の助成を得た。

展示は当館及び多度津町立資料館等の資料ほか、画像パネル等も効果的に用い、総展示数152点になった。

多度津町は、港を通じて、海から文化が流入し、また外の世界へ押し出していくという特徴がある。特に多度津の「香川に近代をもたらしたまち」とい

うイメージを「港」と「近代化」を切り口に、分かりやすく紹介することができた。また、これまでの発掘や歴史研究の成果、近年実施された伝統的建造物群保存対策調査の成果も取り上げ、多度津町への関心と理解をひろく促すことができた。館外で実施した関連行事は、多度津町立資料館の企画展「ヒストリート 多度津」や文化財の現地公開等、多くの方の来訪者があり相乗効果があった。

昨年度開催中止となった「第85回香川県美術展覧会」は、応募数1,044点に対し入選数467点であった。3密回避など新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて応募作品の搬入・搬出、鑑審査などを実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館に伴い展示の一般観覧を中止した。ただし、出品者等関係者のみの観覧を事前予約制により実施し、各部門の審査員による入賞作品の解説及び展示会場の様子を撮影した動画をYouTubeで配信した。なお、本事業は公益財団法人南海育英会の助成を得た。

「第68回日本伝統工芸展」は、会場内の密を避ける目的で、例年より列品数を減らして200点とし、列品間隔を確保して、観覧者間の社会的距離を確保するなど、感染予防対策を講じて実施した。

関連事業として、例年実施していた列品解説は、昨年度に引き続きYouTubeで動画発信し、子ども向けの漆制作ワークショップは実施を見送り、代わりに県内作家6名の出品作品と制作活動について紹介した『作家さんにインタビュー』を作成して、県下小学校の4・5・6年生に配布した。なお、本事業は令和3年度文化庁補助事業として実施し、公益財団法人南海育英会、松平公益会の助成を得た。

特別展示一覧

	展示名	内 容	会 期	入場者数
1	空間に生きる画家 猪熊弦一郎 —民主主義の生活 空間と造形の試み	香川県出身の画家・猪熊弦一郎（1902～1993）は戦後すぐの日本で、生活空間や協働にも関わる総合芸術として建築やデザインへ強い関心を持ち、平面と立体にまたがるような作品を数多く手掛けた。多様に芸術に向き合った猪熊を、初公開作品を含む 190 件 307 点の作品・資料から新たな視点でとらえた。	4. 17（土）～6. 6（日） ↓ 変更後 4. 17（土）～7. 4（日） ※5. 3（月・祝）～31（月）、6. 5（土）・6（日）・12（土）・13（日）・19（土）・20（日）臨時休館 夜間開館 4 日間 ※5. 3 以降夜間開館中止 [38 日間]	2, 743 人
2	第 85 回 香川県美術展覧会	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため臨時休館。出品者等の関係者のみの観覧とした。	1 期：彫刻（立体表現）・工芸・書 7. 1（木）～11（日） ↓ 変更後 8. 12（木）～22（日） [11 日間] 2 期：絵画（日本画・洋画）・写真 7. 15（木）～25（日） ↓ 変更後 8. 26（木）～9. 5（日） [11 日間]	1, 450 人 ※出品者等 予約観覧対 応
3	近代香川を生み出したまち 多度津ものがたり	地域に所在する資料の保存（文化財レスキュー）を主とした調査活動の成果をもとにしつつ、「港」と「近代化」を切り口に多度津のまちの歴史や魅力のほか、地域の調査活動も紹介した。また、展示に合わせて現地ワークショップや出前事業等の学校連携を実施し、地域との協働を図った。	9. 18（土）～11. 23（火・祝） ※9. 18（土）～30（木）、10. 2（土）・3（日）臨時休館 [44 日間]	4, 907 人
4	第 68 回 日本伝統工芸展	先人から受け継いできた優れた技を磨き、現代生活に即して築き上げられた新しいかたちを紹介。重要無形文化財保持者の作品、受賞作品及び四国在住作家の入選作品を中心に、陶芸、漆芸、金工、木竹工、人形等 200 点を展示。	R4. 1. 2（日）～16（日） [15 日間]	4, 360 人

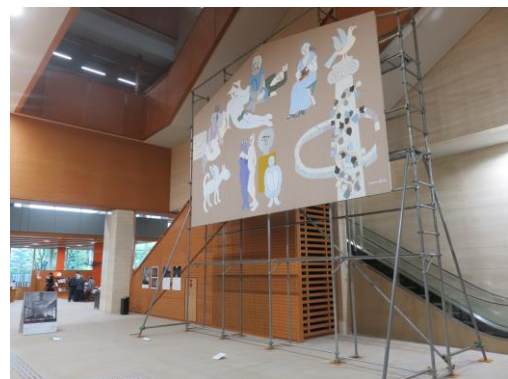
空間に生きる画家 猪熊弦一郎

大きな身体をどうにか
一人の方では足りないのです。
けれども、それは絶対

空間に生きる画家
猪熊弦一郎
— 民主主義の生活空間と造形の試み

2021.4.17 sat. 6.6

香川県立ミュージアム



出品一覧

番号	作者名	作品・資料名	制作年	主な技法・材質・形態	寸法 (cm)	所蔵	備考
提示部 平面であり立体でもある作品たち							
1	猪熊弦一郎	三越包装紙《華ひらく》	1950	紙			1950年クリスマス用、51年中元より常用
2	猪熊弦一郎	三越包装紙《華ひらく》原画	1950	水彩、紙	53.5×74.5	株式会社三越伊勢丹ホールディングス蔵	
3	猪熊弦一郎	三越包装紙《華ひらく》型紙	1950	インク、水彩、紙	可変 15枚組	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
4	猪熊弦一郎	三越ショッパー原画	1957頃	鉛筆、水彩、紙、コラージュ	40.8×23.6	株式会社三越伊勢丹ホールディングス蔵	
5	猪熊弦一郎	三越ショッパー	1957～	紙	40.0×32.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	1957～2014 使用
6	猪熊弦一郎	三越クリスマス用包装紙原画	不明	コラージュ	45.5×60.5	株式会社三越伊勢丹ホールディングス蔵	
7	猪熊弦一郎	三越クリスマス用包装紙原画	1986	インク、セロファン、紙	59.0×89.5	株式会社三越伊勢丹ホールディングス蔵	
8	猪熊弦一郎	三越クリスマス用包装紙	1986	紙	59.9×90.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
9	猪熊弦一郎	三越クリスマス用ショッパー原画	1986	インク、セロファン、紙	59.0×89.5	株式会社三越伊勢丹ホールディングス蔵	
10	猪熊弦一郎	三越クリスマス用ショッパー	1986	紙	40.0×32.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
11	猪熊弦一郎	三越デザイン案スケッチ	不明	鉛筆、クレヨン、紙	約 12.0×15.0	個人蔵	15点
12	猪熊弦一郎	香川県物産協会包装紙	1955頃～	紙	54.4×78.9	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
13	猪熊弦一郎	文明堂新宿店包装紙	1953頃～	紙	53.9×93.5	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
14	猪熊弦一郎	文明堂新宿店風呂敷	1961	絹	72.0×72.8	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
15	猪熊弦一郎	風呂敷	不明	絹	69.0×	丸亀市猪熊弦一郎現	

					71.0	代美術館蔵	
16	猪熊弦一郎	風呂敷	不明	絹	72.0× 72.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
17	猪熊弦一郎	風呂敷	不明	絹	65.5× 64.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
18	猪熊弦一郎	風呂敷	不明	絹	72.0× 75.5	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
19	猪熊弦一郎	風呂敷	不明	絹	70.0× 68.5	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
20	猪熊弦一郎	風呂敷	不明	絹	66.5× 66.5	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
21	猪熊弦一郎	《水平都市シリーズ「オートルート1」》	1971	シルクスクリーン	56.0× 75.4	館蔵	
22	猪熊弦一郎	《水平都市シリーズ「マンハッタン」》	1971	シルクスクリーン	56.0× 75.5	館蔵	
23	猪熊弦一郎	《水平都市シリーズ「ピンクシティ2」》	1971	シルクスクリーン	55.6× 74.7	館蔵	
24	猪熊弦一郎	《秩序と町》	1964	油彩、カンヴァス	193.9× 130.3	館蔵	
25	猪熊弦一郎	《グリーンハイウェイ No.3》	1968	アクリル、カンヴァス	202.4× 176.9	館蔵	
26	猪熊弦一郎	着物（幾何学）	不明	絹	154.5× 136.0	個人蔵	
27	猪熊弦一郎	浴衣	不明	綿	148.0× 125.0	個人蔵	
28	不明	着物デザイン画	不明	鉛筆、パステル、画用紙	36.1× 27.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	2点
29	猪熊文子	銀彩ゆかた（あづまずし）	不明	綿	幅 34.0	個人蔵	
30	不明	銀彩ゆかた（魚）	不明	綿	幅 34.0	個人蔵	
31	猪熊弦一郎	銀彩ゆかた（H55）	不明	綿	幅 34.0	個人蔵	
32	猪熊弦一郎 他	銀彩ゆかた シャグリ会 東京中形流行研究会（生地見本）	不明	綿	65.5× 35.0	個人蔵	31柄＋表書と裏の計33枚が綴じられている
33	猪熊弦一郎	生地《猫の庭》	1955	綿	幅 70.5	個人蔵	『週刊朝日』1955年6月19日号表紙掲載
34	猪熊弦一郎	クッションカバー（茶色）	不明	綿	49.5× 33.5	個人蔵	
35	猪熊弦一郎	浴衣地（薔薇）	1952頃	麻	幅 34.0	個人蔵	それいゆ掲載
36	（資料）	『それいゆ』臨時増刊(3)夏号 [生活の絵本]	1952	冊子	17.7× 20.8×1.0	館蔵	ひまわり社発行「ゆかたを夏のかていぎにする」
37	（資料）	『ひまわり』1952年7月号	1952	冊子	20.7× 18.3×0.9	館蔵	ひまわり社発行6巻7号「画家の描いたゆかた」
展開部 背景をひもとく							
1 激動の時代							
38	猪熊弦一郎	《自画像》	1926頃	油彩、カンヴァス	60.0× 50.0	館蔵	
39	猪熊弦一郎	《座像》	1929	油彩、カンヴァス	145.0× 112.0	館蔵	第10回帝展出品 特選
40	猪熊弦一郎	《画室》	1932	油彩、カンヴァス	180.3× 290.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	第13回帝展出品
41	猪熊弦一郎	《二人》	1936	油彩、カンヴァス	194.0× 130.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	第1回新制作派協会展出品
42	（資料）	新制作派協会規約 下書き	1936頃	墨、和紙	24.8× 118.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
43	猪熊弦一郎	スケッチブック 茶表紙	不明	紙	37.3× 28.5×0.5	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
44	（資料）	新制作派マーク バッジ	不明	金属	1.5×1.5 ×1.3	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	脇田和デザイン
45	（資料）	『新制作派』1～3号	1936～ 38	冊子	26.0× 19.0	館蔵	
46	猪熊弦一郎、 佐藤敬	『新制作派』1 表紙原画	1936頃	鉛筆、水彩	28.3× 21.3	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	猪熊編集号の表紙
47	（資料）	新制作派協会 絵はがき	1936～ 37	絵はがき	8.9×13.9	館蔵	

48	藤島武二	《五剣山の日の出》	1932	油彩、カンヴァス	37.8×45.3	館蔵	
49	猪熊弦一郎	《自動車と家族》	1938	油彩、カンヴァス	72.5×60.5	館蔵	
50	猪熊弦一郎	《葉をもつ女》	1939	油彩、カンヴァス	81.0×59.0	館蔵	
51	猪熊弦一郎	《ニースの女》	1939	油彩、カンヴァス	92.0×60.4	館蔵	
52	猪熊弦一郎	《レゼジーの駅》	1939	油彩、カンヴァス	48.6×59.8	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
53	猪熊弦一郎	《ホテル・レゼジィ》	1939	油彩、カンヴァス	54.5×45.7	館蔵	
54	猪熊弦一郎	《ヴィオロンと女》	1940	油彩、カンヴァス	80.6×60.4	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
55	猪熊弦一郎	《壮絶なる風景（コレヒドール）》	1942	油彩、カンヴァス	111.5×144.2	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	第7回新制作派協会展出品
56	猪熊弦一郎	《フィリッピンの子供》	1942頃	油彩、カンヴァス	71.5×52.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
57	(資料)	手回しオルゴール	不明	金属	5.5×5.4×4.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	猪熊旧藏品
58	猪熊弦一郎	《病室》	1944	油彩、板	40.9×31.5	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
59	猪熊弦一郎	《矢車草》	1944	油彩、板	40.8×31.4	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
60	(資料)	猪熊弦一郎宛書簡	1939～46頃	インク、水彩、紙		丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	藤田嗣治書簡4点、佐藤敬書簡1点
61	猪熊弦一郎	《ダムのある風景》	1945頃	油彩、カンヴァス	60.5×72.7	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
62	猪熊弦一郎	戦時中スケッチ	1944-45頃	インク、鉛筆、水彩、紙		丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	8点
63	猪熊弦一郎	少女像	不明	インク、水彩、紙	19.9×14.4	個人蔵	
64	猪熊弦一郎	キリギリス	1944	墨、淡彩、紙	33.2×23.5	個人蔵	1944年10月
65	藤田嗣治	鮎とエビ	1944	墨、淡彩、紙	81.2×27.7	個人蔵	1944年10月
66	不明	校舎	不明	油彩、カンヴァス	32.0×41.3	個人蔵	1944年10月
67	猪熊弦一郎	似顔絵（山本浩）	1944	墨、紙	27.7×25.0	個人蔵	1944年10月
68	藤田嗣治／佐藤敬（賛）	似顔絵（山本浩）	1944	墨、淡彩、紙	27.7×22.2	個人蔵	
69	伊勢正義	《兵士》	1943頃	油彩、カンヴァス	70.0×47.0	個人蔵	
70	中西利雄	《中里風景》	1946	水彩、紙	32.4×51.7	個人蔵	1946年6月
71	佐藤敬	《人物》	1938	油彩、板	121.0×78.2	個人蔵	第3回新制作派協会展出品
2 文化人・猪熊画伯							
72	大佛次郎	『花紋』	1939	書籍	18.1×12.8	個人蔵	実業之日本社発行
73	菊池寛	『眞珠夫人 上巻』	1947	書籍	18.5×12.8	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	家庭社発行
74	竹山道雄	『ビルマの堅琴』	1953	書籍	21.5×15.4	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	中央公論社発行
75	(資料)	田園調布純粹美術研究所設立趣旨	1948.1.3	紙	21.0×29.7	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	複写資料
76	(資料)	田園調布純粹美術研究室 Gala de Noël (1)	1950.1.24	絵はがき	14.0×9.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
77	(資料)	田園調布純粹美術研究室 Gala de Noël (2)	1950.1.24	絵はがき	14.1×9.1	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
78	(資料)	田園調布純粹美術研究室 QUATRZE JUILLET	不明	紙	17.2×23.2	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	四つ折りの案内状
79	(資料)	田園調布純粹美術研究室 クリスマスお芽出とう	不明	カード	21.1×15.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
80	猪熊弦一郎	トア・エ・モア ロゴ スケ	不明	紙	18.3×	丸亀市猪熊弦一郎現	切り取り有

		ツチ			25.4	代美術館蔵	
81	(資料)	トア・エ・モア ロゴ 活版印刷原版	不明	銅	(備考順) 3×12、2.2×2.1、2.6×2.9、4.0×5.3	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	4種 (TOI ET MOI、ベル、四角ロゴ、丸ロゴ)
82	(資料)	トア・エ・モア バッジ	不明	金属	1.5×1.3×0.3	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
83	猪熊弦一郎	トア・エ・モア スカーフ	不明	絹	68.0×75.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
84	(資料)	トア・エ・モア 案内状	不明	紙	9.6×26.5	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	7月17日付 ホテル松壽
85	猪熊弦一郎	トア・エ・モア 案内状 印刷見本	不明	水彩、インク、厚紙	9.9×16.6	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	7月17日付 ホテル松壽
86	(資料)	トア・エ・モア クリスマスパーティ (緑)	1954	絵はがき	14.0×9.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	12月20日(月)7時~11時 リッツ
87	(資料)	トア・エ・モア パーティ	不明	絵はがき	14.1×9.2	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	2月28日(月)7時~11時 リッツ
88	(資料)	トア・エ・モア XMAS PARTY (赤)	不明	絵はがき	14.2×9.1	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	12月17日 1時~5時 銀馬車
89	(資料)	『アサヒグラフ』1947年8月6日号	1947	冊子	36.1×25.7	館蔵	「巴里祭日本版」第48巻第6号(通巻1196号)
90	猪熊弦一郎	シャグリ ロゴ スケッチ 4点	不明	鉛筆、紙	約27×36	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	4点(画架の森/猪熊家、服部家/竹ほか/ノコギリほか) 全て切り取り有
91	(資料)	画架の森 案内状	1955頃	紙	(封筒) 12.0×16.9(カード) 14.0×18.1	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	封筒、二つ折りカード
92	(資料)	『アサヒグラフ』1955年8月24日号	1955	冊子	36.1×25.7	館蔵	「坪二万三千円の別荘長屋くらし」(通巻1617号)
93	(資料)	『新建築』1956年1月号	1956	冊子	29.5×22.2	個人蔵	第31巻第1号
94	猪熊弦一郎	手ぬぐい	1957	綿	33.6×88.5	個人蔵	
95	猪熊弦一郎	マッチ箱 シャグリ	不明	マッチ箱	5.7×3.6×8	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
96	(資料)	『CHATGRIS』	1966頃	冊子	26.0×18.3	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
97	猪熊弦一郎	クッションカバー (青・傘)	不明	綿	63.0×55.8	個人蔵	
98	猪熊弦一郎他	シャグリ会創作 銀彩ゆかた (生地見本)	不明	綿	65.5×35.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
99	猪熊弦一郎他	チャーチル会創作 銀彩ゆかた (着尺) 傘柄	不明	綿	65.5×35.0	個人蔵	
100	(資料)	映像 画架の森の様子	1970年代			丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	谷口興文撮影
101	猪熊弦一郎	《絵を描くN氏》	1950	油彩、カンヴァス	92.0×117.5	館蔵	
102	猪熊弦一郎	《月と猫達》	1953	油彩、カンヴァス	80.0×100.0	館蔵	
103	猪熊弦一郎	《砂上坐婦》	1936	油彩、カンヴァス	90.0×120.0	東鴨神社蔵(坂出市民美術館寄託)	
104	猪熊弦一郎	《青いマフラー》	1946	油彩、カンヴァス	53.0×41.0	館蔵	
105	猪熊弦一郎	《緑陰》	1946	油彩、カンヴァス	93.8×62.5	高松市美術館	
106	猪熊弦一郎	《妻と赤い服》	1950	油彩、カンヴァス	116.5×91.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	

107	猪熊弦一郎	『ドレスメーカーキング』車内吊 ポスター	1959	ポスター 2 点	37.3× 53.0	丸亀市猪熊弦一郎現 代美術館蔵	鎌倉書房発行
108	猪熊文子	スケッチ	不明	鉛筆、紙	20.2× 12.5、29.7 ×22.8、 30.3× 22.8	丸亀市猪熊弦一郎現 代美術館蔵	
109	猪熊文子	ファミ・クラブ会員名簿	1954	紙		個人蔵	
再現部 空間に生きる							
1 総合芸術としての建築							
110	(資料)	第13回新制作派協会展 出品 目録	1949	冊子	25.3× 18.2	丸亀市猪熊弦一郎現 代美術館蔵	
111	(資料)	神戸博ポスター	1950	ポスター	78.3× 53.5	神戸市立小磯記念美 術館蔵	小磯良平画 1950年3月15日
112	小磯良平	神戸博ポスター (エスキス)	1950	グアッシュ、紙	81.4× 54.2	神戸市立小磯記念美 術館蔵	
113	小磯良平	自画像	不詳	油彩、板	32.3× 32.9	丸亀市猪熊弦一郎現 代美術館蔵	
114	(資料)	『神戸博グラフ Kobe fair 1950』	1950	冊子	25.0× 18.0	神戸市立中央図書館 蔵	神港新聞社発行
115	(資料)	神戸博会場案内図 Kobe fair	1950	パンフレット	25.0× 53.0	神戸市立中央図書館 蔵	
116	(資料)	神戸博カード	1950	厚紙	6.9×9.2	神戸市立中央図書館 蔵	週刊新神戸社発 行 袋入 カー ド8枚に説明書付 き
117	(資料)	神戸博全図	1950	パンフレット	53.0× 75.0	神戸市立中央図書館 蔵	神戸新聞社発行
118	(資料)	神戸博	1950	パンフレット	27.0× 38.0	神戸市立中央図書館 蔵	日本貿易産業博 覧会事務局発行
119	猪熊弦一郎	慶應義塾大学壁画《デモクラ シー》原画	1949	鉛筆、水彩、紙	55.0× 79.0	丸亀市猪熊弦一郎現 代美術館蔵	
120	谷口吉郎	慶應義塾大学学生研究室及び 控室 図面 (断面図)	1949	青図	53.6× 77.2	慶應義塾大学蔵	縮尺 1:100
121	谷口吉郎	慶應義塾大学学生研究室及び 控室 図面 (案内図)	1949	青図	39.0× 53.7	慶應義塾大学蔵	縮尺 1:600
122	(資料)	『KEIO TOPICS』1949年11月 25日号	1949	紙	(開) 38.0 ×53.0	丸亀市猪熊弦一郎現 代美術館蔵	
123	猪熊弦一郎	《自由》	1951	水彩、紙	35.0× 150.0	館蔵	
124	猪熊弦一郎	上野駅中央コンコース壁画 《自由》 原画	1951	鉛筆、インク、 トレーシング ペーパー	31.3× 148.2	丸亀市猪熊弦一郎現 代美術館蔵	
125	(資料)	『毎日グラフ』1952年1月20 日号	1952	雑誌	36.5× 51.2	丸亀市猪熊弦一郎現 代美術館蔵	「美術的珍事— 上野駅に大壁画 現る—」
126	猪熊弦一郎	スケッチブック	不明	鉛筆、紙	12.0× 17.5	個人蔵	
127	猪熊弦一郎	《バナナ》	1950	油彩・カンヴァ ス	60.6× 45.5	館蔵	
128	猪熊弦一郎	《赤い服と猫》	1949	油彩、カンヴァ ス	73.0× 61.0	高松市美術館蔵	
129	猪熊弦一郎	《六つの顔》	1950	油彩・カンヴァ ス	90.4× 116.3	館蔵	
130	(資料)	猪熊弦一郎宛中村武平書状	[大正 11.10. 27]	封筒、便箋1枚	23.6× 16.5	丸亀市猪熊弦一郎現 代美術館蔵	
131	(資料)	猪熊弦一郎宛中村武平はがき	[昭和 4.10.1 2]	はがき	14.0×9.0	丸亀市猪熊弦一郎現 代美術館蔵	速達「入選御目出 たう」
132	中村武平	スケッチブック (1)	不明	スケッチブッ ク	12.0× 19.0	丸亀市猪熊弦一郎現 代美術館蔵	
133	中村武平/ 猪熊玄一郎	スケッチブック (2)	不明	スケッチブッ ク	11.0× 18.5	丸亀市猪熊弦一郎現 代美術館蔵	
134	猪熊弦一郎	《少年》	1922	油彩、カンヴァ ス	116.6× 91.0	丸亀市猪熊弦一郎現 代美術館蔵	
135	白川一郎	《シャバンヌの模写「貧しき	1930年	油彩、カンヴァ	111.0×	館蔵	

		漁夫』	代	ス	140.0		
136	猪熊弦一郎	《夜》	1937	油彩、カンヴァス	197.5×289.5	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	第2回新制作派協会展出品 136～8 三部作
137	猪熊弦一郎	《黄昏》	1937	油彩、カンヴァス	193.5×130.5	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	第2回新制作派協会展出品 136～8 三部作
138	猪熊弦一郎	《昼》	1937	油彩、カンヴァス	191.5×129.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	第2回新制作派協会展出品 136～8 三部作
139	猪熊弦一郎	《ホテルクロマニヨン》	1939	油彩・カンヴァス	50.0×61.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
140	猪熊弦一郎	洞窟壁画スケッチ	1939	インク、紙	約26.5×37.2	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	5点(トナカイ、山羊上半身/母子トナカイ/石彫、山羊/牛/様式化された女性)
141	猪熊弦一郎	《和敬清寂》試作	1958	水彩、鉛筆、厚紙	26.8×30.1/29.7×26.3/25.7×27.3	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	3点
142	猪熊弦一郎	《バレリーナ 21世紀に贈るメッセージⅠ》	1988	アクリル、カンヴァス	163.3×131.2	館蔵	
143	猪熊弦一郎	《バレリーナ 21世紀に贈るメッセージⅡ》	1988	アクリル、紙	42.7×118.8	館蔵	
144	猪熊弦一郎	《バレリーナ 21世紀に贈るメッセージⅢ》	1987	アクリル、紙	43.5×47.0	館蔵	
145	猪熊弦一郎	《バレリーナ》	1988	陶板、板	120.0×80.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	陶板による試作
2 華ひらく“近代生活”の中の美							
146	不明	《田園調布アトリエ改造案》	不明	厚紙、鉛筆、水彩	25.7×36.5	個人蔵	猪熊旧蔵
147	(資料)	観光高松大博覧会 会場案内	1949	冊子	25.80×18.2	館蔵	1949年3月20日 16頁
148	山口文象	高松近代美術館 図面 立面図	1948	トレーシングペーパー	39.2×54.5	株式会社アール・アイ・エー蔵	1948年10月19日
149	山口文象	高松近代美術館 図面 平面図	1948	トレーシングペーパー	39.8×54.6	株式会社アール・アイ・エー蔵	1948年10月19日
150	(資料)	高松美術館 模型		模型	44.0×44.0×5.5	高松市美術館蔵	1:200 香川大学 創造工学部教授 大場晴夫氏製作
151	(資料)	原稿「高松美術館要覧」	1948～50年代 初頭	原稿用紙4枚、写真台紙4枚、クリップ	25.7×18.2	個人蔵	
152	(山口文象)	久ヶ原教会堂建築募金表	1948～50頃	図面	36.0×53.0	個人蔵	
153	(資料)	久が原教会 子ひつじ幼稚園 バッジ	不明	金属製ピンバッジ	2.5×2.3×0.5	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
154	不明	東京駅壁彫 関連作	不明	木	(大)68.0×54.0×12.0 (小)62.0×30.0×11.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
155	(資料)	カード コックドール	1950	厚紙	21.0×20.3	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	変形カード 第14回新制作派協会展
156	猪熊弦一郎	《トゥオネラのスワン 舞台背景原画》	1951	水彩、紙	38.0×53.8	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
157	猪熊弦一郎	トゥオネラのスワン 衣装デザイン原画	1951	鉛筆、水彩、パステル、紙	約40×30	個人蔵	6点
158	猪熊弦一郎	トゥオネラのスワン 舞台背景原画(2)	1951	鉛筆、水彩、パステル、紙	約30×40	個人蔵	2点 寸法指示記入あり
159	猪熊弦一郎	《一つの椅子 衣装デザイン原画》	1951頃	鉛筆、水彩、画用紙、厚紙、セロハン	26.0×36.2、36.1×26.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	2点

160	青峰重倫	《ACROBACY》	1952	油彩、カンヴァス	240.0×183.0	館蔵	第16回新制作協会展出品
161	(資料)	猪熊弦一郎「新人推薦 秋の美術展から 第十六回新制作展「アクロバシー」青峰重倫」	1952	新聞記事(切り抜き)	15.5×10.5	館蔵	1952年10月13日掲載紙不明
162	青峰重倫	《霧氷》	1951	油彩、カンヴァス	193.5×129.0	館蔵	第15回新制作協会展 新作家賞
163	猪熊弦一郎	《バレリーナの夢想》	1950	油彩、カンヴァス	131.0×162.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
164	猪熊弦一郎	《真鍮網による椅子》	1950	真鍮網、革、鉄	91.5×82.5×72.5	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
165	猪熊弦一郎	《スツール》	1950	クローム塗金、木、鉄	39.3×39.3×33.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
166	猪熊弦一郎	《寝椅子》	1952	布、革、紐、木、鉄	117.3×70.2×62.2	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
167	猪熊弦一郎	《テーブル》	1953	木、紐、塩化ビニール板、鉄	56.1×119.2×28.9	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
168	猪熊弦一郎	《アケサイドテーブル》	1953	アケビ材、鉄	60.6×41.9	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
169	猪熊弦一郎	《椅子》	1953	布、紐、鉄	38.7×97.8×29.8	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
170	猪熊弦一郎	《サイドテーブル》	1953	木、鉄	38.0×121.2×32.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
171	イサム・ノグチ	《あかり》	1953～	紙、竹、金属		館蔵	
172	剣持勇	椅子(スタッキング)	1964	合板、金属	470×450×730	館蔵	天童木工製作
終結部 空間につつまれて							
173	猪熊弦一郎	着物(石)	1955以前	絹	154.0×123.0	個人蔵	
174	(資料)	《華ひらく》の題材になった石		石 2点	44.0×27.0×20.0、48.0×22.0×18.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
175	不明	茶道メモ(和敬清寂について)	不明	リングノート用紙	23.0×15.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
176	猪熊弦一郎	《真鍮網による椅子》(菅巻き)	1954	真鍮網、革、鉄、菅	径52.0×高31.0	個人蔵	No.177と同一品を軽井沢で加工したもの
177	猪熊弦一郎	《真鍮網による椅子》	1954	真鍮網、革、鉄	径52.0×高31.0	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
178	猪熊弦一郎	《巴里のおばあさん》	1938	油彩、カンヴァス	70.8×58.9	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	
179	猪熊弦一郎	《太陽の環境》	1960	油彩、カンヴァス	177.8×203.2	館蔵	
180	猪熊弦一郎	《人と猫Ⅰ》	1953	油彩、カンヴァス	80.0×100.0	館蔵	
181	猪熊弦一郎	《十字路》	1960～61	油彩、カンヴァス	177.8×139.5	館蔵	
182	猪熊弦一郎	《御神楽》	1961	油彩、カンヴァス	203.1×177.5	館蔵	
183	佐藤敬	《内部の皮》	1960	油彩、カンヴァス	150.0×200.0	神奈川県立近代美術館蔵	第30回ヴェネチアビエンナーレ出品
184	猪熊弦一郎	《Faces13 No.1(イサム・ノグチに捧ぐ)》	1989	アクリル、カンヴァス	96.0×66.0	館蔵	
185	イサム・ノグチ	《こいびと》	1950	テラコッタ	19.7×5.1×3.2	館蔵	
186	(資料)	テラコッタ遺物		土		香川県埋蔵文化財センター蔵	

187	猪熊弦一郎	浴衣地タペストリー	1955 頃	綿	100.0×68.0	個人蔵	国際建築意匠展 出品作に類似
188	猪熊弦一郎	《埴輪4》	1956	油彩、カンヴァス	91.4×116.8	館蔵	
189	(資料)	写真				丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵	猪熊弦一郎旧蔵
190	(資料)	写真				個人蔵	猪熊弦一郎旧蔵

近代香川を生み出したまち 多度津ものがたり



出品一覧

番号	パネル	資料名称	年代時代	寸法 (cm)	所蔵
序章 多度津から始まる					
1	*	[写真]讃岐鉄道1号機関車	明治時代		写真提供：鉄道博物館
2	*	[写真]四国水力電気株式会社 堀江火力発電所	昭和時代		上野時生氏撮影
3	*	[写真]多度津銀行	明治時代〜大正時代		多度津町蔵
4		多度津町 町勢要覧 大正2年〜6年	大正時代		多度津町立明徳会図書館蔵
5		多度津町勢要覧 昭和30年	昭和30年(1955)		多度津町立明徳会図書館蔵
6		多度津町 町勢要覧 昭和37年度版	昭和37年(1962)		多度津町立明徳会図書館蔵
7		多度津町 町制要覧 昭和41年度版	昭和41年(1966)		多度津町立明徳会図書館蔵
8		多度津町 町勢要覧 昭和45年度版	昭和45年(1970)		多度津町蔵
9		多度津町 町勢要覧 昭和49年度版	昭和49年(1974)		多度津町立資料館蔵
第1部 近代がやってきた					
第1章 鉄道がやってきた					
1		私設鉄道願 (複製)	明治20年(1887)		原資料：国立公文書館蔵
2		丸亀多度津琴平財田上村間鉄道布設願	明治時代	27.8×20.2	大久保家資料、当館保管
3		大久保謙之丞の年賀状	明治22年(1889)	14.1×9.0	大久保家資料、当館保管
4		讃岐鉄道開業式案内状	明治22年(1889)	19.5×26.9	大久保家資料、当館保管
5		汽車無賃乗車券	明治22年(1889)	10.1×12.7	大久保家資料、当館保管

6		酒飯券	明治22年(1889)	8.4×4.5	大久保家資料、当館保管
7		酒飯券	明治22年(1889)	8.8×4.8	大久保家資料、当館保管
8		讚岐鉄道開業式の祝辞	明治22年(1889)	24.6×27.8	大久保家資料、当館保管
9		讚岐鉄道会社乗車賃金表	明治22年(1889)	20.4×15.0	大久保家資料、当館保管
10		讚岐鉄道会社汽車発着時刻表	明治22年(1889)	24.5×19.5	大久保家資料、当館保管
11		讚岐鉄道汽車時間及賃金表並名所道案内	明治23年(1890)	28.1×38.9	大久保家資料、当館保管
12		讚岐鉄道株式会社定款及申合規則	明治29年(1896)	18.6×13.1	館蔵
13		讚岐鉄道丸亀高松間延長線開通式順序書	明治30年(1897)	16.2×30.6	個人蔵
14		鉄道 丸亀高松間開通式煙火打上目録	明治30年(1897)	17.9×39.4	個人蔵
15		開通式案内状	明治30年(1897)	16.1×10.3	個人蔵
16		讚岐鉄道丸亀高松間試乗券付はがき	明治30年(1897)	14.0×9.0	個人蔵
17		丸亀高松間鉄道開通式乗車券	明治30年(1897)	6.1×8.3	個人蔵
18		白方屏風浦海岸寺宝物拝観券	明治30年(1897)	7.8×4.5	個人蔵
19		金刀比羅宮宝物拝観券	明治30年(1897)	7.7×4.6	個人蔵
20		善通寺宝物拝観券	明治30年(1897)	7.5×4.8	個人蔵
21		讚岐鉄道・多度津駅舎	明治時代	9.0×14.0	個人蔵
22		汽車内喫茶室の御案内	明治35年(1902)	17.4×24.4	香川県立文書館蔵
23		景山甚右衛門書簡	明治24年(1891)	17.1×48.3	大久保家資料、当館保管
24		讚岐鉄道株式会社社長就任祝辞草稿	明治24年(1891)	17.8×60.2	大久保家資料、当館保管
25		讚岐鉄道株式会社列車運転時刻表	明治35年(1902)	21.2×38.8	多度津町立資料館蔵
26		明治三十三年上半季 讚岐鉄道株式会社第廿五回報告	明治35年(1902)	18.8×13.3	多度津町立資料館蔵
27		讚岐鉄道切符 琴平-多度津間	明治時代	2.8×5.6	個人蔵
28		国有鉄道の切符 ことひら-たどつ間	明治時代	2.8×5.6	個人蔵
29		実測細密 香川県管内図	明治26年(1893)	69.4×99.2	館蔵
30		琴平参宮電車案内 大正15年	大正15年(1926)	18.4×94.5	館蔵
31		多度津棧橋通駅名標	大正時代後期～昭和30年代	74.0×111.5×7.2	館蔵
32	*	[写真]琴平参宮電鉄の電車	大正時代～昭和時代初期		多度津町立資料館蔵
33		全国汽車発車時刻及び賃金表	明治31年(1898)	31.4×46、31.4×23.6	多度津町立資料館蔵
34		日本国有鉄道線路図	昭和28年(1953)	105.70×75.00	館蔵
35	*	[写真]多度津駅を出発する汽車	昭和12年(1937)ごろ		多度津町立資料館蔵
36	*	[写真]多度津町鉄道工機部	昭和24年(1949)		瀬戸内海歴史民俗資料館蔵
37		四国新道起工式記念扇子	明治19年(1886)	24.2×37.7	大久保家資料、当館保管
38		四国新道計画図	明治時代	27.2×39.9	大久保家資料、当館保管
39		新道起工式ヲ祝ス	明治19年(1886)	19.3×62.8	大久保家資料、当館保管
第2章 多度津の港					
1	**	讚岐写真帖 多度津港	大正4年(1915)		館蔵
2	*	[写真]日本名所写真帖 讚岐多度津ノ浜	明治時代		館蔵
3		多度津港改修青焼図面	明治34～39年(1901～6)	53.4×64.1	多度津町蔵
4		「多度津築港棧橋開通式」袋	明治43(1910)	27.2×13.9	館蔵
5		多度津築港棧橋開通式記念図	明治43(1910)	27.3×39.5	館蔵
6		多度津築港棧橋開通式挙次第	明治43(1910)	17.9×25.8	館蔵
7		多度津築港開通式祝賀会	明治43(1910)	21.7×38.7	館蔵
8		四国山陽連絡図	明治43(1910)	34.7×54.5	館蔵
9		多度津港略図	昭和23年(1948)	25.7×36.0	瀬戸内海歴史民俗資料館蔵
10		多度津ヨリ各港直航碇泊所港表 多度津港出品銘表	明治～大正時代	27.5×20.0	館蔵
11	*	[写真]多度津内港	明治時代末期		多度津町立資料館蔵
12	*	[写真]多度津内港	明治39年(1906)ごろ		多度津町立資料館蔵
13	*	[写真]多度津港を出港する大阪商船「大智丸」	昭和3～13年(1928～38)		多度津町立資料館蔵
14	*	[写真]多度津港と浜多度津駅	昭和6年(1931)ごろ		多度津町立資料館蔵
15		尋常小学校国語読本 第七(複製)	大正9年(1920)		原資料：香川県教育センター

16		一太郎やーいキャラメル箱(複製)	昭和時代初期		原資料：飯間健一氏蔵
17		一太郎キャラメル宣伝団扇(複製)	昭和時代初期		原資料：飯間健一氏蔵
18	*	(絵葉書)『讃岐・多度津』奉公記念標	昭和時代初期	14.0×8.9	個人蔵
19		瀬戸内海絵図	昭和5年(1930)	18.8×94.0	館蔵
20		讃岐遊覧案内	昭和時代初期	18.6×38.0	館蔵
21		多度津町絵葉書	昭和時代初期	13.8×9.1	館蔵
22		四国八十八ヶ所遍路道中図	昭和11年(1936)	32.9×54.3	館蔵
第3章 電気も多度津から					
1	*	[写真]西讃電灯株式会社社屋	明治時代		『グラフ多度津』より転載
2		金蔵寺元発電所建物平面図	明治時代	45.0×57.0	多度津町立資料館蔵
3	**	[写真]四国水力電気株式会社本社	大正時代		多度津町蔵
7	*	[写真]堀江火力発電所	昭和24年(1949)		瀬戸内海歴史民俗資料館蔵
8	*	[写真]堀江火力発電所貯炭場	昭和時代		館蔵
4		堀江発電所工事概要	昭和3年(1928)	15.3×27.5	館蔵
5		[絵葉書]堀江火力発電所善全景	昭和3年(1928)	9.1×14.0	館蔵
6		[絵葉書]発電機室	昭和3年(1928)	14.0×9.1	館蔵
9		香川県水力・電力・電灯・軌道供給域図面	大正12年(1923)	119.6×148.5	多度津町立資料館蔵
10		四水三十年史	昭和3年(1928)	22.5×16.5	館蔵
11		四国配電十年史	昭和28年(1953)	26.2×53.5	個人蔵
第4章 多度津七福神					
1		讃岐国持丸長者鏡	安政3年(1856)	52.4×72.4	館蔵
2		大日本諸国繁栄鏡	明治14年(1881)	51.9×38.2	館蔵
3		香川県讃岐国繁栄名誉鏡	明治25年(1892)	115.1×99.7	館蔵
4	*	[写真]景山甚右衛門	昭和時代		多度津町立資料館蔵
5		武田茂祐肖像写真	昭和3年(1928)	13.5×10.5	多度津町立資料館蔵
6		三土忠造と多度津七福神	昭和時代初期	19.8×48.6	多度津町立資料館蔵
7		景山甚右衛門書簡	明治24年(1891)	16.6×95.1	個人蔵、当館保管
8		多度津貯蓄銀行広告	明治時代～大正時代	37.8×52.0	多度津町立資料館蔵
9		多度津銀行株主総会案内	明治34年(1901)	16.5×24.4	瀬戸内海歴史民俗資料館蔵
10	*	[写真]百十四銀行多度津支店	昭和20～30年代(1945～64)		百十四銀行多度津支店蔵
11		旧合田家住宅家相図	明治26年(1893)	112.3×92.7	多度津町蔵
12		地券	明治15年(1882)	25.3×32.6	多度津町蔵
13		全貌 第四輯	昭和11年(1936)	20.0×15.7	個人蔵
14	*	[写真]旧合田家住宅	令和3年(2021)・昭和6年(1931)		多度津町蔵
15	*	[写真]鶴橋武田邸	昭和時代		上野時生氏撮影
16	*	[写真]鶴橋武田邸の柱(実物大)	大正時代		多度津町立資料館蔵
17	*	[写真]鶴橋武田邸基礎工事	大正時代		多度津町立資料館蔵
18	*	[写真]鶴橋武田邸 建築模型	大正時代		多度津町立資料館蔵
19		塩田時敏・牛窪求馬書簡	明治30年(1897)	17.9×57.6	多度津町立資料館蔵
20		讃岐諸機械製造株式会社目論見書・仮定款	明治30年(1897)	17.8×15.7	館蔵
21		塩田時敏・牛窪求馬書簡	明治30年(1897)	17.9×89.4	多度津町立資料館蔵
第5章 多度津のまち					
1		大日本繁昌懐中便覧 香川県部	明治30年(1897)	10.2×22.7	館蔵
2		多度津町誌 下 (写本)	大正5年(1916) 緒言	24.9×17.7	館蔵
3	**	観光の多度津港	昭和8年(1933)	13.4×35.4	館蔵
4		[絵葉書]海陸の交通便利に恵れたる多度津港	昭和時代初期	8.9×14.0	個人蔵
5	**	多度津商店街写真	昭和26年(1951)		館蔵
6	*	[絵葉書](讃岐多度津)商店街	昭和30年代(1955～1964)		個人蔵
7		多度津町発展に寄与する論文集	昭和12年(1937)	21.7×15.1	館蔵
8	*	多度津の町並み連続立面図 本通	昭和56年(1981)		新開國弘氏作図 多度津町教育委員会蔵
9	*	多度津の町並み連続立面図 浜ノ町	昭和56年(1981)		新開國弘氏作図 多度津町教育委員会蔵
10	*	多度津の町並み連続立面図 仲ノ町	昭和56年(1981)		新開國弘氏作図 多度津町教育委員会蔵
11	*	多度津の町並み連続立面図 南町	昭和56年(1981)		新開國弘氏作図 多度津町教育委員会蔵
12		「香川県多度津町町人地の史的解析の実証的研究」における実測記録・	昭和56年(1981)		新開國弘氏蔵

		図面原因			
第2部 近代にたどりつくまでの多度津					
第1章 将軍さまもやってきた					
1	*	鹿苑院殿殿島詣記(紀行類聚乾の内)	江戸時代		国立公文書館蔵(デジタルアーカイブ)
2	*	盛土山古墳出土遺物	5世紀末		東京国立博物館蔵
3	*	安楽寿院文書	鎌倉時代		東京大学史料編纂所蔵
4	*	涅槃像	嘉元3年(1305)		高知県香美市談議所公民館保管
5	*	重要文化財 絹本著色星曼陀羅図	鎌倉時代		道隆寺蔵
6		善通寺御影 智積院本(複製)	文安元年(1444)		原資料:智積院
7	*	兵庫北関入船納帳	文安2年(1445)		京都市歴史資料館
8		伝天霧城址出土甲冑(桶側二枚胴前胴・後胴)	戦国時代	胴高37.8、 胴幅34.7	個人蔵
9		西谷藤兵衛像	弘治3年(1557)	79.3×39.4	多聞院蔵、当館保管
10		西谷藤兵衛夫人像	元龜3年(1572)	79.0×39.5	多聞院蔵、当館保管
	*	伝西谷藤兵衛夫妻墓塔			多度津町立資料館蔵
11		讃陽綱目	宝暦7年(1757) 序	24.1×17.0	館蔵
第2章 金毘羅船も、北前船もやってきた					
1	*	高見八幡宮奉納模型和船	宝暦5年(1755)		多度津町立資料館保管
3		四国古図(複製)	江戸時代		原資料:鎌田共済会郷土博物館
4		讃岐国絵図(複製)	寛永10年(1633)		原資料:金刀比羅宮
6		讃州丸亀見附屋庭大略図	江戸時代	47.5×67.5	館蔵
7		江戸から長崎まで道中絵図	江戸時代	54.8× 1816.23	館蔵
8	**	金毘羅参詣絵図 部分(多度津湊の図)	天保2年(1831)		多度津町立資料館蔵
9		金毘羅山名所図会	江戸時代後期	26.0×19.0	個人蔵、当館保管
10		金毘羅参詣名所図会	弘化4年(1847)	25.6×18.0	館蔵
11		西讃府志稿本	安政5年(1858)	26.0×18.0	琴平町教育委員会蔵、当館保管
12		統道中膝栗毛 初編 金毘羅参詣	文化7年(1810)	17.8×11.9	館蔵
13		丸亀ヨリ金毘羅善通寺彌谷寺道案内圖	江戸時代	35.5×71.2	館蔵
14		丸亀ヨリ金毘羅善通寺彌谷寺道案内圖	江戸時代末期~ 明治時代初期	35.5×71.5	館蔵
15		象頭山参詣道紀州加田ヨリ讃岐廻播磨名勝附	江戸時代	35.3×47.2	館蔵
16		丸亀ヨリ金毘羅山讃岐廻並播磨名所附	江戸時代	34.2×46.5	館蔵
第3章 お殿さまもやってきた					
1		丸亀御領分図	万治3年(1660)	157.2× 211.0	館蔵
2		改正讃岐国多度津郷村高辻帳	明治4年(1871)	32.0×22.0	瀬戸内海歴史民俗資料館蔵
3		多度津藩書入分限帳	江戸時代	31.2×23.3	館蔵
4		書状	安永9年(1780)	15.6×37.2	個人蔵
5		奉願口上之覚	文政3年(1806)	26.2×34.5	個人蔵
6		達	弘化4年(1847)	15.4×29.8	個人蔵
7		年中日記	天明元年(1781)	24.0×17.0	館蔵
8		日記	文化4年(1807)	23.6×16.8	館蔵
9		御触控	文政9年(1826)	28.1×20.3	館蔵
10	*	多度津陣屋絵図(文化12年家中屋敷絵図)	文化12年(1815)		個人蔵、香川県立文書館保管
11		多度津陣屋御殿間取図	江戸時代	153.8× 176.0	多度津町立資料館蔵
終章 地域とつながる					

(凡例) *はパネル展示、**は懸垂幕展示

④ロビー展示

エントランスのにぎわい作りや作品鑑賞の機会拡大のため、ロビーでの展示を実施。

	期間	展示内容・テーマ・協力者・連携相手など	場所
1	通年	イサム・ノグチコーナー	1階図書コーナー
2	通年	ミュージアム・コレクション(剣持勇のデザイン)	1階図書コーナー・多目的室
3	4.17(土)～7.4(日)	壁画《デモクラシー》原寸大複製展示(県立丸亀高等学校制作)	1階ロビー
4	10.1(金)～12.24(金)	かがわ文化芸術祭 2021 ポスター原画展	1階ロビー
5	10.1(金)～12.24(金)	「文化財を未来へ」パネル展	1階ロビー
6	R4.1.2(日)～30(日)	オニノコの願い	2階西ロビー
7	2.19(土)～3.31(木)	高校生ボランティアグループの動画・リーフレットの公開	2階西ロビー

⑤展示案内(委託業務)

展示室での来館者の誘導、展示資料の保守管理、展示見学補助や体験学習室(1階)での時代衣装の着付け、各種器具の保守管理、図書コーナー・ビデオライブラリーでの利用受付などを業務委託して実施している(令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止対策として、ビデオライブラリー・体験学習室の利用は休止した)。なお、展示見学補助の主な内容は、各コーナーでの来館者の質問への対応であるが、業務マニュアルにはない専門的な質問については学芸員に連絡をとり対応する体制をとっている。業務日報は毎開館日の業務終了時に学芸課へ提出され、内容に応じて各担当へ報告される。

⑥音声ガイドシステム

歴史展示に関する33項目について、日本語、英語、中国語、韓国語の解説を聞くことができるポータブルROMプレーヤー10台を、歴史展示室入口で貸し出している(無料。令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策として利用を休止した)。

⑦貸館事業

特別展示を行っていない期間に、4団体が特別展示室を利用して展覧会を開催した。総入場者数は、3,667人

であった。

展覧会名	主催者	会期	観覧者数
香川県美術家協会展	香川県美術家協会	12.7(火)～12(日)	1,484人
第22回讃友書展	讃友書道会	R4.1.27(木)～30(日)	461人
第52回青龍書展	青龍書道会	2.10(木)～13(日)	922人
新協第64回香川巡回展	新協美術会	3.17(木)～21(月・祝)	800人

(2)館外展示

当館の美術作品をより多くの県民に鑑賞していただくため、県内の各地域と連携し、図書館・資料館等の展示スペースを活用して紹介している。

①市町等共同企画展示

令和3年度は11月20日(土)から12月26日(日)までの32日間、東かがわ市歴史民俗資料館において「城を旅する」と題して展覧会を開催した。当館収蔵の井上員男の「日本の城」シリーズ(紙版画)と東かがわ市歴史民俗資料館収蔵の引田城関連資料を合わせて展示し、180人の観覧者があった。

(3)企画・広報

①広報活動

当館の認知度向上を目標とし、広報活動を「館の活動全般への理解を、広く県内外の方々から得るための活動」と位置づけて展開した。

i) 報道機関等への情報提供

展示事業、地域連携事業だけではなく、調査研究事業の成果や、ボランティア活動など、当館の活動全般について報道機関へ積極的に情報を提供し、新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などの取材や問い合わせに対応した。主な情報提供については以下の通り。

* 広聴広報課を通しての情報発信

広報誌『THE かがわ』内「みんなの便利帳」

ラジオ「RNC 西日本放送「ようこそ知事室へ」」

* 報道機関への情報提供

県政記者室への情報提供

* インターネットでの発信

「香川県HP」

* 新聞・出版物への原稿執筆

四国新聞「ディーブ KAGAWA」(毎週金曜日掲載)

百十四経済研究所『調査月報』に展示・収蔵品紹介

* 地元ミニコミ誌、観光案内誌などへの情報提供

ii) 広報資料の発送

当館の活動を紹介する刊行物を発行した。

特別展開催前等の時期に、県内の関連機関、学校、公民館、観光施設や、県外の博物館・美術館などを中心に、展覧会をはじめとする館の活動を紹介する宣材を発送した（令和3年度は、年5回）。発送する内容によっては、特定の広報先を設定し、効果的な広報を目指した。主な送付資料は次のとおり。

- ・年間スケジュール
- ・ミュージアム NEWS
- ・特別展などのポスター・チラシ

iii) 有料広報の展開

特別展について、以下の有料広報を行い、情報発信に努めた。

- ・新聞広告
特別展「空間に生きる画家 猪熊弦一郎 一民主主義の生活空間と造形の試み」(四国新聞半2段2回)
- ・デジタルサイネージ
特別展「空間に生きる画家 猪熊弦一郎 一民主主義の生活空間と造形の試み」(JR 高松駅構内・琴電瓦町駅構内)
- ・交通広告
- ・パンフレットラック設置
当館発行の印刷物を配架 (JR 高松駅)

iv) WEB 等による発信

令和2年12月の香川県ホームページリニューアルの機に県立ミュージアムのホームページもその中に統合され、デザイン等も更新されて新たなホームページの運用が始まった。県政記者室への情報提供などとタイミングを合わせて情報発信した。令和3年度のホームページトップページへのアクセス数合計は138,144件であった。今年度の特徴は、昨年引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、臨時休館が多かったが、アクセス数は前年度(103,088件)を上回った。

また、SNS を活用した情報発信を行うため、Twitter、Facebook、YouTube を活用し、展覧会情報、イベント情報を発信した。

v) その他

学校団体との連携を深めるため、各団体の会議などで内容説明や来館案内を行った(高等学校教育研究会地歴・公民科部会、美術工芸部会など)。

② パスポート事業

平成22年度より、パスポート事業を開始している。現在の会員に対し更新の案内をするとともに、新規会員獲得のための広報を積極的に行った。

平成29年度からは、特別展の観覧料について、2回目以降半額、同伴者1名も半額にするなど、パスポート購入者への特典を充実させ、さらに販売を促進するとともに、館の利用促進を図った。

また、平成29年度から法人特別展観覧券を新設し、県

内の法人に広く周知して販売を促進した。

i) 個人パスポート (会員数は令和4年3月31日現在)

- サービス内容
- ・歴史展示室と常設展示室(一般観覧料410円)を無料で観覧できる。
 - ・当館主催の特別展を1回目は無料で、2回目以降は半額で観覧できる(高校生以下、65歳以上、身体障害者手帳をお持ちの方は、いずれも無料)。
 - ・同伴者1人は半額。
 - ・講演会、学芸講座、ワークショップ等の参加でポイント進呈。

*10ポイントで記念品贈呈

- ・会員限定のミュージアムトークに案内
- ・当館広報誌、特別展・イベントの案内などを送付する(令和3年度は、広報誌、特別展・常設展やイベントの紹介など、計7回送付)。

金額	対象	会員数
3,130円	一般	30人
1,040円	高校生以下、65歳以上、障害者手帳所有者	26人
有効期限	購入日から1年間	

ii) 法人メンバーズ (会員数は令和4年3月31日現在)

- サービス内容
- ・法人特別展観覧券で従業員とその家族が特別展を無料で観覧できる。特別展観覧日に限り、歴史展示室と常設展示室(一般観覧料410円)を無料で観覧することができる。
 - ・法人メンバーズ証で歴史展示室と常設展示室を無料で観覧できる
 - ・特別展開会式に案内
 - ・特別展覧会図録を進呈
*観覧券の購買冊数に関わらず1法人1冊
 - ・学芸員による特別展展示解説
 - ・学芸員が企業研修等で無料講義
 - ・会員限定のミュージアムトークに案内
 - ・当館広報誌、特別展・イベントの案内などを送付する(令和3年度は、広報誌、特別展・常設展やイベントの紹介など、計7回送付)。

金額	対象	会員数
20,370円 (法人特別展観覧券1冊30枚綴り)	従業員を雇用している法人・団体、個人事業主、法人等の従業員及びその家族	1法人
有効期間	購入代金の入金認定日から1年間	

(4) 展覧会企画力向上事業

美術や歴史に関する展覧会の企画に関し、豊富な経験を持つ学識経験者2名をアドバイザーに委嘱し、展覧会の企画や施設の活用等について助言を得て、施設の魅力を高め利用者の増加につながるよう、企画力の向上に努めている。

アドバイザー

布谷知夫（三重県総合博物館 特別顧問）

水沢 勉（神奈川県立近代美術館 館長）

回	月日	内容等	アドバイザー
第1回	6.30（水）	・特別展講評 ・展覧会企画について ・作品収集について	水沢 勉
第2回	11.10（水）	・特別展講評 ・展覧会企画について ・地域連携事業について	布谷知夫
第3回	R4.3.6（日）	・令和4年度展示計画について ・香川県美術展覧会（県展）の改善について ・令和4年度特別展企画内容について	水沢 勉

令和4年3月8日（火）～10日（木）には、大岩弘子氏（コミュニケーション・アドバイザー）に依頼し、博物館における SNS を活用した情報発信力強化のための指導を受けた（まん延防止等重点措置の期間だったため、オンラインで実施）。

2 地域連携事業

博物館と学校教育との連携や生涯学習支援などに加え、地域の課題解決のために地域の人々と協働する活動にも積極的に取り組んでいる。

主な活動として、学校団体の案内、館蔵資料をはじめとする館が有する情報を利用した教材開発とその貸出しといった学校教育への支援や、講演会・講座、ボランティア活動などの生涯学習支援、文化財レスキュー計画への参画とそれに伴う地域資料保全に関わる活動等、多彩な事業を行っている。

(1) 学校教育支援事業

①ミュージアム活用研究会

当研究会は当館職員と小・中学校の教員8名で構成されている。学校との実質的な連携を促進し、当館の展示や美術作品、歴史・民俗資料を活用した学習プログラムを充実させることで、児童・生徒の学習に寄与することを目的に活動している。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大のために、8月の研究会は中止とし、12月27日(月)に美工部会を、1月6日(木)に歴史部会を開催した。

なお、美工部会の取り組みを紹介することを目的に、活用研究会実践報告展「香川の魅力×高松松平家博物図譜」を3月8日(火)～27日(日)の期間で開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、次年度に延期することとした。

部会名	研究テーマ
歴史部会	貸出用教材の活用の推進
美工部会	所蔵品等を題材とした学習教材の開発 高松松平家博物図譜を題材とした学習指導案の作成

歴史部会



美工部会



②教員向けの講座(ティーチャーズプログラム)

館蔵資料・作品を教材として活用することを目的とした、教員対象の専門研修(歴史資料活用講座・美術鑑賞講座)。毎年各1～2回実施しているが、昨年度同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校教育現場での研修会も相次いで中止となる状況を受け、本講座も中止とした。

③館蔵資料・作品の複製教材の制作、貸出

歴史資料の複製教材と、美術作品鑑賞学習教材を希望する学校に貸出した。また、昨年度に引き続き、県立高松高等学

校通信制生徒の来館に際し、アートカードを用いて特別授業を行った。

〈教材リスト〉

教材名	原資料
「城下町」学習教材 ・8分割シート ・14分割パズル	「高松城下図屏風」 *県指定有形文化財 高松松平家歴史資料
「坂出壘田図」学習教材	「坂出壘田之図」
「信長・秀吉・家康と讃岐」 学習教材	丸亀市塩飽勤番所蔵 「織田信長・豊臣秀吉・徳川家康朱印状」
「丸亀藩の参勤交代」学習教材	丸亀市山北八幡神社蔵 「山北神社奉納京極侯参勤交代御船絵馬」
「イサム・ノグチ物語」	(制作物)
アートカード	館蔵美術工芸作品
漆工芸見本	館蔵備品
石臼	館蔵備品

〈貸出状況〉

○「城下町」学習教材

期間	学校名	学年	利用者数
5.30(日)～7.4(日)	丸亀市立東中学校	2年	207人
6.11(金)～18(金)	土庄町立豊島中学校	2年	4人
11.6(土)～21(日)	高松市立屋島西小学校	2年	15人
11.26(金)～29(月)	香川大学		15人

○「信長・秀吉・家康と讃岐」学習教材

期間	学校名	学年	利用者数
5.30(日)～7.4(日)	丸亀市立東中学校	2年	207人
7.10(土)～25(日)	大手前丸亀中学校	2年	87人
8.30(月)～9.7(火)	附属高松中学校	2年	104人

○「丸亀藩の参勤交代」学習教材

期間	学校名	学年	利用者数
5.30(日)～7.4(日)	丸亀市立東中学校	2年	207人

○アートカード

期間	学校名	学年	利用者数
10.30(土)～12.4(土)	綾川町立陶小学校	4年	43人
11.7(日)	県立高松高校(通信制)	1～3年	12人
12.10(金)～14(火)	県立香川中部養護学校(高等部)	3年	17人
R4.1.17(月)～2.1(火)	県立香川中部養護学校(高等部)	3年	13人

○イサム・ノグチものがたり

期間	学校名	学年	利用者数
7.4(日)～18(日)	高松市立古高松中学校	1年	183人

④学校への広報

当館でできる校外学習、教材貸出、出前授業等を紹介した学校向けのパンフレットを3月末までに作成し、県内の各小中学校及び特別支援学校(小学部、中学部)に送付した。

今年度は、6頁から4頁への構成と内容の見直しを行った。当館でできることを把握しやすい構成に修正し、タイトルも「県内小・中学校のためのミュージアム活用ガイド」と変更した。



⑤校外学習等への協力

各学校の校外学習等を積極的に受け入れ、児童・生徒の歴史・美術学習を支援している。令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響は前年度同様に大きく、感染者数が増加した4月、5月、9月、1月以降については、校外学習のキャンセルが相次いだ。しかし、10～12月の期間には多くの小学校からの申込があり、コロナ禍前の令和元年度と同数の小学校29校を受け入れた。その背景として、修学旅行の行き先を県内に変更した際に当館を見学地として選択したことが挙げられる。ただ、現段階では一度に大規模な人数の受け入れが難しいため、見学人数は1,501人(令和元年度は2,000人)にとどまっている。

また、中学校については校外学習の申込はなかった。さらに「かがわ未来のアーティスト育成事業」の一環として、本事業に参加した中学校美術部が、1月にロビー展「オニノコ

の願い」(つまみ人形の展示)を見学に来る予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、1校18人の見学にとどまった。

高等学校については、昨年度より美術科やデザイン科の生徒による展示見学が増え、回復傾向が見られた。

一方、大学の視察や展示見学については、4校55人とどまった。

<学校団体利用一覧>

校種	学校団体名	総人数	月日
小学校 29校 1,501人	1 高松市立男木小学校4～6年生	4	6.11(金)
	2 丸亀市立城神小学校6年生	109	6.17(木)
	3 高松市立木太小学校6年生	64	6.22(火)
	4 多度津町立多度津小学校6年生	57	10.1(金)
	5 まんのう町立長炭小学校5・6年生	50	10.1(金)
	6 坂出市立東部小学校5年生	58	10.1(金)
	8 丸亀市立富熊小学校6年生	20	10.13(水)
	9 さぬき市立造田小学校5年生	31	10.15(金)
	10 丸亀市立城北小学校5年生	40	10.22(金)
	11 さぬき市立寒川小学校5年生	47	10.22(金)
	12 さぬき市立さぬき北小学校3年生	40	10.26(火)
	13 さぬき市立さぬき南小学校5年生	44	10.26(火)
	14 三豊市立笠田小学校5・6年生	45	11.2(火)
	15 善通寺市立吉原小学校6年生	24	11.2(火)
	16 綾川町立滝宮小学校3年生	77	11.4(木)
	17 阿波市立八幡小学校6年生	17	11.4(木)
	18 坂出市立東部小学校6年生	73	11.11(木)
	19 坂出市立府中小学校5年生	23	11.12(金)
	20 観音寺市立柞田小学校6年生	72	11.17(水)
	21 高松市立一宮小学校2年生	63	11.17(水)
	22 直島町立直島小学校6年生	26	11.18(木)
	23 高松市立一宮小学校2年生	62	11.24(水)
	24 観音寺市立大野原小学校6年生	89	11.25(木)
	25 四国中央市立新宮小学校4～6年生	21	11.30(火)
	26 香川大学教育学部附属高松小学校	39	12.3(金)
	27 丸亀市立城西小学校6年生	84	12.16(木)
	28 高松市立中央小学校6年生	174	12.17(金)
	29 まんのう町立高篠小学校6年生	48	12.21(火)
	中学校 1校 18人	1 高松市立香南中学校 美術部	18
高等 学校 7校 163人	1 県立高松工芸高校 美術科2年生	27	6.8(火)
	2 県立高松工芸高校 デザイン科2年生	29	6.10(木)
	3 県立高松工芸高校 美術科1年生	24	6.10(木)
	4 県立高松工芸高校 工学科2年生	25	10.12(火)
	5 県立高松工芸高校 工学科1年生	25	10.13(水)

	6	県立高松高校 通信制課程	15	11.7(日)
	7	県立高松西高校 美術部	18	R4.1.15(土)
特別支援学校 3校 42人	1	県立丸亀養護学校 小学部6年生	22	10.29(金)
	2	県立豊学校 中学部2・3年生	4	11.26(金)
	3	県立香川東部養護学校 中学部1年生	16	R4.2.15(火)
大学等 4校 55人	1	徳島文理大学 文学部	12	7.17(土)
	2	せとうち観光専門職短期大学	7	11.2(火)
	3	高松大学 発達科学部	25	11.6(土)
	4	徳島文理大学 文学部	11	11.17(水)

⑥教員研修会への協力

令和2年度に引き続き香川県中学校社会科研究会(以下「香中社」)に参加した。

第1回の研究員会では、「香中社研究のあゆみと今後」についての講話を聴き、香中社の現在の研究の方向性を再確認することができた。その後の分野別分科会では歴史部会に参加し、「小豆・さぬき・東かがわ大会」の成果と課題を確認し、令和6年度に開催される坂出・綾歌大会で引き継ぐべき研究内容についての意見交換に参加した。

第2回の研究会では、「社会科授業力アップ研修」に参加して、教科書作成に携わる専門家の話を聞き、教科書で行うことのできる探求型学習の方法についての意見交換に参加した。

今年度は、研究大会のまとめの年であったため、研究授業の実践がなく、授業協力を行うことはできなかった。

また、県小学校教育研究会社会科部会については、夏季研修会も研究大会も新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となったため、本年の参加・協力はできなかった。

月日	参加会	場所
10.2(土)	第1回研究委員会	香川大学教育学部附属高松中学校
11.7(日)	第2回研究委員会	香川大学教育学部附属高松中学校

⑦職場体験学習・インターンシップへの協力

令和3年度の職場体験学習の受け入れは1校だった。他に職場体験学習の代替として行われた学習会に、講師として招かれた。

月日	内容	派遣職員	学校
11.9(火)・10(水)	職場体験受入	—	さぬき市立さぬき南中学校
12.3(金)	講話「働くことの意義」	櫻木拓 一柳友子	高松市立勝賀中学校

⑧大学との連携

○館内見学等受入

月日	大学	種別	人数	備考
7.17(土)	徳島文理大学 文学部	学芸員資格単位取得	12人	再掲
11.2(火)	せとうち観光専門職短期大学		7人	再掲

11.6(土)	高松大学 発達科学部		25人	再掲
11.17(水)	徳島文理大学 文学部	学芸員資格単位取得	11人	再掲

○館外講師派遣

月日	大学	テーマ	派遣職員	備考
6.24(木)	香川県立保健医療大学	満濃池について	川邊優佑	
8.2(月)～ 6(金)	四国学院大学	博物館資料 保存論	高木敬子 一柳友子 鹿間里奈 川邊優佑	博物館学

⑨博物館実習

当館では、博物館学芸員資格の取得課程の一環として、大学からの依頼により実習生を受け入れている。令和3年度は、11人の実習生を受け入れた。

実習はオンライン実習(8月31日(火)・9月1日(水))と実地実習を行った。

実地実習は①10月8日(金)～10日(日)3人、②10月17日(日)～19日(火)4人、③10月25日(月)～27日(水)4人の3回に分けて実施した。

<実習生の大学別内訳>

愛媛大学3人、岡山大学1人、関西学院大学1人、京都女子大学1人、神戸女子大学2人、信州大学1人、徳島文理大学1人、広島大学1人

オンライン実習

月日	実習内容
8.31(火)	県立ミュージアムの仕事について
9.1(水)	博物館の機能、役割について

実地実習①

月日	実習内容
10.8(金)	館内見学、資料の取り扱いについて
10.9(土)	資料収集、展示について
10.10(日)	資料整理

実地実習②

月日	実習内容
10.17(日)	館内見学、展示撤収について
10.18(月)	撤収作業手伝い
10.19(火)	展示作業手伝い

実地実習③

月日	実習内容
10.25(月)	展示撤収について、撤収・展示替作業手伝い
10.26(火)	館内見学、展示準備手伝い

10. 27 (水)	展示作業手伝い
------------	---------

⑩その他の学校等との連携

○出前授業

令和3年度は、3校において出前授業を実施した。なお、高松市立香西小学校では、研究授業への助言や授業で使用する資料の提供も行った。

また、多度津町立多度津中学校では、特別展「近代香川を生み出したまち 多度津ものがたり」の関連企画として出前授業を実施した。

月日	学校名・学年	人数	テーマ
5. 21 (金)	高松市立香西小学校 6年生	83人	「原始・古代の香西」
6. 16 (水)	県立高松東高校 2年生	30人	「戦国の城跡を巡る」
10. 25 (月)	多度津町立多度津中 学校2年生	199人	「近代を生み出した町多度津」

○香川県中学校美術教育研究会との連携

香川県中学校美術教育研究会が主催する「オニノコプロジェクト」に当館も平成30年度から協力している。

令和3年度は、「オニノコの願い」と題した活動を、香川県教育委員会委託事業「未来のアーティスト育成事業～芸術って楽しいな！」として実施した。

日程・参加校数	行事内容	会場
R4. 1. 2 (日)～30 (日) 県内23校3,529人	展示「オニノコの願い」	2階西ロビー

○県立丸亀高等学校との連携

令和3年度特別展「空間に生きる画家 猪熊弦一郎 一民主主義の生活空間と造形の試み」の関連企画として、県立丸亀高等学校の協力を受けて制作した猪熊弦一郎の壁画《デモクラシー》(1949年、慶応義塾大学蔵)の原寸大複製壁画を特別展会期中に1階ロビーで公開した。

○県立高松高等学校通信制との連携

県立高松高等学校通信制の生徒を対象に、当館職員がファシリテーター役となり、アートカードを使ったレクリエーションを実施した(11/7(日)実施)。

⑪体験学習室

体験学習室では、近年見かけることが少なくなった伝統的な玩具が用意され、昔の遊びを体験できる。また、十二単や甲冑の試着ができるコーナーもある。ただし令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として利用を休止した。

<体験学習室備品一覧>

衣装	十二単 甲冑 貫頭衣	絵扇 弓 古墳時代の甲冑(厚紙製)	
遊具	盤双六 けん玉 お手玉 将棋 こま ベーゴマ めんこ トントンずもう かるた 土器パズル むかしばなし	絵双六 ヨーヨー 投扇興 囲碁 力士ごま べーゴマ台 ビー玉 だるま落とし 百人一首 絵パズル 紙芝居用舞台	かわりごま コマまわし台 おはじき 貝合わせ 組み木パズル
楽器	篠笛 ひちりき 拍子木	龍笛 尺八 小鼓	能管 神楽鈴 カンカン石
帽子	折烏帽子	張貫立烏帽子	御冠
その他	姿見 千両箱 張子の虎 みとり(綿繰り機) 昔遊びの本 香川県のパズル マナーフィッシュ	源内のぞきめがね 箱枕 奉公さん 獅子頭 十二支パズル 香川県を探せパズル	箱膳 高松張子 竹製水鉄砲

⑫図書コーナー

図書コーナーは、体験学習室に隣接して設置している。約4,000冊の蔵書(歴史、民俗、美術に関係するもの)を常備し、利用者が自由に閲覧できる。令和3年度は、新たに図録等8冊を配架した。

⑬ビデオライブラリー

3階歴史展示室内の詳細映像や、香川県の民俗行事の映像(下記一覧表参照)を自由に選べるタッチパネル操作のモニター画面を設置している。

また、314本のビデオテープを常備し、来館者は希望すれば映像を閲覧できる。ただし令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として利用を休止した。

<ビデオライブラリー制作番組一覧>

ジャンル	考古	発掘調査に挑戦 銅鑿絵画の世界 瀬戸内海の2万年 讃岐の古代遺跡
	歴史	讃岐の古代仏教 若き日の弘法大師空海 菅原道真と讃岐 悲劇の上皇崇徳院 志度の玉取り伝説 水主神社の経函 中世の埋納銭 ヤジさんキタさん金毘羅へいく 江戸の科学 寛延の百姓一揆 讃岐三白 香川

		の近代塩業 戦後の公営住宅 汽車が電車が香川を走る 坂出・宇多津変わりゆく郷土 香川の近代建築1・2
美術		香川の国宝 讃岐のみほとけ
民俗		肥土山農村歌舞伎 安田おどり 坂本念仏踊 滝宮の念仏踊り～雨乞奉納～・～常例奉納～ 櫃石ももて祭 北条念仏踊 綾南の親子獅子舞 庵治縮太鼓 祇園座 勅使本村の獅子舞 直島女文楽 虎頭の舞 尺経獅子舞 南川太鼓 家浦二頭獅子舞 生里ももて祭 賀茂神社長床神事 さいさい踊 田野々雨乞踊 吉津夫婦獅子舞 和田雨乞踊 綾子踊 神野神社湯立神事(神楽) 蹴鞠 木熊野神社特殊神事 シカシカ踊り 垂水神社湯立神事(神楽) 南鴨念仏踊 弘法大師信仰 讃岐雨乞物語
香川県全域		水とくらし

		合]	務局 本州四国連絡高速道路株式会社	
11. 24 (水)	田口慶太	猪熊玄一郎 つながる時代と人々	香川県観光協会	55人
11. 27 (土)	川邊優佑	安政地震による讃岐国の被害について	科学研究費助成事業(特別能産研究)「地域歴史資料学を基軸として災害列島における地域存続のための地域歴史文化の創成」グループ/愛媛資料ネット	35人
12. 11 (土)	酒井将年	讃岐の石文化ー石舟の石工文化を中心に	高松市立讃岐国分寺跡資料館	39人
12. 21 (火)	御厨義道	関ヶ原の戦いにおける京極家の大津籠城	蓬萊歴史研究会	23人
R4. 1. 5 (水)	御厨義道	讃岐の大名	かがわ健康福祉機構長寿社会部	79人
1. 7 (金)	御厨義道	讃岐の大名	かがわ健康福祉機構長寿社会部	94人
1. 8 (土)	野村美紀 御厨義道	香川の歴史と美術について	放送大学	14人
1. 9 (日)	一柳友子	香川の歴史と美術について	放送大学	14人

(2) 地域連携活動

①職員の講師等の派遣

月日	派遣職員	テーマ・内容	主催	参加者数
6. 28 (月)	田口慶太	本校の教育活動について	県立高松工芸高等学校	11人
7. 2 (金)	三好賢子	仏像の見方	三豊市高瀬町公民館	29人
7. 13 (火)	三好賢子	令和2年度香川県指定有形文化財(彫刻)について	香川県文化財保護協会	40人
7. 19 (月・祝)	御厨義道	第十五回「お守り刀展覧会」作品審査会	全日本刀匠会・林原美術館・お守り刀展覧会運営委員会	12人
8. 6 (金)	三好賢子	香川県内の仏像	三豊市高瀬町公民館	25人
9. 15 (水)	櫻木拓	緑化ポスター原画コンクール	公益財団法人かがわ水と緑の財団	3人
9. 17 (金)	櫻木拓	「家庭の日」作品審査会	香川県、青少年育成香川県民会議	3人
9. 22 (水)	櫻木拓	令和3年度愛鳥週間ポスター原画コンクール審査会	みどり保全課	4人
10. 18 (月)	川邊優佑	丸岡家文書から見る香南町の歴史	高松市香南コミュニティセンター	19人
10. 23 (土)	三好賢子	根香寺の仏像について	香川県政策部文化芸術局文化振興課	33人
11. 23 (火・祝)	三好賢子	第13回せとうち美術館サミットにおける「テーマ別会	せとうち美術館ネットワーク事	80人

②地域資料調査

平成30年度より県文化芸術振興計画が新しく策定され、あわせて当館の中期活動計画も改訂された。文化芸術振興計画中の「文化財や文化遺産の整備保存と積極的な活用」、中期活動計画の「地域の文化資源の掘り起こし・磨き上げ・活用」に沿った活動として以下の活動を実施した。

新型コロナウイルス感染症の影響により、不定期となったが、地域資料の所在把握調査のモデル地区とした多度津町において、有志によって行われている合田邸における所在資料の整理作業や活用にあたり当館職員も協力した。邸内の部屋、物入れ等に収納されている生活道具や文書・記録類・書籍等の概要把握と蔵への移動を実施した。邸内の公開場所を増やすと同時に、合田邸のあゆみを示す資料群としての活用に向けた活動である。

令和2年度より引き続いて、観音寺市の常磐地区(旧植田村近辺)に残る旧家資料の整理・調査に協力した。対象となる旧家は、植田村庄屋や大庄屋を務めた家であり、近代以降も地主として地域に影響を持った。屋敷は解体され、敷地の一部はコミュニティセンターとして利用されているが、蔵とその横に建てられた2階建てのプレハブ建物に、書画・什

器・文書記録資料が収納されている。当館が参加する前から、什器類などの整理が資料の所有者と周辺の住民の方々により着手されていたが、文書記録資料の調査を中心に協力をしてほしいとの要望により令和2年度から取り組むこととした。具体的な活動は、不定期（新型コロナウイルス感染症の影響）ながら、館職員（1～2名）が現地に赴き、資料整理・調査を行うというものである。段ボール箱や木箱などに収納されている状態であることから、収納容器ごとの概要を把握した。

令和2年度に実施した県下の小中高等学校、特別支援学校に対する所蔵する美術作品等についてのアンケート結果に基づき、作品の個別調査を実施した。

③ボランティア

令和3年度のボランティア登録人数は、27名の新規応募を含め94名（うち活動休止7名）であった。

ボランティアは、解説、ギャラリートーク、普及、資料整理、高校生、分館の5つのグループに分かれて活動している。他のグループへの異動や複数グループへの登録も可能で、グループ別の活動のほか、全グループが参加できる活動も行っている。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、全体および各グループでの活動を縮小した。休館時の定例会等は中止とし、展示室での解説は年間を通して休止した。ワークショップなどは対策を取った上で開催した。

○各グループの活動

*複数グループの登録者がいるため、合計数が登録実人数より多くなっている（各グループの人数は休止者数を除く）。

<解説グループ> 14名

3階歴史展示室にて、毎週土曜日および特別展会期中の土・日曜日の13時30分～16時に、希望者を対象に展示解説を実施してきたが、令和3年度は休止。

毎月1回、第4土曜日を中心に定例会を開き（5・8・9月は中止）、活動状況などに関する情報交換を行うとともに、グループ員が持ち回りで興味関心をもったテーマについて研究報告する勉強会を実施し、県内の歴史や民俗等に関する知識を深めた。

<ギャラリートークグループ> 13名

2階常設展示室にて、日曜日の11時～12時に、美術に関する展示会の展示内容紹介（ギャラリートーク）を、また、特別展「日本伝統工芸展」での展示品解説を実施してきたが、令和3年度は休止した。

毎月1回、第2土曜日に定例会を開催し、活動計画や活動状況報告、勉強会等を行った。

<普及グループ> 19名

本年度は3つのワークショップを企画し、2つを実施した。1つは新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館によって中止となった。

（※ワークショップの内容は、(3) 普及活動を参照）

また、平成17年からミュージアムが実施する調査の一環として、あらかじめ定めた地点で継続的に写真撮影を行い、景観の変化等を記録し資料化する定点観測を実施している。本年の調査はミュージアム職員とともに11月21日（日）に実施した。

なお、これらの活動を企画・運営するために毎月1回、第3日曜日に定例会を開催し、行事に向けての準備、打ち合わせを行った。

<資料整理グループ> 24名

毎月2回の定例活動日（第1日曜日・第3土曜日）に次のような作業を行った。

全国から発送されてくる博物館・美術館の展覧会チラシや寄贈図書等の整理、刊行物の封入作業補助、図書コーナーの図書確認等。整理された展覧会チラシは都道府県別にファイリングし、来館者が閲覧できるように整理して2階ロビーに設置した。

<高校生グループ> 11名

高校生の新規応募が多かったことから、令和3年度より高校生グループを新設した。歴史と美術の2グループに分かれて活動を行った。歴史グループは香川に関連する歴史上の人物や史跡などを紹介する動画、美術グループは香川県ゆかりの画家を取り上げたリーフレット「香川県の画家を見る」を作成した。動画やパンフレットはロビーで上映・配布（R4.2.19～3.31）したほか、ホームページ上にて公開（R4.2.19～7.31）した。

<分館グループ> 39名

活動内容の詳細は、分館 瀬戸内海歴史民俗資料館 2地域連携学習支援事業（P.55）に掲載。

④香川県資料館協議会

香川県資料館協議会は、当館に事務局を置き、県内市町等の資料館・博物館の職員の資質向上のための研修や、情報交換をはじめ、展示企画・教育普及・調査研究・資料管理にかかる加盟館相互の交流を図るため、年2回の会議・研修等を実施しているが、令和3年度も新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて、2回とも中止となった。

<参考>「香川県資料館協議会会則」

（名称）

第1条 本会は、香川県資料館協議会という。

（組織）

第2条 本会は、香川県内の資料館及びこれに類する施設をもって組織する。

（事務局）

第3条 本会の事務局は、香川県立ミュージアムに置く。

（目的）

第4条 本会は、香川県の資料館事業の普及発達を図り、もって地域文化の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第5条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ①資料館相互の連絡及び情報交換
- ②資料の調査、収集、保存、展示などに関する協力
- ③資料館事業に関する研究会、講演会及び講習会などの開催
- ④その他本会の目的達成に必要な事業

(役員)

第6条 本会に、会長1名及び副会長1名を置く。

- 2 会長は、香川県立ミュージアム館長の職にある者をもって充てる。
- 3 会長は、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長があらかじめ指名する。任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期満了後、新役員が選任されるまでは、なお、その職務を行う。役員任期途中において、人事異動その他のやむを得ない事由により退任した場合は、当該役員に所属する施設の後任者をもってその任に充てるものとする。この場合の任期は当該役員に充てられた期間とする。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

(会議)

第7条 会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 会議は、年2回開催し、別に臨時会を開くことができる。
- 3 議決を要する事項は、出席会員の過半数で決する。
- 4 会議を招集するいとまがなく緊急に処理を要する事項は、会長が決する。

(経費)

第8条 事業にともない経費が必要となった場合は、臨時に徴収することができる。

(委任)

第9条 この会則に定めるものの他、本会の運営について必要な事項は、会長が別に定める。

附則

- 1 本会則は、昭和59年5月22日から実施する。
- 2 本会則は、平成10年7月30日に一部改正する。
- 3 本会則は、平成13年4月1日に一部改正する。
- 4 本会則は、平成14年7月18日に一部改正する。
- 5 本会則は、平成20年4月1日から施行する。
- 5 本会則は、平成21年4月1日から施行する。

附則(平成21年4月1日)

上記の規定にかかわらず、平成21年3月31日に監事の職にあるものは、平成21年度決算が承認されるまでその職務を行うこととする。

(3) 普及活動

① ワークショップ

ボランティア普及グループが主体的に企画・運営する一般向けの体験講座を1回実施した。この時期は、新型コロナウイルス感染症拡大により、香川県全域が「まん延防止等重点措置」の対象地域となっていたため、申込も少なく、キャンセルも相次いだことで、当日の参加者は1人であった。

	月日	ワークショップ名	参加者 (申込者)	参加料
1	R4. 2. 19 (土) ・20(日)	県立ミュージアムボランティアと 「高松張子をつくろう」	1人 (6人)	500円

② キッズワークショップ

ボランティア普及グループが主体的に企画・運営する小学生向けの体験講座を2回企画した。

8月には、「屋島の立体模型」をつくる講座を企画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴って当館が臨時休館となったため、中止となった。そこで、参加予定者には、立体模型の材料と解説資料(制作マニュアル入り)を提供した。

1月には、「つまみ人形」をつくる講座を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大によって4人のキャンセルが出たが、15人がワークショップに参加した。当日は、3つの部屋に分かれて制作作業を行うなど、感染防止対策の徹底に努めた。参加した小学生はつまみ人形の制作体験に加えて、ボランティアの解説を聞いて、歴史的な由来や伝統的工芸品としての価値についても学ぶことができた。

	月日	ワークショップ名	参加者 (申込者)	参加料
1	8. 8(日) 【中止】	県立ミュージアムボランティアと 「屋島の立体模型をつくろう」	— (30人)	500円
2	R4. 1. 23(日)	県立ミュージアムボランティアと 「つまみ人形をつくろう」	15人 (19人)	500円

③ 特別展等関連イベント

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、特別展関連の展示解説は動画を作成して館内で放映するほかYouTube配信し、ワークショップは実施に替えて鑑賞ガイドの配布を行うなど、実施方法を工夫した。

イベント

	月日	内容等	講師等	参加人数 (申込人数)
特別展「空間に生きる画家 猪熊弦一郎 一民主義の生活空間と造形の試み」関連				
1	4. 29 (木・祝)	ワークショップ「県庁壁画をデザインしよう！」	当館職員	12人 (13人)

特別展「近代香川を生み出したまち 多度津ものがたり」関連				
1	9.18 (土) ～11.23 (火・祝) ↓ 延期後 10.1 (金) ～11.23 (火・祝)	スタンプラリー「多度津ものがたり」	—	1,768人 (—)
2	10.16 (土) ・17 (日)	家中武家屋敷「富井家住宅」公開	当館職員	75人 99人 計174人
3	9.25 (土) ↓ 延期後 10.31 (日)	多度津ヒストリートめぐり(町教育委員会職員による本通周辺の町並み解説)	松下直樹 (多度津町教育委員会)	17人 (21人)
4	10.3 (日) ↓ 延期後 11.7 (日)	盛土山古墳見学会	白木亨 (多度津町教育委員会)	33人 (21人) ※当日参加あり
5	[定例公開] 10.3 (日) ・11.17 (日) (臨時公開) 9.26 (日) ↓ 延期後 10.17 (日)	奥白方武家屋敷「林求馬邸」公開	—	63人 72人 49人 計184人
特別展「第68回 日本伝統工芸展」関連				
1	—	子どものための伝統工芸パンフレット『作家さんにインタビュー』配布 ※第66回日本伝統工芸展まで例年実施していたワークショップ「うるしにチャレンジ」の代替として実施	—	県内小学4・5・6年生及び来場した子どもに配布

動画公開

種類	タイトル	講師(製作)
特別展「空間に生きる画家 猪熊弦一郎 —民主主義の生活空間と造形の試み」関連		
1	手話動画 ①②③④⑤⑥	香川県聴覚障害者福祉センター
2	解説動画 (全6本)	空間に生きる画家 猪熊弦一郎 展紹介動画 こが見どころ 当館職員

特別展「第85回 香川県美術展覧会(県展)」関連 【一般公開中止】			
1	会場動画	第1期:彫刻(立体表現)・工芸・書	—
2	会場動画	第2期:絵画(日本画・洋画)、写真	—
3	解説動画	日本画	鈴木龍子、馬場昭次
4	解説動画	写真部門	石塚喜代司、前田重信
5	解説動画	洋画部門	貞廣豊、四宮金一、真鍋茂明
6	解説動画	書部門	小森秀雲、青木幽碩、山本恵美子、藤井紫霞
7	解説動画	彫刻(立体表現)部門	宮井章裕、中井弘二郎
8	解説動画	工芸部門	伊藤信夫、石原雅員
特別展「近代香川を生み出したまち 多度津ものがたり」関連			
1	手話動画 全3本	多度津ものがたり ①②③	香川県聴覚障害者福祉センター
2	関連イベント動画	01 多高プレゼンテーション「民家の甲子園 1—多度津本通りドラマ～人々が行き交う街へ」	県立多度津高等学校
3	関連イベント動画	02 多高プレゼンテーション「民家の甲子園 2—今も変わらぬ家老の想い」	県立多度津高等学校
4	関連イベント動画	03 多高プレゼンテーション「地域と繋がる環境活動」	県立多度津高等学校
5	関連動画	四国新道を走ル	当館職員
特別展「第68回 日本伝統工芸展」関連			
1	解説動画	第68回日本伝統工芸展 高松展紹介動画	松原 弘明(漆芸) 近藤裕美子(諸工芸) 鬻農美重子(陶芸) 山口撰華(染色)
常設展「私の町にも映画館があった」関連			
1	関連動画	映画館インタビュー	当館職員
2	関連動画	私の町にも映画館があった	当館職員
3	関連動画	香川県内に現存する映画館	当館職員
東かがわ市・香川県立ミュージアム連携展			
1		「城を旅する」紹介動画	東かがわ市職員ほか
ロビー展示(香川県中学校美術教育研究会連携事業)			
1	会場動画	オニノコの願い	—
ボランティア活動関連			
1	紹介動画	平賀源内 那須与一 丸亀城	高校生ボランティア

		讃岐うどん 金毘羅船	
--	--	---------------	--

7	3.19(土)	民俗調査40年一調査・収集 現場から現代社会を見る	田井静明	— (延期)
---	---------	------------------------------	------	-----------

④講演会

特別展に関連したテーマや話題性の高い魅力的なテーマを設定し、講演会やトーク・イベントを計2回実施した。年度当初は4回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて2回の実施となった。

	月日	演題	講師	受講人数
1	5.2(日) 【中止】	講演会 「開かれた空間 1950 年前後の芸術的可能性」 *猪熊玄一郎展関連	水沢勉 (神奈川県立近代美術館館長)	—
2	5.15 (土) ↓ 延期後 8.29 (日) 【中止】	トーク・イベント 「猪熊玄一郎の交友録」 *猪熊玄一郎展関連	古野華奈子 (丸亀市猪熊玄一郎現代美術館学芸員) 牧野裕二 (高松市美術館学芸員) 一柳友子 (当館専門学芸員)	—
3	10.23 (土)	トーク・イベント 「多度津高等学校写真部によるプレゼンテーション」 *多度津展関連	県立多度津高校生徒 (写真部)	38 人
4	R4.1.8 (土)	講演会「藍胎蒔醬一僕と太田先生との思い出」*第 68 回日本伝統工芸展関連	大谷早人 (重要無形文化財「蒔醬」保持者)	122 人

⑤学芸講座

当館職員が香川の歴史や古美術、日本美術や西洋美術について、特別展や常設展示のテーマ、調査研究等に関連して講座を6回実施した。年度当初は7回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて6回の実施となった。

	月日	タイトル	講師	受講人数
1	7.31(土)	讃岐の文人画とその交流	鹿間里奈	27 人
2	10.23(土)	多度津ものがたり 多度津陣屋の成立	川邊優佑	64 人
3	11.6(土)	香川県内の映画館史 (1898～1965)	高木理光	53 人
4	11.28(日)	猪熊玄一郎の藤野疎開	一柳友子	21 人
5	12.5(日)	生誕110年 明石朴景 一物語を紡ぐ、漆の世界	日置瑤子	17 人
6	R4.2.26(土)	ミュージアム・プレゼンテーション 2022 博物館の仕事 図鑑	高木敬子 御厨義道 櫻木拓 真鍋貴匡 高校生ボランティア	47 人

3 調査研究事業

調査研究事業は、香川県立ミュージアム規則第2条第3項「資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと」に基づき実施し、種々のミュージアム事業を展開していく上で、その原動力となるものである。

当館では、前身の歴史博物館時代より県内寺社調査や歴史資料の所在確認調査を行い、『調査研究報告』や展示、講座等でその成果を公表してきた。また、文化会館の美術部門では、県ゆかりの作家・作品の調査を行い、展示に反映させてきた。歴史博物館と美術館の機能が一体となったミュージアムにおいては、更に多角的に調査・研究活動を行い、失われつつある歴史や民俗、先人の残した優れた作品や現在活躍中の美術作家作品等を掘り起こし、本県文化の新たな創造に寄与することを目指している。

(1) 調査研究活動

① 寺社総合調査

令和3年度は、先年より続く、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、館外での調査活動等に制限があったが、以下の活動を行った。

・善通寺古文書・古記録調査

善通寺総合調査は平成12年度より5カ年計画で開始し、宝物館を中心に諸堂に所在する彫刻、書画、工芸品、古記録類ほか什物の調査を行った。すでにその成果は「特集善通寺総合調査報告(1)(2)(3)」(『調査研究報告』第2、3、4号/香川県歴史博物館発行)をはじめ、平成18年度特別展『創建1200年 空海誕生の地 善通寺』等で公表してきた。

平成18年度より、善通寺境内にある「土蔵」内の文書・記録資料の調査を開始し、その成果を『ミュージアム調査研究報告』で継続的に公表している。平成23年度からは、愛媛大学を始め、香川大学や徳島文理大学と共同して調査に取り組んでおり、令和3年度は、愛媛大学と共同で、約200件の基本データ採取、約990件の資料画像撮影を行った。

② 収蔵資料の調査研究

収蔵資料について、学術的な意義や歴史的な位置づけ、作家・作品の特徴などを明確にするため、より詳しい調査研究に取り組んだ。

i) 高松松平家博物図譜の総合調査

香川県指定有形文化財「高松松平家博物図譜」4種13帖について、自然系人文系に偏らない視点を持ちつつ、各専門分野による研究を総合的にすすめ、本図譜の歴史的文化的な価値を明らかにしようとするものである。令和3年度は、大場秀章氏(東京大学総合研究博物館名誉教

授)等により、「衆芳画譜」について植物学の観点からの調査・研究が実施された。

ii) 常設展示開催にかかる調査

常設展示の開催にあたり、収蔵資料等の調査に取り組み、いずれも展示解説シートや展示パネル等にその成果を反映させた。また、主な成果を当館が発行する『ミュージアムNEWS』の調査研究ノートにおいて紹介した。

・収蔵品紹介 重要文化財「月江正印墨蹟 印可状(「高松松平家名品」展)『NEWS』53号

・収蔵品紹介 明石朴景 乾漆飾壺「薫風婉然」(「生誕110年 明石朴景一物語を紡ぐ、漆の世界」展)『NEWS』54号

・調査研究ノート 作品の魅力を探る 一日本画家 岩倉壽の作品から(「岩倉壽一心に映す風景」展)『NEWS』54号

・調査研究ノート 香川初の映画館はどこか?(「私の町にも映画館があった」展)『NEWS』55号

・調査研究ノート 江戸時代の旅日記(「あちこち旅日記」展)『NEWS』56号

iii) その他

小林萬吾に関わる資料を調査し、成果を『ミュージアム調査研究報告 第13号』に掲載した。

高松松平家歴史資料中の「小品盆栽」関連資料について調査を実施し、基礎データの採取、資料画像撮影を行った。

預託されている資料について、整理・調査を行った。多度津藩政資料については、記載内容の概要をまとめる作業を行った。

③ 資料所在等の確認調査

県内外にある香川県の歴史・美術に関わる資料調査を、高松市、坂出市、観音寺市などで実施し、一部については収蔵を検討した。

④ 展示に係る調査

常設展示及び特別展示の開催などに係る調査を、次表のとおり実施した。これらの調査成果によって展示を企画し、館外から資料借用をしたほか、展示図録・解説シート・パネル・キャプションの解説文などに反映させた。

展示名	主な調査先
特別展「近代香川を生み出したまち 多度津ものがたり」	JR多度津工場、丸亀市立資料館、香川県立文書館、多度津町立資料館、香美市談話所公民館(高知県)、鎌田共済会郷土博物館(坂出市)、天霧文庫(多度津町)
常設展「私の町にも映画館があった」	観音寺市役所、香川県立文書館

次年度以降特別展・常設展	白峯寺(坂出市)、御名号堂(愛媛県)、愛媛県歴史文化博物館、岡山大学附属図書館、御前神社(岡山県)、羽黒神社(岡山県)、徳島県立博物館、徳島県立文書館、倉敷市立玉島図書館(岡山県)、龍野歴史文化資料館(兵庫県)、神戸市立博物館(兵庫県)、大阪歴史博物館
--------------	--

⑤レファレンス等による対応・調査

一般的には図書館業務として知られるレファレンスサービスであるが、歴史・民俗・美術と取り扱う分野が幅広い当館の専門性を利用者に提供する機能として重要な業務である。

当館には電話・電子メール・郵便・来訪などにより問い合わせがある。展示観覧中に案内員を通じて問い合わせが寄せられる場合もある。

こうした問い合わせに対する対応を、本項における「レファレンス」として取扱っている。

その内容は、美術・歴史・民俗に関する「質問」、当館への作品・資料の収集に関わる「寄贈・寄託希望」、作品・資料や習俗についての「調査依頼」、作品・資料等に関する「資料情報」、展示やホームページ、行事に関する内容や会期等の「運営・運用」に分類される。

令和3年度全体では144件の問い合わせがあり、その内訳は下記のとおりである。

令和3年度レファレンスの内容別件数

項目	件数
質問	73
寄贈・寄託希望	17
調査依頼	7
資料情報	3
運営・運用	27
その他	17
合計	144

※このうち、ホームページの「お問い合わせフォーム」、電子メールを利用したレファレンスは48件。

i) レファレンス概要

レファレンスは受付後内容をメモに記録し課内での引継ぎを確実にし、迅速に回答するように努めている。レファレンスを通じて価値ある資料の所在や資料情報の把握に至る例も少なくない。

「質問」の内容は一般的なものから専門的なものまで幅広くあるが、専門性を要する質問については本館の各専門分野の担当者や分館の瀬戸内海歴史民俗資料館の担当者が協力して対応し、必要に応じて館外の有識者の助

力を仰ぐなどして、回答内容の精度を保つよう努めている。

収蔵資料などの画像利用、閲覧、貸出といった「特別利用」に関する問い合わせには、「香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料利用要綱」に基づいて対応している。

ii) 資料(作品)の寄贈・寄託の申し出に伴う調査

令和3年度に、レファレンスとして寄贈・寄託の申し出が寄せられたのは17件であった。申し出に対しては、「香川県政策部文化芸術局の歴史、美術及び民俗に関する資料収集方針」及び同「要綱」に基づき、資料の概要や性格などの基本情報を踏まえて、原則現物資料のコンディションを実地調査によって把握し、その後収蔵後の活用価値などを見極めて対応している。

iii) 自治体・他機関などからの依頼

このほか、以下の機関から依頼を受けて、調査または調査指導・助言などを行った。

- ・県教育委員会事務局生涯学習・文化財課
- ・金刀比羅宮

⑥他機関との共同研究

i) 共同研究・分担など

なし

ii) 自治体や他機関からの委嘱など

野村美紀

- ・三豊市公文書等管理委員会委員
- 三好賢子
- ・高松市文化財保護審議会委員

⑦各種研修の受講

博物館事業の充実と質の向上に努めるため、各種研修等に職員を派遣している。令和3年度は以下について参加した。

月日	研修名	会場
6.3(木)	令和3年度 公開承認施設担当者会議	オンライン開催
6.4(金)	令和3年度 国宝・重要文化財(美術工芸品)防災・防犯対策研修会	オンライン開催
11.23(火・祝)	せとうち美術館サミット	レクザムホール(香川県県民ホール)
12.14(火)	令和3年度四国地区博物館協議会および日本博物館協会四国支部研修会	オンライン開催
R4.1.18(火)	大名道具収蔵館研究会 テーマ「武家の服飾」	オンライン開催
2.4(金)	令和3年度 やさしい日本語研修会	オンライン開催

2.6(日)	公開レクチャー:イタリアの専門家から学ぶ、自閉症児や自閉症の人を対象としたアート創作と鑑賞プログラム(アーツアライブ)	オンライン開催
3.10(木)	全国美術館会議 学芸員研修会 テーマ「なぜいま、地域美術を研究するか」	オンライン開催

(2) 成果物公表

① 研究成果の公表

i) 『ミュージアム調査研究報告 第13号』の刊行目次

- ・善通寺調査 (13)
善通寺文書調査について (12)
善通寺文書目録 (CD-ROM)
- ・最明寺調査
最明寺調査について
伝山田蔵人所用甲冑 御厨義道
最明寺の書画類 鹿間里奈
- ・「那珂郡吉野上邑木之崎新池絵図」追跡調査 芳澤直起
- ・津田松原の風景観 信里芳紀
- ・網漁具における手繰網の分類について 真鍋篤行
- ・小林萬吾「留学手帳」「従軍手帳」 芳地智子
- ・香川県内小・中・高・特別支援学校所蔵作品調査報告 櫻木 拓
- ・室蘭工業大学所蔵旧香川県立体育館設計図について 佐藤竜馬
室蘭工業大学所蔵旧香川県立体育館設計図 (CD-ROM)

ii) 特別展図録等の刊行(「②刊行物」参照)

- ・『戦後デザイン運動の原点 デザインコミッティーの人々とその軌跡』(川崎市岡本太郎美術館と共同執筆)

iii) 論文・報告・紹介など

※以下の公表業績にかかる掲載事項は、すべて各人の申告による。

〈学術的著述〉

- 野村美紀
 - ・「栗林公園の歴史 一明治から昭和まで」『大学的香川ガイド』(香川大学教育学部監修 R4.3)
- 三好賢子
 - ・「善通寺の本尊薬師如来坐像」『大学的香川ガイド』(香川大学教育学部監修 R4.3)
- 鹿間里奈
 - ・『戦後デザイン運動の原点 デザインコミッティーの人々とその軌跡』(R3.11) 共同執筆
(香川県庁舎、石元泰博「桂」、グッドデザイン展、石元泰博、亀倉雄策、前川國男、イサム・ノグチ)
川邊優佑

- ・「安政地震による讃岐国の被害について」『地域歴史文化フォーラム愛媛 安政・昭和南海地震の新研究報告書』(R4.3)

御厨義道

- ・「高松松平家の遺したもの」『大学的香川ガイド』(香川大学教育学部監修 R4.3)

日置瑤子

- ・『戦後デザイン運動の原点 デザインコミッティーの人々とその軌跡』(R3.11) 共同執筆
(社会に開かれたデザインへ、剣持勇、丹下健三、柳宗理)

黛友明

- ・「書評 由谷裕哉『神社合祀 再考』」『京都民俗』39号 (R3.11)

田口慶太

- ・「開催に際して」『国讃めと屍 藏本秀彦・水谷一』(瀬戸内アートコレクティブ R3.10.30)
- ・『戦後デザイン運動の原点 デザインコミッティーの人々とその軌跡』(R3.11) 共同執筆
(あかり 光の彫刻、坂倉準三、瀧口修造、シャルロット・ペリアン)

渋谷啓一

- ・「弘法大師空海の幼少期の伝説について」『大学的香川ガイド』(香川大学教育学部監修 R4.3)

〈普及的著述(館内)〉

野村美紀

- ・「高松松平家と県立工芸学校」常設展示解説シート 125
- ・「高松松平家と県立工芸学校」NEWS 第55号

窪美西嘉子

- ・「アート・コレクション Colors I 色彩に遊ぶ 一野見山暁治・木村忠太」常設展示解説シート 124
- ・「調査研究ノート vol.40 洋画家小林萬吾の関連資料から」NEWS 第53号
- ・「調査研究ノート vol.41 作品の魅力を探る 一日本画家 岩倉壽の作品から」NEWS 第54号
- ・「Colors I 色彩に遊ぶ 一野見山暁治・木村忠太」NEWS 第55号

高木理光

- ・「私の町にも映画館があった」常設展示解説シート 123
- ・「調査研究ノート vol.42 香川県初の映画館はどこか？」NEWS 第55号

一柳友子

- ・「アート・コレクション Colors II 響きあう色彩 一江戸健」常設展示解説シート 126
- ・「Colors II 響きあう色彩 一江戸健」NEWS 第55号
- ・「20世紀の美術II 一版画の世界」NEWS 第56号

・「トピック 香川県庁舎 重要文化財に」NEWS 第 56 号

櫻木拓

・「県展「審査に関するガイドライン」の導入」NEWS 第 55 号

森顯博

・「ミュージアムガイドランス vol. 43 コロナ禍の中の団体見学」NEWS 第 54 号

川邊優佑

・「あちこち旅日記」常設展示解説シート 127
・「ミュージアムガイドランス vol. 42 「刀剣」の手入れについて」NEWS 第 53 号
・「調査研究ノート vol. 43 江戸時代の旅日記」NEWS 第 56 号

御厨義道

・「特集 資料と向き合う～最明寺蔵伝山田蔵人所有甲冑をめぐって～」NEWS 第 53 号
・「特集 特別展「近代香川を生み出したまち 多度津ものがたり」」NEWS 第 54 号

高木敬子

・「高松松平家名品展」常設展示解説シート 120
・「収蔵品紹介 重要文化財「月江正印墨蹟 印可状」」NEWS 第 53 号
・「日本伝統工芸展のあゆみ」NEWS 第 55 号

日置瑤子

・「アート・コレクション 生誕 110 年 明石朴景 —物語を紡ぐ、漆の世界」常設展示解説シート 121
・「収蔵品紹介 明石朴景 乾漆飾壺「薫風婉然」」NEWS 第 54 号
・「特集 特別展「戦後デザイン運動の原点 —デザインコミッティーの人々とその軌跡」」NEWS 第 56 号

田口慶太

・「野の香に愛でる 日本絵画の妙」常設展示解説シート 122
・「展示室だより 野の香に愛でる 日本絵画の妙」NEWS 第 54 号

〈普及的著述（館外）〉

以下、香川経済研究所『調査月報』は『調査月報』、『四国新聞』掲載の特別展作品紹介は『四国』作品紹介、『四国新聞』ディープ KAGAWA は『四国 DK』、『朝日新聞』掲載の第 68 回日本伝統工芸展作品解説は『伝統解説』と略す。

窪美西嘉子

・「アート・コレクション 岩倉壽 一心に映す風景」(『四国 DK』 R3. 9. 10 付)
・「木苾桐塑木目込「弥生のまつり」」(『伝統解説』(4) R4. 1. 7 付)
・「野見山暁治《ここに居る》」(『調査月報』 419 号

R4. 2. 1)

酒井将年

・「讃岐の石文化」(『四国 DK』 R3. 4. 2 付)
・「香川初の鉄道施設 多度津ものがたり (3)」(『四国 DK』 R3. 10. 15 付)

高木理光

・「香川県の映画館史」(『四国 DK』 R3. 10. 29 付)
・「ライオンカン映写機」(『調査月報』 416 号 R3. 11. 1)

一柳友子

・「特別展「空間に生きる画家 猪熊弦一郎 —民主主義の生活空間と造形の試み」(1) ~ (6)」(『四国 DK』 R3. 4. 23、4. 30、5. 7、5. 14、5. 21、5. 28 付)
・「三越包装紙《華ひらく》」(『調査月報』411 号 R3. 6. 1)
・「青藍蒔醬箱」(『伝統解説』(1) R4. 1. 4 付)

櫻木拓

・「第 85 回県展 開幕近づく」(『四国 DK』 R3. 7. 16 付)
・「第 85 回県展 コロナ下で開催」(『四国 DK』 R3. 9. 3 付)
・「青白磁鉢「廻」」(『伝統解説』(6) R4. 1. 12 付)

森顯博

・「彩泥彫文鉢」(『伝統解説』(9) R4. 1. 15 付)

鹿間里奈

・「旅する文人画家」(『四国 DK』 R3. 4. 16 付)
・「細川林谷「山水画卷」」(『調査月報』 410 号 R3. 5. 6)
・「籃胎蒔醬飾箱「茜」」(『伝統解説』(2) R4. 1. 5 付)

川邊優佑

・「多度津陣屋の成立 —多度津ものがたり (2)」(『四国 DK』 R3. 10. 8 付)
・「西路の日なみ」(『調査月報』 420 号 R4. 3. 1)

御厨義道

・「観光の多度津港」(『調査月報』 414 号 R3. 9. 1)
・「近代香川を生み出したまち 多度津ものがたり (1)」(『四国 DK』 R3. 10. 1 付)
・「発展を支えた「七福神」 多度津ものがたり (4)」(『四国 DK』 R3. 10. 22 付)

高木敬子

・「名品を守り伝える —高松松平家の名宝—」(『四国 DK』 R3. 9. 17 付)
・「有線七宝水指「菊日和」」(『伝統解説』(3) R4. 1. 6 付)
・「友禅訪問着「葱奏」」(『伝統解説』(7) R4. 1. 13 付)
・「周漆箱「清流」」(『伝統解説』(8) R4. 1. 14 付)

日置瑤子

・「アート・コレクション 20 世紀の美術 I 人物・風景・静物」(『四国 DK』 R3. 7. 9 付)
・「植物を眼差して」(『調査月報』 413 号 R3. 8. 2)
・「アート・コレクション 生誕 110 年 明石朴景展 —物語を紡ぐ、漆の世界」(『四国 DK』 R3. 9. 24 付)

田口慶太

- ・「尊証法親王、堯恕法親王、墨竹図」(『調査月報』417号 R3.12.1)
- ・「青白磁彫文花器」(『伝統解説』(5) R4.1.10付)

②刊行物

- i) 香川県立ミュージアム年間スケジュール
令和3年度に開催する展示情報を掲載。館内で配布するほか、県内の博物館・資料館、文化・教育施設や、全国の関係機関に配布した。
 - ・2021.4～2022.3
 - A2 変形判屏風折 カラー刷 40,000部
- ii) 常設展示解説シート 各2,000部
令和3年度に開催の常設展示に関する内容を紹介した解説シートを展示ごとに印刷、発行した。
規格はA3判・二ツ折、カラー刷(展示タイトル、内容についてはII-1(2)常設展示の項参照)
- iii) 特別展解説シート・パンフレット等
 - ・「令和3年度特別展 近代香川を生み出したまち多度津ものがたり」
 - A4 縦判、カラー印刷 8ページ 5,000部
 - ・「第68回日本伝統工芸展」出品目録
 - A4 縦判、カラー刷 8ページ 6,100部
- iv) 図録等(展覧会・その他)
 - ・『戦後デザイン運動の原点 デザインコミッティーの人々とその軌跡』
 - A5判 128ページ
 - うち、カラー96ページ、モノクロ32ページ
 - 1,000冊 令和4年3月31日発行
- v) 香川県立ミュージアム NEWS
 - A4判 カラー刷 8ページ
 - ・第53号(夏号) 7月2日発行 3,000部
 - ・第54号(秋号) 8月4日発行 4,500部
 - ・第55号(冬号) 11月12日発行 3,500部
 - ・第56号(春号) 令和4年3月10日発行 4,500部
- vi) ミュージアム調査研究報告 第13号
 - A4判 モノクロ 112ページ・CD-ROM付 650冊
 - 令和4年3月31日発行
- vii) 香川県立ミュージアム年報 第13号(令和2年度)
 - A4判 76ページ 令和3年7月20日発行
 - (第10号より印刷なし、ホームページにPDFデータを掲載)

4 資料の収集・整理・保管事業

香川県の歴史及び文化、芸術を理解するうえで必要な資料を収集して、体系的に整理し、保存のために必要な処置を行い、最適な条件で保管することは博物館の最も基本的な機能である。

当館では「香川県政策部文化芸術局の歴史、美術及び民俗に関する資料収集方針」に基づき、歴史、芸術及び民俗に関する実物のほか、標本・模写・文献・図表・写真・フィルム・レコード等多岐にわたり、購入・寄贈・寄託等の方法で資料を収集している。寄贈や寄託の申し入れがあった資料については、調査に向いて、資料を預かり、調査・整理作業の結果、収蔵すべきであると判断されたものについて手続きを行う。受け入れ後は殺虫処理をし、引き続き詳しい調査研究・整理を行って資料目録を作成して、順次、館蔵品データ検索システムに登録する。また『収蔵資料目録』（令和3年度は刊行せず）を、県内外の関係機関に配布し、展示をはじめ、館外からの特別利用に応じる等、収蔵資料の公開活用を行っている。

資料収集状況（令和4年3月末現在）

	令和2年度 末まで	令和3年度 手続分	合計
購入	22,396	0	22,396
寄贈	205,503	526	206,029
寄託	54,208	0	54,208
移管・その他	40,662	74	40,736
合計	322,769	600	323,369

(1) 資料収集活動

① 購入資料

なし

② 寄贈資料

計 391 件 526 点

- ・葛西崇作品
4件4点
- ・福岡青嵐作品
2件2点
- ・1964年東京オリンピック聖火リレーの写真（中村政太郎資料）
2件2点
- ・明治3年に廃寺になった常楽寺（現さぬき市津田）に伝来した資料（津田泰宏資料）
5件30点
- ・小林萬吾の手帳2冊と手紙、葉書（小林完吾資料）
8件26点

- ・旧綾上町議会議員を務めた松村貞義の関連資料（個人寄贈資料XX）
22件93点
- ・高松藩の御抱刀工である包高作の太刀（個人寄贈資料XXII）
1件1点
- ・鎌田家に伝来、使用していた道具（膳・碗類）、書画、当主肖像資料（鎌田萬資料（4））
20件28点
- ・旧綾上町議会議員を務めた松村貞義の大正～昭和期の賞状等（個人寄贈資料XX（2））
12件15点
- ・江戸健作品
3件3点
- ・映画館「映楽館」関連資料（土居宏治資料）
6件16点
- ・オリンピック文様茶碗等（吉岡浩己資料）
2件2点
- ・日柳燕石筆書幅、満濃池関連資料、金刀比羅宮別当家文書記録資料（浜田昌子資料（2））
28件28点
- ・高松藩士江崎家関連資料（辻田朝子資料）
6件6点
- ・西山拙斎書状、西依成斎書状（個人寄贈資料XXIV）
2件2点
- ・紀伊村（現 観音寺市大野原町）の役場文書（篠原充資料（2））
139件139点
- ・香川県の店舗・銀行等のマッチ（平尾和代資料）
126件126点
- ・「三代物語」著者関連資料（増田家関係資料）
3件3点

③ 寄託資料

なし

④ 移管・その他

計 50 件 74 点

- ・地方自治法施行六十周年記念硬貨・切手、瀬戸内海国立公園指定80周年切手（香川県政策課資料）
5件5点
- ・東京2020公式アートポスター
21件21点
- ・青峰重倫関連作品
1件1点
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック関連物品（香

川県交流推進課・障害福祉課資料)

23件47点

※①～④の掲載の順序は、手続き順による。

⑤文献資料

文献資料は、調査研究をはじめ展示や学習支援事業をより豊かなものにするために必要不可欠なものである。事典、辞書、香川県に関する地方史誌、史料集、芸術・美術に関する書籍などを中心に収集している。また、最新の研究動向の情報を収集するため、学術雑誌を逐次購入している。全国の博物館や美術館、研究機関が刊行する図録、紀要、事業報告、広報誌も交換、恵与により収集を続けている。

・逐次刊行物など受付冊数 2,296冊

・購入雑誌

月刊文化財、季刊考古学、日本歴史、日本史研究、古文書研究、歴史評論、歴史学研究、史学雑誌、國華、季刊ミュゼ、芸術新潮、美術手帖、MUSEUM、文化財発掘出土情報、木簡研究、美術大鑑

(2)資料整理保管活動

①収蔵資料管理システム

平成26年度に、早稲田システム開発株式会社の「I. B. MUSEUM SaaS」を導入し運用することで、収蔵品についての情報の一元管理をしている。これにより、職員各自に配備されたPCによる操作が可能となり、データの入力・整備や収蔵品の検索などに利用されている。

【データベースの内容】

・収蔵資料の管理

収蔵資料について、名称・年代・法量・資料内容・画像から、収蔵場所・所蔵、時系列で記録される展示・貸出・修理などの履歴など、その資料・作品に係るほとんど一切の情報を一元的に登録している。資料・作品の管理のみならず展示準備等でも利用される。

・図書、視聴覚資料、アルバムの管理

資料・作品だけでなく、館蔵の図書データ入力も進めている。他にもビデオ、フィルムなどの視聴覚資料、写真アルバムの管理も可能であり、順次進めていく予定である。

・一般公開のデータについて

収蔵資料のデータベースは、インターネット公開機能を利用し、館のHPにリンクを貼ることで公開している。検索は、キーワードのほか、歴史資料では資料群、美術作品では作家ごとの一覧から選択することもでき、資料の基本情報(名称、数量、時代、寸法、概

説、画像等)を閲覧することができる。データの公開は画像・解説文等公開のための条件を満たした資料・作品について、漸次進めている。

②虫菌害対策

i)資料等の殺虫・殺菌処理

収集した資料や借用した資料は、必要がある場合、一時保管庫に搬入、仮収蔵し、適期に殺虫・殺菌した後、収蔵庫へ搬入、また展示等に活用している。

令和3年度は、業者委託による二酸化炭素を用いた殺虫処理を写真撮影室にて1回実施した。10月5日～21日に、24m³(w=3m、d=4m、h=2m)のテントを仮設し実施した。なお、小規模な二酸化炭素殺虫処理は、職員により実施した。

ii) モニタリング

展示室、収蔵庫等、館内数箇所に粘着トラップ等を設置し、定期的に観察して館内における生物発生状況を調査している。

また、収蔵庫・展示室を中心とした館内各所について、年間3回(7月、10月、令和4年1月)の虫・カビ調査、および年間8回(5月、6月、8月、9月、11月、12月、令和4年2月、3月)の虫の生息調査を、専門業者に委託して実施した。

(3) 館外特別利用状況

① 貸出利用

番号	資料名	点数	利用者	目的	貸出期間
1	丸亀町絵図	1	高松市歴史資料館	高松市歴史資料館収蔵品展 高松市近代水道成立 100 周年記念「近代水道への胎動—城下町高松の上水道—」	4.22～6.29
2	大東亜建設忠霊神域計画 模型	1	文化庁国立近現代建築資料館	「丹下健三 1938-1970 戦前からオリンピック・万博まで」展	6.29～10.29
	丹下健三自邸 模型	1			
	広島子供の家 模型	1			
	愛媛県民館 模型	1			
	香川県庁舎 模型	1			
	戦没学徒記念館 模型	1			
	芸術の館 模型	1			
3	誕生釈迦仏立像【複製】	1	高松市讃岐国分寺跡資料館	企画展「お寺って何？—讃岐の古代寺院—」	7.20～9.28
	妙音寺出土軒丸瓦	1			
4	徳川家茂領知宛行状	1	高知県立高知城歴史博物館	企画展「廃藩置県 150 年記念 藩が消えた日～四国の廃藩置県～」	9.3～12.7
	讃予分離ノ檄文【複製】	1			
	独立置県旨趣要領	1			
	主意書附録	1			
	同盟加入署名書	1			
	山田政平書状	1			
	奥村棟高松江持帰之書類（高松城払下）	1			
	高松城址払下一件綴	1			
	大本営掛札	1			
獅子（台座付）	1				
5	岩倉壽《湿地草原》	1	香川県立東山魁夷せとうち美術館	秋の特別展「岩倉 壽—自然を掬う」	9.22～11.9
	岩倉壽《雲去来》	1			
	岩倉壽《里》	1			
	岩倉壽《荒地野》	1			
	岩倉壽《暖冬》	1			
	岩倉壽《昼》	1			
	岩倉壽《雨季》	1			
	岩倉壽《霜月》	1			
	岩倉壽《松ノ図》	1			
	岩倉壽《沼》	1			

	岩倉壽《晩夏》	1			
	岩倉壽《沼の陰(夏)》	1			
	岩倉壽《沼の陰(秋)》	1			
	岩倉壽《小豆島の窓》	1			
	岩倉壽《朝の静物》	1			
	岩倉壽《窓辺静物》	1			
6	徳川頼房書状(頼重下館拝領札)	1	水戸市立博物館	特別展「徳川頼房—初代水戸藩主の軌跡—」	9.22~12.2
	徳川頼房書状(頼重讃岐拝領札)	1			
	讃岐国高松領御引渡帳	2			
	英公実録	1			
	水戸下館御譜代改帳	1			
	水戸御祭礼図	5			
7	猪熊弦一郎《自動車と家族》	1	徳島県立近代美術館	特別展「子どものころ」	9.26~12.2
	猪熊弦一郎《パークの子供達》	1			
	藤沢章《砂あらしがやってくる》	1			
	藤沢章《砂漠の兄弟》	1			
	藤沢章《バシエンディーのこどもたち》	1			
8	東照大権現像(天海賛)	1	宇和島市立伊達博物館	令和3年度宇和島市立伊達博物館秋期特別展「武具の煌き—武家のPRIDE—」	9.29~12.15
	火縄銃 銘 日本清堯(徳川家康所用)	1			
	火縄銃 銘 清堯	1			
	火縄銃付属資料(玉鑄型、口薬入金漆銘「蓬莱」、胴乱、羅紗製玉入 弾丸入)	4			
	火縄銃付属資料(螺鈿玉薬入、口薬入)	2			
	白糸威大鎧	1			
	色々威腹巻具足	1			
	腹巻絵図	1			
	9	○衆鱗図 第一帖			
10	吉原治良《作品(黒地に白円)》	1	独立行政法人国際交流基金	「集団と個の狭間で—1950年代から60年代の日本前衛美術」展(ザヘンタ国立美術館)	10.15~ R4.4.13
11	丹下健三自邸 模型	1	川崎市岡本太郎美術館	「戦後デザイン運動の原点 デザインコミッティーの人々とそ	10.15~ R4.1.20
	香川県庁舎 模型	1			

	香川県庁舎 知事執務机	1		の軌跡」	
	香川県庁舎 知事執務サイドボード	1			
	香川県庁舎 執務室仕切り棚	1			
	イサム・ノグチ 《AKARI 1A》	1			
	イサム・ノグチ 《AKARI 6A(Round)》	1			
	イサム・ノグチ 《AKARI 10A》	1			
	イサム・ノグチ 《AKARI 16A》	1			
	イサム・ノグチ 《AKARI 45XN》	1			
	イサム・ノグチ 《AKARI 70XN》	1			
	イサム・ノグチ 《AKARI 3X(Square)》	1			
	イサム・ノグチ 《AKARI 30DD》	1			
	イサム・ノグチ 《AKARI 35N》	1			
	イサム・ノグチ 《AKARI J1》	1			
	イサム・ノグチ 《AKARI 31N》	1			
	イサム・ノグチ 《AKARI 70FF》	1			
12	藤島武二 《五剣山の日の出》	1	公益財団法人ミモカ美術振興財団、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	「藤島武二と猪熊弦一郎展 サンプルシテとシンプル」	10.25～ 12.23
13	太田加津子 《蒔醬食籠草花文》	1	香川県漆芸研究所	「華麗なる蒔醬の世界 太田加津子」展	R4.1.19～ 3.2
	太田加津子 《乾漆存清壺「炎」》	1			
	太田加津子 《乾漆蒔醬食籠草花文》	1			
	太田加津子 《乾漆蒔醬水指「青青」》	1			

(凡例) ●国宝, ◎重要文化財, ○県指定文化財, □市町指定文化財

②閲覧利用

番号	資料名	利用者	目的
1	東照大権現像 天海賛ほか 全8件12点	宇和島市立伊達博物館	令和3年度秋期特別展の資料調査
2	御用日記 渡邊七郎左衛門寛ほか 全43件43点	坂出市史編さん所	坂出市史編さん
3	有袋鉄斧ほか 全12件12点	個人	修士論文執筆の資料調査

4	草稿記ほか 全2件2点	個人	卒業論文の資料調査
5	名東県布令 明治六年十二月ほか 全11件50点	個人	明治初期(名東県時代)の讃岐国の研究
6	土に生きるほか 全7件7点	神奈川大学非文字資料研究センター	戦時下紙芝居の研究・紹介
7	讃岐写真帖 1件1点	高松市讃岐国分寺跡資料館	令和4年度開催予定の展示の資料調査
8	浮鳥 鳴ほか 全3件4点	個人	セーヴル国立陶磁美術館所蔵の戦災日本陶磁器修復の参考調査
9	写真(The Family of Man 展) 全1件22点	個人	「ザ・ファミリー・オブ・マン展」の会場構成の調査研究
10	三谷村順道帳ほか 全5件6点	個人	依頼された先祖調べの記録収集

(凡例) ●国宝, ◎重要文化財, ○県指定文化財, □市町指定文化財

③画像利用

番号	資料名	利用者	目的	利用区分
1	奉納経四国記、(四国八十八か所納経帳)	個人	『江戸時代の遍路を読み解く』	掲載
2	丸亀町絵図、高松城下図屏風	高松市歴史資料館	「近代水道への胎動ー城下町高松の上水道ー」リーフレット	掲載
3	◎太刀 銘 元重	株式会社天夢人	「日本刀匠伝／元重」『週刊日本刀』(第100号)	掲載
4	○「写生画帖 菜蔬 裏 41」	個人	『ビジネス香川』令和3年5月6日号	掲載
5	正八幡大神佐々貴大神蒔絵軍配団扇	個人	佐々木氏郷に関する研究	掲載
6	弘法大師像(善通寺御影)	中央出版株式会社	『夏期講習ナビスタ!』	掲載
7	□山北神社奉納 京極侯参勤交代御船揃絵馬	株式会社ホビージャパン	『刀剣画報』Vol.9	掲載
8	○「写生画帖 菜蔬 表 16」(部分)	個人	『ビジネス香川』令和3年6月3日号	掲載
9	戦没学徒記念若人の広場(模型)、広島子供の家(模型)、愛媛県民館(模型)	文化庁国立近現代建築資料館	「丹下健三 1937-1970 戦前からオリンピック・万博まで」展チラシ等	掲載
10	黒塗り教科書	一般財団法人香川県進路指導研究部	「令和3年度 3年2回 学習の診断 社会問題」	掲載
11	イサム・ノグチ《AKARI》	バービカン・センター	「ISAMU NOGUCHI」プレスリリース	掲載
12	イサム・ノグチ《AKARI》	バービカン・センター	「ISAMU NOGUCHI」展覧会図録	掲載
13	栗林図、栗林公園真景、栗林公園図、松平氏家族写真	株式会社 思文閣出版	『大名庭園の近代』	掲載

14	飛龍丸屋形内部の復元写真	個人	『日本だんじり文化論』	掲載
15	○「衆鱗図 第一帖」(鯛・表1)、(鯔・裏41)	九州国立博物館	特別展「海幸山幸ー祈りと恵みの風景ー」図録等、広報	掲載
16	磯井如真「彫漆蒔醬草花文鼓箱」、磯井如真「雙色紙笥喜鵲之圖」、窪田良次 漆額「鶏」(パネル)、○玉楮象谷「彩色蒔醬硯箱」	個人	『革新の讃岐漆芸』	掲載
17	陶製松平頼重公坐像	株式会社 文化工房	テレビ番組	放映
18	□領知宛行状案	三豊市高瀬町公民館	高瀬町公民館講座「古文書講座」の配布資料	掲載
19	西嶋八兵衛肖像	公益財団法人 山陽放送学術文化・スポーツ振興財団	連続講演会「輝ける讃岐人(びと)」のチラシ等	掲載
20	写真(香川県庁舎鉄筋施工状況)(神谷宏治資料244)、写真(鉄筋の組み上げ)(神谷宏治資料246)、写真(香川県庁舎南庭の造成工事)(神谷宏治資料212)、写真(香川県庁舎庭石搬入の様子)(神谷宏治資料リバーサル223)、写真(加工中の香川県庁舎受付カウンター)(神谷宏治資料216)	個人	大部の石材についての調査報告書	掲載
21	○「写生画帖 菜蔬 表39」(部分)	個人	『ビジネス香川』令和3年7月15日号	掲載
22	関係者の記念写真(人物は丹下健三)	株式会社河出書房新社	『建築家になりたい君へ』中国語簡体字版	掲載
23	徳川家茂領知宛行状、同盟加入署名書、山田政平書状、独立置県旨趣要領、主意書附録、奥村棟高松江持帰之書類(高松城払下)、高松城址払下一件綴、大本営掛札、獅子(台座付)	高知県立高知城歴史博物館	企画展「藩が消えた日」のチラシ等	掲載
24	狩りをする旧石器時代の人々	株式会社コミュニケーションカンパニー	『復元模型でみる日本の歴史』(仮)	掲載
25	龍集説考、篋底秘記、きくまの記目録、アイヌ図	株式会社汲古書院	『馬琴研究』	掲載
26	大久保謙之丞写真	公益財団法人 山陽放送学術文化・スポーツ振興財団	「輝ける讃岐人(びと)」のチラシ等	掲載
27	○弥生土偶	株式会社 世界文化社	『新版・土偶手帖』	掲載

28	吉原治良《作品(黒地に白円)》	独立行政法人 国際交流基金	特別展「集団と個の狭間で」図録等、テレビ等	掲載 放映
29	○「写生画帖 菜蔬 表 13」	個人	『ビジネス香川』令和3年8月5日号	掲載
30	「東照大権現像」天海賛、火縄銃 銘 日本清堯 徳川家康所用、火縄銃 銘 清堯、火縄銃附属資料(玉鑄型、口薬入 金漆銘「蓬萊」、胴乱、羅紗製玉入 弾丸入)、火縄銃附属資料(螺鈿玉薬入、口薬入)、白糸威大鎧、色々威腹巻具足、腹巻絵図	宇和島市立伊達博物館	特別展印刷物	掲載
31	藤島武二《五剣山の日の出》	公益財団法人ミモカ美術振興財団	「藤島武二と猪熊弦一郎展」図録	掲載 Web
32	景観復元図(宇多津、15～16世紀前半)	公益財団法人 鎌田共済会郷土博物館	「讃岐の中世瓦 一東部一」展示パネル	掲載
33	藤川栄子《裸婦 A》	独立行政法人国立美術館	ウェブサイト	掲載 Web
34	○玉椿象谷「堆朱鼓箱」	香川県教育委員会	『新ふるさとの心 小学校高学年』	掲載
35	○「衆芳画譜 花果 表 47」(部分)	個人	『ビジネス香川』令和3年9月2日号	掲載
36	◎木造千手観音立像(聖通寺)	香川県教育委員会	「せとうち・香川の歴史と文化を伝える文化財を未来へ」のポスター等	掲載
37	猪熊弦一郎《赤い上着》	株式会社ネクサス	猪熊弦一郎紹介VTR	放映
38	猪熊弦一郎《パークの子供達》	徳島県立近代美術館	『NEWS』119号	掲載
39	猪熊弦一郎《パークの子供達》	徳島県立近代美術館	特別展「子どものころ」特設 HP	掲載 Web
40	猪熊弦一郎《自動車と家族》、猪熊弦一郎《パークの子供達》、藤沢章《砂あらしがやってくる》、藤沢章《砂漠の兄弟》、藤沢章《バシエンディーのこどもたち》	徳島県立近代美術館	特別展「子どものころ」図録	掲載
41	○高松城下図屏風	香川県政策部デジタル戦略総室デジタル戦略課	ライブ配信番組	Web
42	徳川頼房書状(下館)、徳川頼房書状(讃岐)、□讃岐国高松領御引渡帳讃岐国高松領拾貳万石郷帳、□讃岐国高松領御引渡帳讃岐国高松領小物成帳、英公実録(下書)、水戸下館御譜代改帳、水戸御祭礼図 全5巻、江戸大絵図	水戸市立博物館	「徳川頼房—初代水戸藩主の軌跡—」の図録等	掲載

43	猪熊弦一郎《自動車と家族》、猪熊弦一郎《ニースの女》	みぞえ画廊	「いのくまさんとマチス先生」展パネル	掲載
44	猪熊弦一郎《デモクラシー》原寸大複製の展示風景	県立丸亀高等学校	県立丸亀高等学校の学校案内表紙	掲載
45	邨田丹陵筆 屋島合戦画帖	株式会社少年写真新聞社	『人と動物の日本史図鑑②古墳時代から安土桃山時代』	掲載
46	屋島合戦図	愛知県公立大学法人	『合戦図の展開』	掲載
47	御用日記 渡邊七郎左衛門寛	坂出市史編さん所	『坂出市史 近世資料篇(その四)』	掲載
48	◎琴弾宮絵縁起、○高松城下図屏風、○高松藩御座船飛龍丸船明細切絵図惣図、藤六姫夜叉女子息巻券(賀茂神社文書)	個人	『瀬戸内の島と湊歴史紀行』(仮)	掲載
49	○「衆芳画譜 花果 裏8」	個人	『ビジネス香川』令和3年10月7日号	掲載
50	イサム・ノグチ《AKARI》	ルートヴィヒ美術館	「ISAMU NOGUCHI」プレスリリース	掲載
51	イサム・ノグチ《AKARI》	パウル・クレーセンター	「ISAMU NOGUCHI」プレスリリース	掲載
52	○高松城下図屏風	個人	『2021年度熊本城復旧シンポジウム報告資料』(仮)	掲載
53	誕生釈迦仏立像(複製)、妙音寺出土軒丸瓦	高松市讃岐国分寺跡資料館	「お寺って何?—讃岐の古代寺院—」ウェブサイト	掲載
54	「東照大権現像」天海賛、火縄銃 銘 日本清堯 徳川家康所用、火縄銃 銘 清堯、火縄銃附属資料(玉銚型、口薬入 金漆銘「蓬莱」、胴乱、羅紗製玉入 弾丸入)、火縄銃附属資料(螺鈿玉薬入、口薬入)、白糸威大鎧、色々威腹巻具足、腹巻絵図	宇和島市立伊達博物館	特別展に係る展示広報	掲載 放映 Web
55	○「衆鱗図 第一帖」表 43(蓑笠子)、裏 11(筋鯉)、裏 29(オコゼ)	九州国立博物館	「海幸山幸—祈りと恵みの風景—」展示パネル等、広報利用	掲載 放映 Web
56	○「衆芳画譜 花果裏 20」	個人	『ビジネス香川』令和3年11月4日号	掲載
57	○「衆鱗図 第一帖」表 1(鯛牡)、表 29(目板鯉、星比目)、表 40(笠子、紅笠子、黒書なし)、裏 41(メ鯰、鯰、大鯰)	有限会社ダンスオンザグラウンド	『FishingCafe』	掲載
58	長州征伐行列図	株式会社ネクサス	テレビ番組	放映
59	○高松城下図屏風	株式会社アクシス	テレビ番組	放映
60	写真(香川県庁舎建設関係者)、写真(香川県庁舎前の丹下健三)	香川県広聴広報課	「新・さぬき野」冬号(No.75)	掲載
61	栗林図	個人	『日本庭園事典』	掲載

62	○高松城下図屏風	個人	マンション広告	掲載
63	写真(香川県庁舎建設関係者)、写真(香川県庁舎前の丹下健三)、写真(加工中の香川県庁舎受付カウンター)	NHK 高松放送局	ニュース放送	放映
64	○「写生画帖 菜蔬 裏18」	個人	『ビジネス香川』令和3年12月2日号	掲載
65	土に生きる、あゝ若林中隊長桜咲かせん	神奈川大学非文字資料研究センター	紙芝居作品を紹介	掲載
66	讃岐写真帖(「国分寺」の部分)	高松市讃岐国分寺跡資料館	「讃岐国分寺跡の今まで」ポスター等	掲載
67	○「衆鱗図 第三帖」	株式会社 秀学社	「美術資料」	掲載
68	◎法華経	個人	『Amidaji: Emperor Antoku's Mortuary Temple and Its Culture (阿弥陀寺:安徳天皇の葬礼寺院とその文化)』	掲載
69	○「写生画帖 菜蔬 裏49」	個人	『ビジネス香川』令和4年1月6日号	掲載
70	◎法華経	個人	『美術史』に掲載予定の論文	掲載
71	紙芝居の舞台	個人	『戦争・植民地と紙芝居—地域を歩く、視野を広げる(仮)』	掲載
72	栗林古図	独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所	『近世庭園の研究』	掲載
73	地券	株式会社アーテファクトリー	社会科歴史教材	掲載
74	○高松城下図屏風	NHK 制作局	テレビ番組	放映
75	○高松城下図屏風、旧高松御城全図	高松市教育委員会	『高松市埋蔵文化財発掘調査報告書第231号』	掲載
76	○高松城下図屏風、旧高松御城全図	高松市教育委員会	桜御門復元整備工事に伴う解説看板	掲載
77	高松城古写真、陶製松平頼重公坐像、景観復元図(野原、15 16 世紀)	NHK 制作局	テレビ番組	放映
78	○「写生画帖 菜蔬 表2」(部分)、○「写生画帖 菜蔬 裏7」	個人	『ビジネス香川』令和4年2月3日号	掲載
79	○「衆鱗図 第一帖」(表5・赤木鯛)、□和歌短冊屏風、○高松藩飛龍丸船明細切絵図惣図、旧高松御城全図、□領知宛行状案、□人麿・小町・喜撰図(英公御賛 人麿・喜撰・小町三幅一对)、□領知目録、○高松城下図屏風		『史跡高松城保存活用計画』に掲載	掲載
80	『高松藩主松平家墓所調査報告書』掲載図版 15 点	個人	発表資料	掲載

81	西嶋八兵衛肖像	香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	留学生向け HP	掲載
82	讃岐国那珂郡満濃池近郷御料私領絵図	NHK 高松放送局	ニュース放送	放映
83	讃岐国那珂郡満濃池近郷御料私領絵図	NHK 高松放送局	インターネットのニュース記事	掲載
84	東京美術学校記念写真、小林萬吾《渡舟》	久留米市美術館	『久留米市美術館年報 4』	掲載
85	菅原道真像(古画 束帯菅公像)	個人	DVD の表紙	掲載
86	菅原道真像(古画 束帯菅公像)	香川県埋蔵文化財センター	パネル写真	掲載
87	○高松城下図屏風	文化庁文化財第二課	『水中遺跡ハンドブック』	掲載
88	讃岐国那珂郡満濃池近郷御料私領絵図	NHK 高松放送局	ニュース放送	放映
89	菅原道真像(古画 束帯菅公像)	個人	DVD の映像	掲載
90	風砲(久米栄左衛門作風砲)、極密銃(芥砲) (久米栄左衛門作拳銃)	株式会社アクロス	四国村(高松市)常設展示映像	放映
91	栗林古図、第八回関西府県連合共進会手引書、○高松藩飛龍丸船明細絵図 惣図	NHK 制作局	テレビ番組	放映
92	赤間関ヨリ大坂マデ海上荒増之図	NHK 制作局	テレビ番組	放映
93	○金毘羅祭礼図屏風	NHK 第5制作ユニット	テレビ番組再放送	放映
94	菅原道真像(古画束帯菅公像)	NHK 第5制作ユニット	テレビ番組再放送	放映
95	○「写生画帖 菜蔬表 35」	個人	『ビジネス香川』令和4年3月3日号	掲載
96	○高松城下図屏風	株式会社アーテファクトリー	『地図 History of Maps(仮)』	掲載
97	歴史展示室県営住宅写	個人	博士論文	掲載
98	松平頼重像、●藤原佐理筆詩懐紙、◎太刀銘 真守造、○「衆鱗図 第一帖」(鯛)、○高松城下図屏風、高松城古写真、旧高松御城全図、栗林図、◎琴弾宮絵縁起、讃州象頭山十二景之図、象頭山十二景図、屋島寺縁起絵、屋島合戦図、四国順禮道中記録(四国巡礼道中記録)	個人	『大学的香川ガイド—こだわりの歩き方』	掲載
99	扇風器	株式会社アクロス	四国村(高松市)常設展示映像	放映
100	○「写生画帖 菜蔬 表 39」	個人	『食べ物の履歴書(仮題)』	掲載
101	○高松城下図屏風、松平頼重像	高松市広聴広報課	高松市テレビ広報番組	放映
102	○「衆芳画譜 花卉 裏 20」	日本経済新聞社	日経新聞 朝刊 文化面「美の十選」	掲載

103	三光尉	個人	『A Companion to Nō and Kyōgen 』(英語版能楽全書)	掲載
104	志度寺境内図	香川県政策部文化振興課	『四国八十八ヶ所霊場第八十六番札所志度寺調査報告書 第2分冊』	掲載
105	佐久鉄道案内	佐久市教育委員会	YouTube などへ配信する番組	放映
106	◎太刀 銘 真守造	株式会社ホビージャパン	『刀剣画報 源氏の宝刀 髭切・膝丸・獅子王』	掲載
107	錦絵讃岐名所(金刀比羅宮)	有限会社キャブストーン	テレビ番組	放映
108	栗林図、栗林古図、栗林公園古図、栗林分間図	個人	栗林公園の調査研究	その他 (調査研究)
109	満濃杵搗之図、「讃岐国白糖製造図」『大日本物産図会』	個人	第5回瀬戸内国際芸術祭 香川大学×瀬戸内の伝統生活文化・芸術発信プロジェクト印刷物	掲載
110	宇多津街道図 トレース図	宇多津町文化財保護協会	文化財保護協会会報	掲載
111	景観復元図(宇多津、15～16世紀前半)	宇多津町文化財保護協会	文化財保護協会講演会	掲載
112	○高松城下図屏風、寛文期高松城下図	高松市教育委員会	『史集高松』第2号掲載論文	掲載
113	松平頼儀像、絵葉書『讃岐高松 玉藻城』内の「玉藻廟ト鞆橋」、東照大権現像	高松市歴史資料館	収蔵品展「IMMORTAL—高松松平家の偉勲とまつり—」解説パネル等	掲載

(凡例) ◎国宝, ◎重要文化財, ○県指定文化財, □市町指定文化財

分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

1 展示・企画事業

(1) 館内展示

①常設展示

第1展示室中2階に開設した「瀬戸内ギャラリー」(約100㎡)において、「瀬戸内」や「海」「暮らし」「自然」「環境」などをテーマに年間4回の企画展示を行い、歴史・民俗・美術横断的な視点で瀬戸内文化の発信を行った(「瀬戸内ギャラリー」に別掲)。

また、常設展示は令和3年3月に以下のように展示更新したものを継続展示しつつ、部分的な展示資料の更新やロビー展示ケース、休憩室展示ケース、季節展示コーナー等を利用して、定期的な資料の入れ替えにより、収蔵資料の活用をはかった。

なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、以下の期間は臨時休館となった。

令和3年5月3日(月・祝)～31日(月)、6月5日(土)・6日(日)・12日(土)・13日(日)・19日(土)・20日(日)、8月7日(土)～9月30日(木)、10月2日(土)・3日(日)、令和4年3月12日(土)・13日(日)・19日(土)・20日(日)・21日(月・祝)

各展示室のテーマ構成

第1展示室	第2展示室	第3展示室	第4展示室
【瀬戸内の里海文化】			
瀬戸内海の漁撈用具と船、香川県の現代漁業 [国重有民]	瀬戸内海の船大工用具と木造船の製作現場 [国重有民]	瀬戸内海の海運と海の信仰 [国重有民他]	自然環境の変化と海ゴミ、宇高連絡船と機帆船
第5展示室	第6展示室	第7展示室	第8展示室
【香川の里山文化】			
瀬戸内の自然環境と産業	ため池・水利・雨乞、里山環境の変化	香川の農具(稲作用具)	香川の祭りと民俗芸能

<第1展示室>

国重要有形民俗文化財に指定されている漁具・船などを通じて、瀬戸内海の漁撈文化、特に漁師の知恵と技について紹介。

令和2年度より、職員の調査研究の成果や、関連する所蔵資料を紹介する「香川県の伝統的な漁業」「香川県の現代漁業」コーナーを設置し、可変展示を行っている。

中2階を「瀬戸内ギャラリー」として開設した(別掲)。

<第2展示室>

国重要有形民俗文化財に指定されている船大工用具や和船の造船現場を展示し、船大工の技術やそこで用いられたさまざまな道具などを紹介。

<第3展示室>

瀬戸内海の家運や航海安全を祈った奉納模型船や絵馬、海に生きる人々の神仏への信仰について紹介。

<第4展示室>

瀬戸内沿岸の干潟や浜辺など、自然環境の変化と海ゴミ問題などについて紹介。また、本州と四国を結んだ宇高連絡船、瀬戸内の各都市を結んで物流を担った機帆船について紹介。

<第5展示室>

瀬戸内の自然環境を生かし、香川県の特産品となった讃岐三白(塩・砂糖・綿)に関わる道具を紹介。

また湿田や島などの段畑の農業、柑橘栽培、花崗岩地帯の地質特性を利用した石材産業に関わる用具を紹介。

<第6展示室>

香川県の生業環境の特徴であるため池や水利、用水管理に関わる用具を紹介。雨乞龍や「雨乞踊」などについて映像機器を用いて紹介。また、落ち葉や雑木を利用したり薪炭が盛んだったりした頃から、山が荒れイノシシやヌートリアが里山や島の暮らしを脅かす現在の里山への環境変化について紹介。

<第7展示室>

稲作に用いたさまざまな用具を展示し、高度経済成長期前後の米作りの道具の変化などを紹介。

<第8展示室>

香川県内の祭りや行事、民俗芸能に関わる用具を展示し、香川県の祭りの特色を紹介。

さらに小豆島農村歌舞伎衣装や獅子舞用具などを展示するとともに、映像機器を用いて「香川の祭り」動画を紹介。

②収蔵展示

歴史収蔵庫の一部を活用し、収蔵展示として背負運搬具と船に関する資料を展示しているが、令和2年度末より、国重要有形民俗文化財「西日本の背負運搬具コレクション」を常時公開することとした。また、「さまざまな日本各地の船」については、来館者の要望に応じて適宜公開している。

収蔵庫1	収蔵庫2
背負運搬具コレクション [国重有民] 常時公開	さまざまな日本各地の船 (船のルーツを考える) 適宜公開

③中央ロビーでのケース展示

- ・「足袋の木型」 4月～5月
- ・「ぜんまい式ハエとり器」 5月～6月

- ・「たたき鎌（丸亀団扇製作用具）」 6月～7月
- ・「カミナリサン」 7月～8月
- ・「伊勢型紙」 9月～10月
- ・「煙草道具」 10月～11月
- ・「瓦木型」 11月～12月
- ・「安全炬燵」 12月～令和4年1月
- ・「先鋸製作工程資料」 1月～2月
- ・「様々な藁の履物」 2月～3月
- ・「電信和文タイプライター」 3月～4月

④第1展示室での漁撈用具調査研究報告展示

- ・「釣針」 2月～6月
- ・「鳴門の釣り漁民」 6月～9月
- ・「網の浮き」 9月～12月
- ・「網漁の海上生活」 令和4年1月～3月
- ・「津田漁民の漁場開拓の軌跡」 令和4年3月～

⑤休憩コーナーでの館蔵資料展示

- ・「海や川の釣りと小道具」 3月～5月
- ・「川や海で使用するウケ」 6月～9月
- ・「テグスの行商船」 10月～12月
- ・「サワラ突漁」 令和4年1月～2月
- ・「はえ縄釣りの道具」 令和4年3月～

⑥休憩コーナーでの季節展示

- ・「上巳の節供」 1月～5月
- ・「行楽」 5月～8月
- ・「灯り」 8月～1月
- ・「しめなわ」 令和4年1月～3月

⑦「瀬戸内ギャラリー」企画展示

令和3年3月より、第1展示室中2階を「瀬戸内ギャラリー」（約100㎡）として開設し、「瀬戸内」「海」「くらし」「自然」「環境」などのテーマで展示し、新たな瀬戸内文化の魅力の発信に取り組んだ。館蔵資料を中心に「瀬戸内」や「民俗」の展示を行ったり、歴史・美術・自然など分野を超えた外部の諸団体や個人と連携し企画展示等を開催した。年間4回実施。

	会期	テーマ	展示内容
1	3.20(土・祝)～6.27(日) ※臨時休館 5.3(月・祝)～31(月)、 6.5(土)・6(日)・12(土)・13(日)・19(土)・20(日)	布の力 ー漁民のドンザー	漁民が着た仕事着や夜、船などで眠るときに着た夜着を全国的にドンザと呼んだ。ドンザの中には大小の布を継ぎあてし、ボロになるまで着られたものもあれば、ち密な

	[開催日数 56日]		刺し子で文様を施したサシゴドンザと呼ばれるよそ行きの着物もあった。当館が所蔵する国重要有形民俗文化財を含む19点のドンザ及び関連資料を展示し、漁民のドンザなどから布やドンザに込めた人々の知恵や技、心の一端を紹介した。
2	7.10(土)～9.5(日) ※臨時休館 8.7(土)～9.5(日) [開催日数 25日]	瀬戸内の石ごころ ーアキホ・タタ彫刻展ー	瀬戸内・香川の伝統的産業の一つである石材産業。そこで培われた石彫の技と心は、芸術作家を生む源泉ともなった。作家アキホ・タタ氏が、瀬戸内をかたちづくる基盤岩石「花崗岩」を素材に、「瀬戸内の船」や「残石の記憶」をイメージして創作した作品を展示した。
3	9.18(土)～12.19(日) ※臨時休館 9.18(土)～30(木)、 10.2(土)・3(日) [開催日数 67日]	国讃めと屍 ー藏本秀彦・水谷一美術展ー [瀬戸内アートコレクション共催]	地域で活動するアーティストの支援を行っている民間団体、瀬戸内アートコレクションとの共催で実施した。「国讃めと屍」と題して、「海と鎮魂」をテーマとした「民俗と芸術」のコラボレーション企画。常設展示されている漁撈用具などの民俗資料と、2人の現代美術作家の創作をひと続きの空間で紹介することにより、当資料館の新たな魅力を創造し、発信した。
4	R4.1.4(火)～3.21(月・祝) ※臨時休館 R4.3.12(土)	歴民館長の“瀬戸内・民俗”本箱	瀬戸内国際芸術祭を契機に瀬戸内やその文化・くらしなどに関心が高まる中、瀬戸内

	・13(日)・ 19(土)・ 20(日)・ 21(月・祝) [開催日数 56 日]		国際芸術祭 2022 開催を前に、歴民館長が自らの蔵書からセレクトした「瀬戸内をより深く知るための本」や「民俗をより理解するための本」などを展示・紹介した。
--	--	--	--

⑧テーマ展示

第9・10展示室において、館蔵資料の積極的な公開や新たな視点で「民俗文化」を紹介したり、自然分野から生活環境をみたりするなど、以下のテーマ展を開催した。

	期 間	展示テーマ	展 示 内 容
1	3.20(土・祝)～5.9(日) ※臨時休館 5.3(月・祝)～9(日) [開催日数 38 日]	かがわ水ものがたり ーため池などに見る香川の水事情ー	ため池などの水に関する古文書や絵図、民具などから、香川用水通水以前の様相を紹介するとともに、耕作地の縮小などにより、変化しつつある現在の水事情の一面を紹介した。
2	5.22(土)～6.27(日) ※臨時休館 5.22(土)～31(月)・ 6.5(土)・ 6(日)・ 12(土)・ 13(日)・ 19(土)・ 20(日) [開催日数 18日]	香川・瀬戸内の風呂文化	江戸時代から昭和時代にかけて瀬戸内で多く見られていた石風呂や土製の風呂釜は生活様式の変化に伴い、現在では見かけることはなくなった。そのような香川県を含む瀬戸内の風呂文化を紹介した。
3	7.10(土)～9.26(日) ※臨時休館 8.7(土)～9.26(日) [開催日数 24日]	瀬戸内海の海上生活 [みなとのネットワーク助成]	瀬戸内海では、行商や漁撈などに関わる海上生活が行われる事例が多く見られた。徳島県鳴門市瀬戸町堂浦の漁民は、カンコ船で瀬戸内海全域に出漁し、釣糸のテグスを各地に伝え、その需要の高まりからテグス船で行商を行うようになって

			た。その際船上で使用した生活資料などを展示し、海上生活の具体的な様子を紹介した。
巡回展示	10.9(土)～11.12(金) [開催日数 30日]	まちかど生き物標本展 ーため池の生き物ー [香川県みどり保全課共催]	ため池の生物の標本や写真のほか、ため池で使われた漁具等の民俗資料やため池に関わる文書を展示し、ため池の生物多様性や歴史を紹介した。



テーマ展「かがわ水ものがたり」展示風景

⑨巡回展示

第9・10展示室において、県みどり保全課の巡回展示を共催した。今回は歴民が所蔵するため池に関係する歴史民俗資料もあわせて構成し、自然・人文総合的な視点でため池について考えた。

⑩サテライト展示

香川県立図書館のロビーにおいて、瀬戸内海歴史民俗資料館の活動や瀬戸内海に関わる図書を紹介し、当館へ誘客するサテライト展示を行った。

	期 間	展示テーマ	展 示 内 容
1	R4.1.18(火)～2.20(日) [開催日数 30日]	「瀬戸内海歴史民俗資料館の本」と「瀬戸内海をより知るための本」 [香川県立図書館共催]	開館以来の当館の刊行物や分館統合後の活動が分かるニュースなどを展示するとともに、県立図書館所蔵の「瀬戸内」に関わる図書を展示した。

(2) 広報

館独自のホームページを339回更新し、アクセス数の増加を図った。令和3年度のホームページトップページへの

アクセス数合計は12,929件で、前年度(13,832件)より微減した。

2 地域連携学習支援事業

(1) 学校教育支援活動

令和3年度の学校団体利用は、6団体305人であった。コロナ禍の変化として、県外小学校の修学旅行や県内小学校の校外学習利用が増加した。なお、一般団体の見学利用は12団体247人であった。

(2) 地域連携活動

「香川県文化芸術振興計画」及び「香川県立ミュージアム中期活動計画」にある「瀬戸内海歴史民俗資料館の活用」に盛り込まれた、展示方法の工夫や歴史、民俗資料に加え自然や環境及び生態分野の展示の充実について検討し、小学校団体の教育利用・見学活用について勧誘活動を進める予定であったが、長引くコロナ禍のため延期した。そうした状況下、瀬戸内アートコレクティブとの共催事業において試行された第1展示室の3Dマターポート映像などの有効性を確認し、WEB上での教育利用等について検討した。

また、民間旅行会社による瀬戸大橋塔頂と当館の展示見学をセットにしたツアーが開発され、複数回の利用があり、令和4年度も実施される予定となっている。

①職員の講師派遣

令和3年度は各団体主催の4回の講演会・講座等に職員を派遣し、90人の聴講者があった。

	月日	講師名・演題	主催	受講者数
1	7.20(火)	田井静明 「丸亀の民俗行事」	蓬萊歴史研究会	20人
2	11.10(水)	田井静明 「香川の瀬戸内観光史 一歴史・民俗視点から」	(公社)香川県観光協会	60人
3	R4.2.5(土)	真鍋篤行 「仁尾町まち歩きガイド養成研修」	NPOまちづくり推進隊 仁尾	10人
4	2.20(日)	田井静明 議題「香川の祭礼・民俗芸能のコロナ禍における活動と今後の見通し」文化遺産シンポジウム	獅子舞王国さぬき実行委員会	関係者のみ

②他機関との連携、地域の活動への協力

- i) 土庄町教育委員会
土庄町の民俗収蔵施設のあり方等について助言した。
- ii) 香川県教育委員会生涯学習・文化財課
文化庁の地域文化財総合活用推進事業無形民俗用具の修理申請にかかる指導等を行った。
- iii) 香川県みどり保全課
香川県みどり保全課の巡回展「まちかど生き物標本展」を共催した。
- iv) 香川県環境管理課
香川県環境管理課の「かがわ里海大学」で、「里海フォト発見&発信講座」を当館常設展示室で開催した。
- vii) 獅子舞王国さぬき実行委員会
実行委員会主催の「コロナ禍における獅子舞等活動のアンケート調査及び修繕事業報告」への助言、修理指導等を行った。
- viii) 香川大学
『大学的香川ガイド』の執筆に協力した。
- ix) 国立歴史民俗博物館
国立歴史民俗博物館「地域における歴史文化研究拠点の構築」の共同研究者として参加し、研究を行った。

③ボランティア

県立ミュージアムボランティアの分館グループとして活動しており、令和3年度の登録者数は40名。

令和3年度も新型コロナウイルス感染防止の観点から、展示案内はボランティアと相談し、活動を見送った。その他の活動については、感染防止に留意し、寄贈手続き予定資料の整理や地元王越町の地域調査などを中心に活動した。また、令和5年度の開館50周年事業について、ボランティアによる自主事業等の検討を行った。

- i) 展示案内
令和3年度は活動を見送った。
- ii) 資料整理 歴史・民俗資料の整理
近代の漁業関係資料、館蔵図書、地主家書簡資料、昭和広告資料、昭和～平成全国民芸品土産資料等の整理を行った。23名のボランティアが延べ100回活動。
- iii) 館外調査
坂出市王越町地域調査などを行った。10名のボランティアが延べ8回活動。
ボランティア研修を兼ねて坂出市を訪ねる企画を実施。1名が参加した。
- iv) 館行事(イベント) 補助他
ワークショップ「瀬戸内探訪」「れきみん常設展示ツアー」の補助やれきみん講座の受付、夜間開館などの準備実施補助などを18名のボランティアが延べ16回行った。
- v) 環境整備
館敷地内植栽等の環境整備は活動を見送った。館内

展示室清掃を6名のボランティアが1回実施した。

vi) 開館 50 周年事業

ボランティア企画による開館 50 周年事業（テーマ展等）について 17 名のボランティアが 3 回集まり検討した。

内容	活動者計	活動者数	活動回数と延べ人数
展示案内	36名	—	—
資料整理		23名	100回・121名
館外調査		10名	8回・33名
館行事補助他		18名	16回・67名
環境整備		6名	1回・6名
開館50周年事業		17名	3回・28名
合計			128回・255名

(3) 普及活動

①れきみん講座

当館専門職員が、専門分野の調査・研究成果を分かりやすく紹介する「れきみん講座」を、研修室を会場として5回実施した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、講座は午前・午後の二部制とし、定員を通年より減じて各回12人（+受付ボランティア）で実施した。

	日時	テーマ	担当	受講者数
1	6.26 (土)	香川の石風呂	真鍋貴匡	午前 14人 午後 15人
2	8.1 (日) ↓ 延期後 10.9 (土)	瀬戸内海の海上生活	真鍋篤行	午前 5人 午後 4人
3	5.8 (土) ↓ 延期後 10.10 (日)	続・ため池絵図の世界	芳澤直起	午前 8人 午後 9人
4	10.30 (土)	香川の主な漁業の歴史	川西 敦	午前 10人 午後 2人
5	R4.2.19 (土)	民俗学、資料館へのいざない	田井静明	午前 10人 午後 15人



第5回講座「民俗学、資料館へのいざない」実施風景

②ワークショップ

令和2年度より始めた「瀬戸内探訪」は、津田と坂出で実施し、港町や塩田の町として隆盛を極めた同地を訪ね、貴重な文化遺産についての理解を深めた。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、午前・午後の二部制とし、定員を通年より減じて各回15人（1組3人まで応募のため最大17人）で実施した。

また、当館の新たな魅力発信のため、晩秋の満月の夜にナイトツアー（夜間開館）を実施し、当館建築設計者山本忠司と親交があったイサム・ノグチ《AKARI I》（香川県立ミュージアム蔵）を特別陳列し好評を得た。

そのほか、瀬戸内国際芸術祭 2022 の開催を前に当館の常設展示や瀬戸内ギャラリー企画展などを、当館職員の詳しい解説を聞きながら巡る「常設展示ツアー」を予定していたが、新型コロナウイルス感染症による臨時休館のため、次年度に延期となった。

	日時	テーマ	担当	参加者 (申込者)
1	6.20 (日) ↓ 延期後 7.4(日)	瀬戸内探訪① -津田-	当館職員	午前16人 (24人) 午後15人 (29人)
2	9.19 (日) ↓ 延期後 11.7(日)	瀬戸内探訪② -坂出-	当館職員	午前11人 (16人) 午後15人 (15人)
3	11.19(金)・ 20(土)	夜間開館&AK ARI 特別陳列	当館職員・ ボランテ ィア	19日50人 (先着順) 20日49人 (先着順)
4	R4.3.21(月・ 祝)	れきみん常設展 示ツアー	当館職員	※臨時休館 のため延期



「瀬戸内探訪① 一津田一」実施風景



「夜間開館&AKARI 特別陳列」実施風景

3 調査・研究事業

(1) 調査研究活動

①歴史民俗総合調査研究

当館近郊の高松市亀水町及び坂出市王越町の地域調査を実施した。亀水地区では民俗聞き取り調査を複数回にわたり実施したり、住民の案内で山間地の史跡等の確認や祭礼行事の記録を行ったりした。王越地区ではボランティアとともに水田耕作現況調査やため池管理調査を行った。次年度も継続実施予定。

②有形民俗資料の調査研究

収蔵している民俗資料(主に衣食住関係資料)の再確認調査を実施し、一部をロビー等で展示公開した。また、収蔵している網漁具について、地元漁師やボランティアとともに再確認調査を実施し、調査成果を県立ミュージアム調査研究報告に掲載した。

また、広島県尾道市の家船の鯛刺網やハモはえ縄の記録調査を行った。

③無形民俗資料の調査研究

新型コロナウイルス禍のもと、香川県内の秋祭りがどの

ような影響を受けたのか、またどのような工夫をして実施したのかなど、現況調査を行った。

④展示に係る調査

テーマ展「続・ため池絵図の世界」、「香川の石風呂」、「瀬戸内海の海上生活」に関連する調査を行った。

⑤レファレンス等による調査

i) レファレンス対応

令和3年度に対応したレファレンスは以下のとおり。

項目	件数
質問	58件
寄贈・寄託希望	14件
調査依頼	2件
資料情報その他	16件
合計	90件

ii) 資料の寄贈・寄託の申し出に伴う調査

14件の寄贈申込みを受けて調査した。そのうち、高松市で菓子木型資料、同市にて明治～昭和時代に使用された農家生活資料、琴平町の金刀比羅宮崇敬社資料などを調査し、寄贈手続きを行った。

⑥教育普及に伴う調査

れきみん講座に関連した調査を行い、これらの調査成果を講座内容に反映させた。

(2) 成果物の公表

①研究成果の公表

i) 論文・報告・紹介など(館外)

田井静明

- 口頭報告「コロナ禍、変わる私たちのくらしと香川県の祭礼」(香川民俗学会総会 R3.4.25)

- 「瀬戸内海交通史概観」交通政策研究所『運輸と経済』2021年7月号

- 「香川県の祭りと民俗芸能」『大学的香川ガイド』R4.3.31

真鍋篤行

- 「備讃瀬戸の鯛大網について」香川歴史学会『香川史学』第47・48合併号 R3.7

- 「香川県のチヌ漕網漁とサワラ瀬曳網漁について—調査地(宇多津町・坂出市)—」四国民具研究会『民具集積』第22号 R3.11

- 「日本の刺網に関する資料集成—流網—」四国民具研究会『民具集積』第22号 R3.11

真鍋貴匡

- 県立ミュージアムプレゼンテーション2022「これま

でとこれからの歴民ボランティア活動」 R4. 2. 26

ii) 自治体や他機関からの委嘱など

田井静明

- ・坂出市史編さん委員
- ・国立歴史民俗博物館基礎研究プロジェクト「地域における歴史文化研究拠点の構築」共同研究者

川西 敦

- ・「かがわ里海の幸」ワーキンググループ委員

iii) 当館刊行物及び香川県立ミュージアム刊行物

芳澤直起

- ・「「那珂郡吉野上邑木之崎新池絵図」追跡調査」『香川県立ミュージアム調査研究報告 第13号』 R4. 3. 31
- ・歴民テーマ展解説シート R3-1「かがわ水ものがたり —ため池などにみる香川の水事情—」

真鍋貴匡

- ・歴民テーマ展解説シート R3-2「香川・瀬戸内の風呂文化」

真鍋篤行

- ・「網漁具における手繰網の分類について」『香川県立ミュージアム調査研究報告 第13号』 R4. 3. 31
- ・歴民テーマ展解説シート R3-3「瀬戸内海の海上生活」

iv) 『香川県立ミュージアム NEWS』での調査研究・資料紹介等

田井静明

- ・「瀬戸内ギャラリー開設 瀬戸内文化の発信強化」(れきみんだより・NEWS 第53号)
- ・「コロナ禍での令和2年の秋祭り実態調査から」(れきみんだより・NEWS 第54号)
- ・「収蔵資料「草薙金四郎文庫」をひも解く」(れきみんだより・NEWS 第55号)

真鍋篤行

- ・「突んぼう漁師に聞く～大分県臼杵市風成」(れきみんだより・NEWS 第53号)

芳澤直起

- ・「昭和南海地震体験談」(れきみんだより・NEWS 第56号)

②刊行物

i) テーマ展解説シート

テーマ展「かがわ水ものがたり —ため池などにみる香川の水事情—」「香川・瀬戸内の風呂文化」「瀬戸内海の海上生活」「まちかど生き物標本展 —ため池の生き物—」に関する内容を紹介した解説シートを印刷、刊行した。規格はA3判・2ツ折、モノクロ刷、各2,000部。

4 資料の収集・整理・保管事業

(1) 資料収集活動 (令和4年3月末現在)

令和3年度収集数 ※移管他に採集を含む

部門	購入	寄贈	寄託	移管他	計
民俗	0	1,092	0	3	1,095
歴史	0	0	0	0	0
資料	0	0	0	0	0
計	0	1,092	0	3	1,095

令和3年度末累計

部門	館蔵(購入・寄贈・移管他)	寄託	計
民俗	28,403	0	28,403
歴史	84,662	12,573	97,235
考古	253	947	1,200
資料	76	0	76
計	113,394	13,520	126,914

①民俗資料(掲載の順序は、原則手続き順による)

i) 寄贈資料

- ・坂出市の石材用具1点
- ・高松市の菓子木型資料14点
- ・琴平町の金刀比羅宮崇敬講社資料21点
- ・丸亀市の町屋商家資料479点
- ・高松市の農家生活資料2点
- ・高松市の祭礼用具1点
- ・さぬき市津田町の北洋漁業関係文書・漁撈用具365点
- ・丸亀市の戦前における生活資料67点
- ・小豆島の戦前期軍関係資料113点
- ・高松市のいただきさん関連資料3点
- ・高松市の煙草皿等生活資料7点
- ・坂出市の五月人形一式7点
- ・高松市の電柱などの保守管理用品12点

計 1,092点

ii) 移管資料

- ・香川県産業技術センター資料3点

計 3点

②文献資料

- i) 報告書・図書等の寄贈点数 331点
- ii) 購入雑誌 『日本民俗学』、『民具研究』 6点

(2) 資料整理保管活動

①資料整理活動

簡易目録化を終えた高橋克夫資料について、寄贈手続きのための確認作業を実施した(継続中)。また、荘内半島地主資料の整理も継続中である。

①閲覧利用

番号	資料名	点数	申込者	利用目的
1	水口のお札（マツトウ）など	11	個人	水口祭りのお札の研究
2	草薙金四郎文庫「小豆島の舞台」など	5	個人	中山の舞台の大規模改修に伴う調査
3	草薙金四郎文庫「岩田八幡宮由緒記」など	3	個人	由緒書等の研究
4	松浦正文庫「三谷氏系譜」など	4	個人	由緒書等の研究
5	長町家文書「（四国新道に寄付）」など	43	個人	名東時代時代の讃岐等の研究
6	松浦正文庫「史蹟名勝天然記念物調」	1	土庄町教育委員会	宝生院シンパク保存活用計画書策定調査
7	松浦正文庫「讃岐国分寺実測図」など	29	高松市讃岐国分寺跡資料館	企画展「讃岐国分寺跡の今まで」に係る調査
8	青家文書「讃岐高松藩分限録」など	48	坂出市史編さん所	坂出市史編さん
9	名部戸自治会資料「葬式興」など	12	個人	三豊市域の土葬の研究
10	観音寺附近十二郷之絵図「室本略図」など	7	個人	常磐の歴史編さん
11	松浦正文庫「小神野筆帖（仁）」	1	高松市広聴広報課	高松市広報番組
12	松浦正文庫「綾歌郡宇多津町長興寺跡出土瓦（軒平瓦）拓本」など	3	個人	亥の子再製作のための調査
13	草薙金四郎文庫「甲申載日記」など	367	坂出市史編さん所	坂出市史編さん

②画像利用

番号	資料名	点数	申込者	利用目的	利用区分
1	「四国辺路指南」	1	個人	学術雑誌	掲載
2	三宅家文書「天明元五年十二月廿四日直嶋高田浦大火事済口一件讃岐国直嶋絵図」	1	公益財団法人福武財団	家プロジェクトレクチャー資料への掲出	その他
3	「粟島伊勢神宮奉納船絵馬・住吉丸」	1	個人	学術書籍	掲載
4	日下家文書「申歳四国遍路人別留帳」	1	個人	学術雑誌	掲載
5	水口祭り護符	1	個人	学術雑誌	掲載
6	写真「男木島 頭上運搬」	1	特定非営利活動法人瀬戸内こえびネットワーク	校外学習ツアー学習帳	掲載
7	草薙金四郎文庫「高松栗林公園博物館正面」	1	株式会社思文閣出版	学術書籍	掲載
8	草薙金四郎文庫「砂糖締め風景」	1	公益財団法人四国民家博物館	展示解説映像	掲載
9	松浦正文庫「御林御庭図」	1	独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所	学術書籍	掲載
10	調査写真「八幡神社の秋祭り」など	18	坂出市史編さん所	坂出市制施行 80 周年記念誌「坂出市のあゆみ」	掲載
11	三宅家文書「蒸気車之図」など	3	株式会社アーテファクトリー	『香川県版中学生の社会科 歴史ノート下巻』	掲載
12	松浦正文庫「御林御庭図」	1	NHK制作局	放送番組	放送
13	松浦正文庫「小神野筆帖（仁）」	1	高松市広聴広報課	高松市広報番組	放送
14	草薙金四郎文庫「砂糖締め風景」	2	個人	チラシ・ポスター	掲載

15	松浦正文庫「御林御庭図」	1	個人	栗林公園絵図の研究	その他
16	合田栄作資料写真「女木島 頭上運搬」	1	特定非営利活動法人 瀬戸内こえびネット ワーク	瀬戸内国際芸術祭 2022 公式ガイドブック	掲載

分館 香川県文化会館

1 展示事業

会期	展示名・内容	入場者数
R4.2.5(土)～20(日)	香川県文化芸術新人賞展 主催：県立ミュージアム	1,063人

2 貸館事業

(1) 県民ギャラリー

場 所	内 容	件 数	日 数
全 展 示 室	美術展、書道展など	10件	68日
2階展示室	書道展、写真展、絵画展など	7件	38日
3階展示室	書道展など	1件	3日
合 計		18件	109日

(2) 芸能ホール

場 所	内 容	件 数	日 数
芸能ホール	邦楽演奏会、日本舞踊、寄席など	19件	24日
合 計		19件	24日

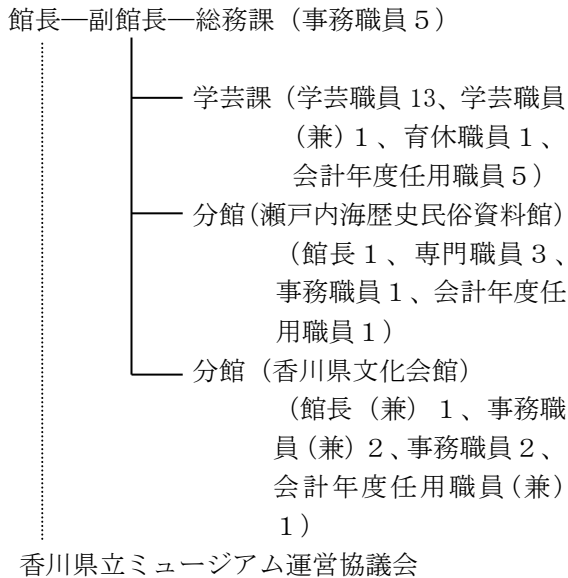
(3) 和室

場 所	内 容	件 数	日 数
和 室	茶会など	25件	30日
合 計		25件	30日

III 組織と運営

1 組織・職員

(1) 組織図 (令和4年3月31日現在)



(2) 職員名簿

館長	象山 稔彦
副館長	古野 徳久
＜総務課＞	
総務課長	池西 昇彦
主任	河田 敏寿
主任	大西 伸司
主任主事	乃万 悟
主任主事	植田 有貴
＜学芸課＞	
学芸課長	野村 美紀
主任専門学芸員	御厨 義道[収集管理]
主任専門学芸員	三好 賢子[企画]
主任専門学芸員(兼)	窪美西嘉子
主任専門職員	森 顯博[地域連携]
主任専門職員	櫻木 拓[地域連携]
専門学芸員	高木 敬子[収集管理]
専門学芸員	一柳 友子[企画]
専門職員	酒井 将年[企画]
専門職員	高木 理光[企画]
主任主事	岡本由貴子[収集管理] (育休)
主任学芸員	鹿間 里奈[地域連携]
学芸員	日置 瑤子[収集管理]

学芸員	川邊 優佑[地域連携]
学芸員	黛 友明[収集管理]
会計年度任用職員	田口 慶太
	[美術コーディネーター]
会計年度任用職員	芳地 智子
会計年度任用職員	松村 祥志
会計年度任用職員	村井 美香
会計年度任用職員	木村奈緒美
＜分館(瀬戸内海歴史民俗資料館)＞	
館長	田井 静明
主任専門職員	芳澤 直起
専門職員	真鍋 貴匡
専門職員	真鍋 篤行
主任	川西 敦
会計年度任用職員	白石 公信
＜分館(香川県文化会館)＞	
館長(兼)	古川 京司
次長(兼)	森元 仁
主任(兼)	武田 美里
主任	篠永 弘子
主任	大方 和男
会計年度任用職員(兼)	上島 美香

2 予算

予算は管理運営費と事業費からなる。

令和3年度当初予算 (単位：千円)

管理運営費	事業費	計
396,894 ※1、※2	44,294	441,188

※1 職員給与費を含む

※2 文化芸術振興基金事業を含む

3 香川県立ミュージアム運営協議会

県立ミュージアムの事業をはじめとする運営全般について意見を求める香川県立ミュージアム運営協議会の会議を次のとおり開催した。

・第1回運営協議会

日時：令和3年10月29日

会場：香川県立ミュージアム 会議室

議事：令和2年度事業実績について

香川県立ミュージアム中期活動計画の
取り組み状況について

・第2回運営協議会

日 時：令和4年3月17日

会 場：書面開催（コロナウイルス感染症対策
のため）

議 事：令和3年度事業実施状況等について
令和4年度事業計画について 他

- 2 会長及び副会長は、それぞれ委員が互選する。
 - 3 会長は、会務を総理する。
 - 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- (会議)

第4条 協議会の会議は、館長が招集し、会長がその議長となる。

(庶務)

第5条 協議会の庶務は、香川県立ミュージアムにおいて行う。

附 則

- 1 この要綱は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 協議会設置当初の委員の任期は、第2条第3項本文の規定にかかわらず、平成22年3月31日までとする。
- 3 香川県歴史博物館事業懇談会設置要綱(平成19年4月1日施行)は、廃止する。

香川県立ミュージアム運営協議会委員
(五十音順)

氏 名	所 属 等
生田真理子	おいでまい町家プロジェクト in 香川 TADOTSU (代表) 多度津町まねきねこ課推進員
梅木眞由美	香川県小・中学校文化連盟事務局次長
胡 光	愛媛大学法文学部教授
大西忠	NHK高松放送局放送部長
大西由子	香川県立ミュージアムパスポート会員
岡克典	四国新聞社編集局生活文化部長
藏本秀彦	高松工芸高校教諭
小西智都子	ROOTS BOOKS 代表
中村光幸	香川県美術家協会副会長
守田逸人	香川大学教育学部准教授
横井鈴代	香川県PTA連絡協議会 母親代表委員会委員

香川県立ミュージアム運営協議会設置要綱

(設置)

第1条 香川県立ミュージアムの運営について意見を求めるため、香川県立ミュージアム運営協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(組織)

第2条 協議会は、15人以内の委員で組織する。

2 委員は、学識経験者、文化芸術団体、学校教育、家庭教育、利用者団体等の関係者から、館長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年とし、再任されることを妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長および副会長)

第3条 協議会に会長及び副会長1人を置く。

4 利用状況

(単位：人)

令和3年度(令和4年3月31日現在)		
特別展	空間に生きる画家 猪熊弦一郎	2,743
	香川県美術展覧会【中止】	—
	近代香川を生み出したまち 多度津ものがたり	4,907
	第68回日本伝統工芸展	4,360
	計	12,010
常設展（歴史展示＋企画展示）		16,754
教育普及活動等利用者（第85回香川県美術展覧会出品者等を含む）		3,603
貸館		5,950
本館 合計		38,317
分館瀬戸内海歴史民俗資料館		7,261
分館文化会館		
主催展	香川県文化芸術新人賞展	1,063
貸館		11,992
分館文化会館 合計		13,055
県立ミュージアム 総計		58,633

IV 施設の概要

(令和3年4月1日現在)

本館

1 建築等の概要

● 建設の概要

敷地面積	5,016.77 m ²
建築面積	3,419.60 m ²
延床面積	19,656.99 m ²
塔屋1階	86.70 m ²
6階	811.57 m ²
5階	1,273.69 m ²
4階	1,782.11 m ²
3階	3,702.19 m ²
M2階	3,150.68 m ²
2階	980.84 m ²
1階	2,606.37 m ²
B1階	2,600.64 m ²
B2階	2,734.20 m ²
階数	地上7階、地下2階、塔屋1階
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造・鉄筋コンクリート造
高さ	GL+44.19m

● 設備の概要

空気調和設備

■空調設備 ・一般系統 ・収蔵庫系統 ・展示室系統	室の用途に応じて次のように対応 単一ダクト方式+FCU 単一ダクト方式 直接空調、間接空調併用 単一ダクト方式 展示ケースはケース周囲空調による間接空調
■自動制御設備	デジタル方式による空調設備温湿度制御及び省エネルギー制御。中央監視盤による各動力機器の自動・遠隔発停、状態監視、記録、温湿度の監視、記録、電力設備のデマンド制御、状態監視、記録を行う。
■燻蒸設備	固定設備

電気設備

■照明器具設備	
・展示室 (特別、企画)	一般照明はミニハロゲンランプ、展示ケースは美術館、博物館用AAA蛍光灯
・展示室 (歴史)	メタルハライドランプによる間接照明
■音声ガイド	ポータブル ROM プレーヤーによる音声ガイドシステム。1台で4ヶ国語の解説が聞ける設定。33項目の解説で、所要時間約47分
■監視	中央監視室・警備員室で次の監視を行う。
・中央監視室	受電盤及び発電機の操作状況監視 照明副制御盤 自動火災報知機副受信盤 親時計
・警備員室	非常放送 監視カメラ 自動火災報知機副受信盤 防犯監視 照明主制御盤 身障者呼出し

■監視設備 (ITV)	
・展示室系統	展示室にカメラ16台
・駐車場系統	地下1、2階にカメラ16台
	それぞれ警備員室、管理事務室にモニター設置
■防犯設備	赤外線センサー、シャッター、ドアセンサー、カードリーダー、テンキー、電気錠
■自動火災設備 (防排煙含む)	中央監視室にGR型複合受信盤
■講堂設備	
・おもな機器	ハイビジョン対応プロジェクター1式、音響機器架3架、映像送出架1架、固定式調整卓1式、移動調整ワゴン1式、マイクコンセント、インカム子機、オーバーヘッドカメラ、ワイヤレスアンテナ、メインスピーカー、ステージスピーカー、ハネカエリスピーカー
■研修室設備	
・おもな機器	ハイビジョン対応プロジェクター1式、音響・映像機器架1架、移動式調整卓1式、マイクコンセント、ワイヤレスアンテナ、メインスピーカー

給排水衛生設備

■中水設備	引込管、副受水槽を経由し、地中梁内利用受水槽 (200m ³ 2槽式) 高架水槽 (5m ³ 2槽式)
■雨水利用設備	屋上雨水管より雨水槽へ (50m ³)、ろ過装置經由後中水槽へ

消火設備

■イナージェンガス設備	展示室、収蔵庫、電気室、中央監視室、ビデオ編集室、薬品庫など20区画、ボンベ125本
■スプリンクラー消火設備	歴史展示室にブリアクションタイプ。地下階各居室ゾーンに設置
■屋内消火栓設備	イナージェンガス設備範囲外のすべての部分

昇降機設備

■エレベーター	
No.1、2号機	来館者用乗用エレベーター (地下2階～3階) 11人乗り 積載量750kg
No.3号機	乗用エレベーター (地下2階～6階) 17人乗り 積載量1,150kg
No.4号機	荷物用エレベーター (1階～5階) 積載量3000kg 開口4,000mm×奥行3,000mm
No.5号機	乗用エレベーター (地下2階～1階) 11人乗り 積載量750kg

設計・施工

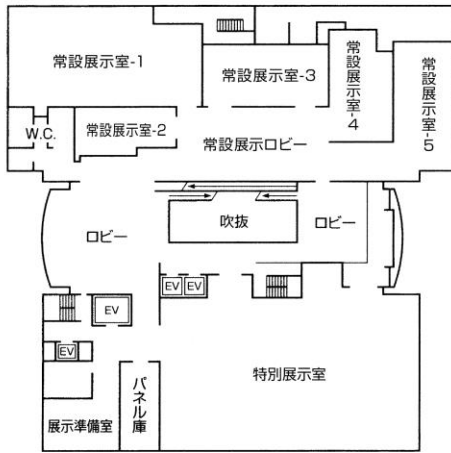
設計	建築設計 展示設計	(株)日建設計 (株)丹青社
施工	建築 電気 空調 給排水 昇降機 展示	清水・フジタ建設共同企業体 住友電設・久保電気建設企業体 大気社・新英工業建設共同企業体 大気社・新英工業建設共同企業体 (株)東芝 (株)丹青社

2 面積

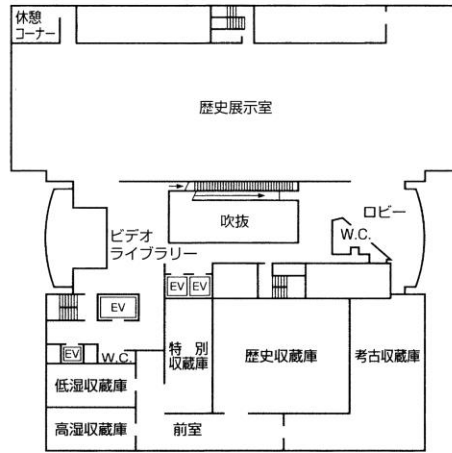
部門名	おもな諸室	階数	面積 (㎡)	
展示部門	歴史展示室	3	1,188.65	
	常設展示室-1	2	332.76	
	常設展示室-2	2	78.57	
	常設展示室-3	2	139.23	
	常設展示室-4	2	150.73	
	常設展示室-5	2	130.19	
	常設展示室ロビー	2	293.96	
	特別展示室	2	726.13	
	展示準備室	2	78.06	
	パネル庫	2	77.30	
	その他		92.11	
	小計		3,287.69	
学習支援部門	図書コーナー	1	274.58	
	体験学習室	1	113.33	
	準備室	1	18.53	
	準備室	1	58.68	
	講堂	B1	285.98	
	準備室	B1	84.72	
	研修室	B1	114.96	
	工作室	B1	64.84	
	実習室	B1	68.05	
	準備室1	B1	26.46	
	準備室2	B1	18.86	
	ボランティア室	B1	28.80	
	その他		4.33	
	小計		1,162.12	
調査・研究部門	学芸員室	5	260.04	
	整理作業室	5	36.17	
	整理分析室1	5	49.45	
	整理分析室2	5	122.47	
	保存科学室	5	143.73	
	薬品庫	5	20.60	
	資料鑑定室	5	35.42	
	書庫	5	164.36	
	資料閲覧室	5	12.77	
	情報処理室	5	21.56	
	資料保管庫	5	44.75	
	写真撮影室	4	81.32	
	暗室	4	17.14	
	ビデオ編集室	4	28.96	
	その他		286.50	
		小計		1,325.24
	収蔵部門	特別収蔵庫	3	200.12
低湿収蔵庫		3	106.45	
高湿収蔵庫		3	106.39	
歴史収蔵庫		3	586.37	
考古収蔵庫		3	411.62	
前室		3	156.19	
フィルム庫		4	193.87	
美術工芸収蔵庫		4	389.82	
民俗生活収蔵庫		4	593.82	
前室		4	88.48	
資材庫		1	33.46	
梱包資材庫		1	34.97	
修復室		1	30.11	
燻蒸庫		1	23.36	
一時保管庫		1	62.95	
荷受・荷解室		1	163.82	
トラックヤード		1	121.32	
その他			511.07	
		小計		3,814.19
管理部門	館長室	M2	56.25	

	応接室	M2	37.17
	事務室	M2	110.31
	印刷室	M2	13.44
	書類庫	M2	30.42
	展示案内員室	2	30.20
	警備員室	1	22.86
	救護室	1	17.32
	授乳室	1	9.25
	会議室	M2	110.34
	休憩室	M2	34.28
	更衣室	M2	54.09
	器具庫	M2	15.13
	物品庫	M2	17.55
	清掃員控室	B1	32.95
	中央監視室	B1	68.69
	その他		384.04
	小計		1,044.29
機械関係	機械室	B2	215.13
	熱源機械室	6	91.62
	ポンプ室	B2	44.07
	電気室	6	102.08
	イナージェンボンベ室	6	83.09
	排気ファン室	B2	27.12
	氷蓄熱槽置場	6	138.79
	その他		1,188.24
	小計		1,890.14
共用部分	エントランスホール (1階)	1	427.81
	ロビー (2階)	2	388.68
	ロビー (3階)	3	433.73
	ゴミ庫	B1	40.77
	その他		2,616.55
	小計		3,907.54
喫茶・売店	喫茶室	1	113.84
	ミュージアムショップ	1	42.11
	その他		5.27
	小計		161.22
駐車場	駐車場	B2	1,961.04
	業務用駐車場	B1	413.19
	車路スロープ	B1・2	137.66
	その他		552.67
	小計		3,064.56
総計			19,656.99

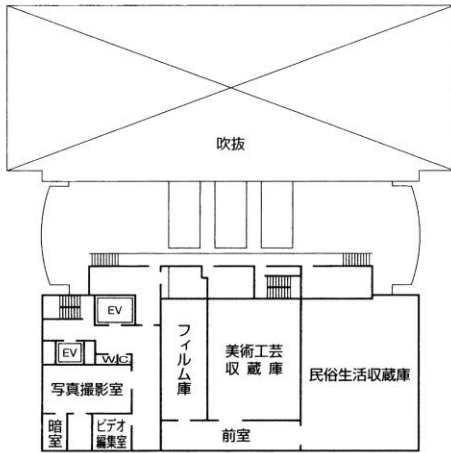
2階平面図



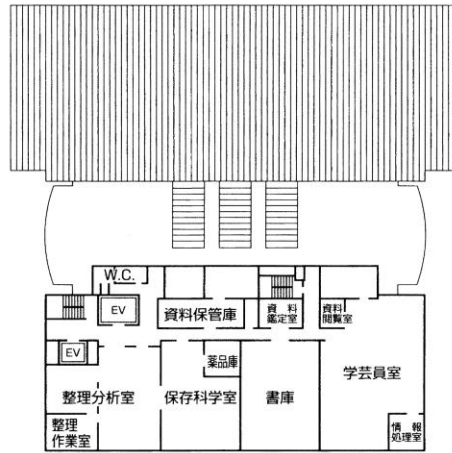
3階平面図



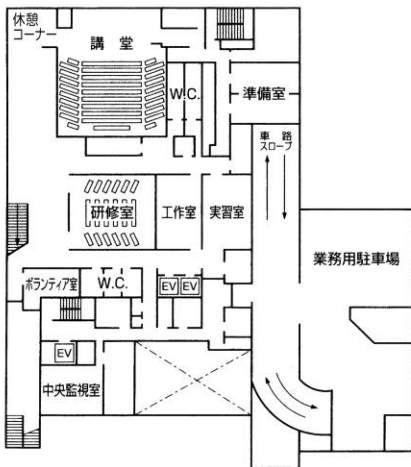
4階平面図



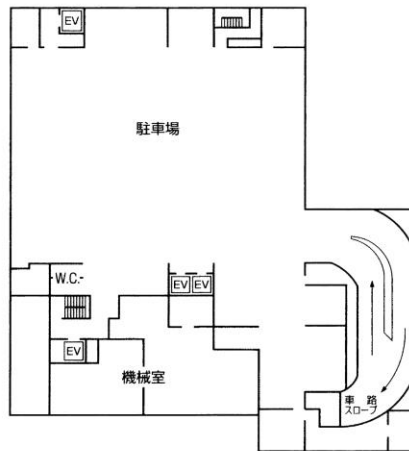
5階平面図



地下1階平面図



地下2階平面図



分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

1 建築概要

設計 建築：香川県建築課
 協働：山本坦設計事務所
 構造：木村俊彦構造設計事務所
 設備：香川県建築課

監修 文化庁建造物課
 監理 香川県建築課

施行 建築：(株)高岸工務店
 電気：近畿電気工事(株)高松営業所
 給水・衛生・空調：第一設備工業(株)
 四国出張所

石壁：和泉政敏
 造園：(株)桂組

鉄筋コンクリート造
 平屋建（一部中2階）

外部 コンクリート打放し及び石積み

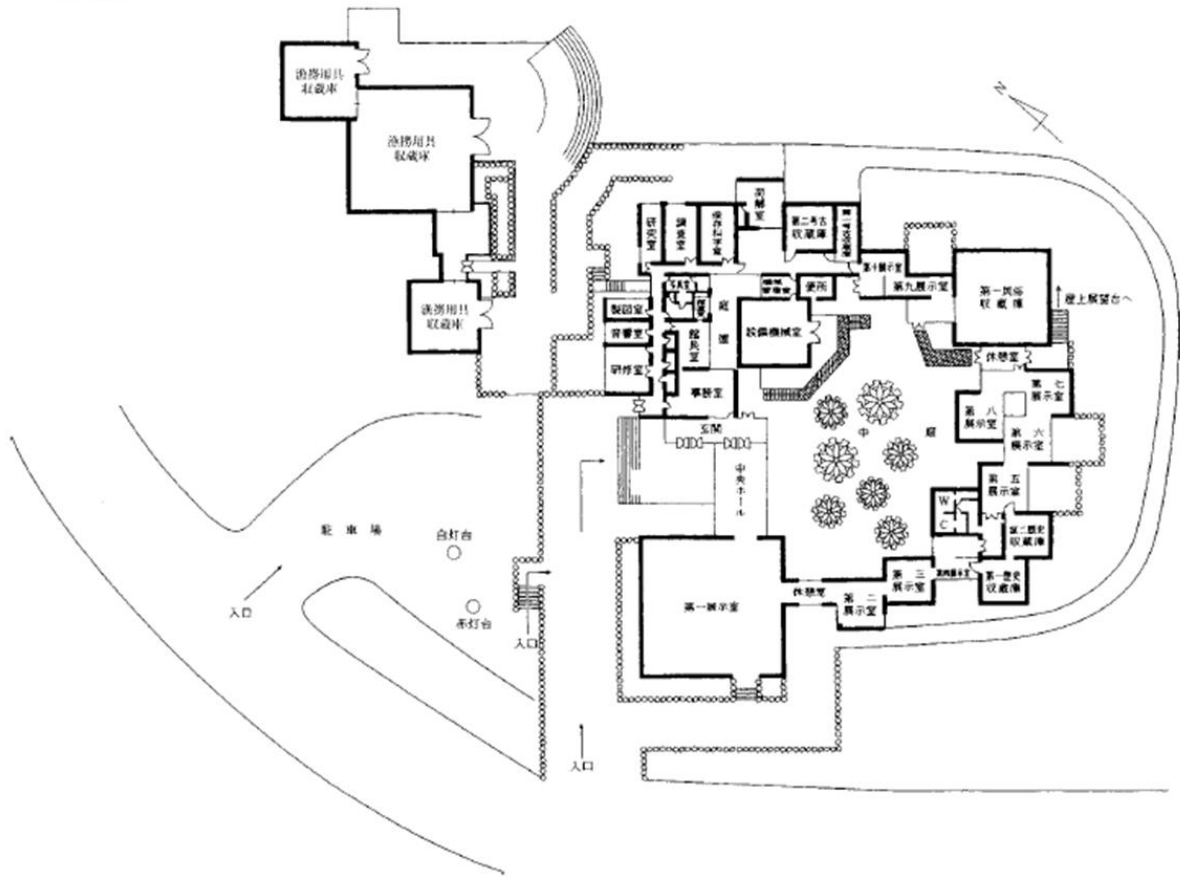
内部 床：れんがタイル及びビニタイル張り
 天井：プラスターボード張りボイルキン
 吹付け及びOPローラ引き

2 面積

室名	面積 (㎡)
玄関	68.00
事務室	88.00
館長室	48.00
倉庫	15.00
宿直室	40.00
写真室	24.00
研修室	64.00
音響室	32.00
製図室	32.00
研究室	44.00
調査室	60.00
保存科学室	60.00
荷解室	88.00
機械管理室	24.00
設備機械室	132.25
中央ホール	134.12
第一展示室	705.60
機械室	207.36
休憩室	32.00
第二展示室（歴史）	64.00
第三展示室（歴史）	64.00
第四展示室（歴史）	64.00
第一歴史収蔵庫	64.00
第二歴史収蔵庫	118.18
第五展示室（考古）	64.00
第六展示室（考古）	64.00
第七展示室（考古）	64.00
第八展示室（考古）	64.00
休憩室	32.00
第一民俗収蔵庫	256.00
第九展示室（特別展示室）	64.00
第十展示室（特別展示室）	64.00
第一考古収蔵庫	40.00
第二考古収蔵庫	117.60
地下収蔵庫（民俗）	94.00
地下収蔵庫（民俗）	120.00
漁撈用具収蔵庫	952.00
その他	173.00
計	4441.11

延床面積 4,441.11 ㎡
 （展示部門 1,281.60 ㎡ 収蔵部門 1,761.78
 ㎡ 管理部門 1,397.73 ㎡）

3 平面图



分館 香川県文化会館

1 建築概要

構造規模 鉄筋コンクリート造、地下1階、
地上7階建て

建築面積：923.91 m²、延べ面積：4628.02 m²

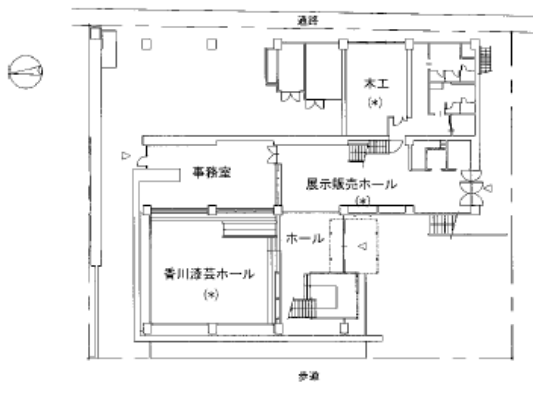
設置年月 昭和41年5月

2 面積

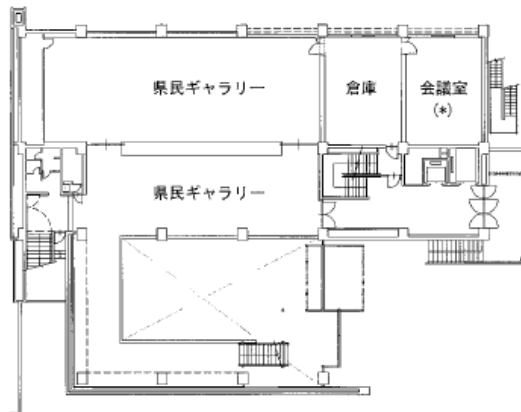
階	室名	床面積	階別面積
地階	機械室ほか	774.56	774.56
1階	香川漆芸ホール	152.10	844.16
	その他	692.06	
2階	県民ギャラリー	387.89	637.20
	その他	249.31	
3階	客席舞台	300.23	972.12
	県民ギャラリー	357.12	
	その他	314.77	
4階	和室	135.37	421.43
	その他	286.06	
5階	存清実習室ほか	301.78	301.78
6階	彫漆実習室ほか	301.78	301.78
7階	蒔醬実習室ほか	301.78	301.78
塔屋	その他	73.21	73.21
延べ面積			4,628.02

3 平面図

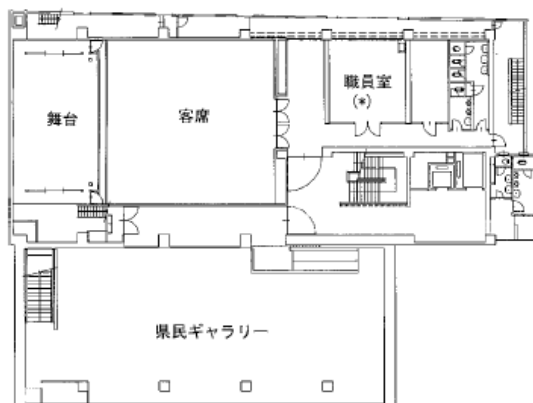
1階平面図



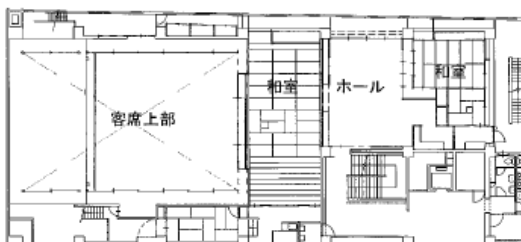
2階平面図



3階平面図



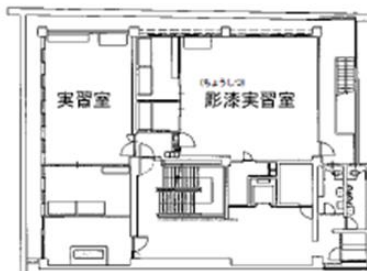
4階平面図



5階平面図(*)



6階平面図(*)



7階平面図(*)



図(*)は漆芸研究所

地階平面図



V 条例・規則等

(令和3年4月1日現在)

香川県立ミュージアム条例

(平成11年3月19日条例第6号)

(設置)

第1条 歴史、芸術及び民俗に関する県民の理解を深めるとともに、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館として、香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)を高松市に設置する。

2 ミュージアムの分館として、瀬戸内海歴史民俗資料館及び香川県文化会館を置く。

(職員)

第2条 ミュージアムに、館長、学芸員その他の職員を置く。

(使用料の納入)

第3条 ミュージアムを利用する者は、香川県使用料、手数料条例(昭和27年香川県条例第2号)の定めるところにより、使用料を納入しなければならない。

(利用の許可)

第4条 ミュージアムを利用しようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

(委任)

第5条 この条例に定めるもののほか、ミュージアムの管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成11年11月16日から施行する。
(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

2 香川県使用料、手数料条例の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則(平成16年3月26日条例第28号)

この条例は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月20日条例第39号)

(施行期日)

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。

(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

2 香川県使用料、手数料条例(昭和27年香川県条例第2号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則(平成19年12月21日条例第72号)

(施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

2 香川県使用料、手数料条例(昭和27年香川県条例第2号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

(附属機関を構成する委員その他の構成員の報酬等に関する条例の一部改正)

3 附属機関を構成する委員その他の構成員の報酬等に関する条例(昭和32年香川県条例第43号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

(議会の議決に付すべき公の施設の長期かつ独占的な利用の許可に関する条例の一部改正)

4 議会の議決に付すべき公の施設の長期かつ独占的な利用の許可に関する条例(昭和39年香川県条例第28号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

香川県立ミュージアム規則

(平成11年4月23日教育委員会規則第16号)

(趣旨)

第1条 この規則は、香川県立ミュージアム条例(平成11年香川県条例第6号。以下「条例」という。)第4条及び第5条の規定に基づき、香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(業務)

第2条 ミュージアムは、次の業務を行う。

(1) 歴史、芸術及び民俗に関する資料(以下「資料」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。

(2) 資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行うこと。

(3) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。

(4) 歴史、芸術及び民俗についての講演会、講習会等を開催すること。

(5) 前各号に掲げるもののほか、ミュージアムの目的を達成するために必要なこと。

(開館時間)

第3条 ミュージアム（瀬戸内海歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）及び香川県文化会館（以下「文化会館」という。）を除く。次条第1項において同じ。）

の開館時間は、次に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定める時間とする。

(1) 駐車場以外の施設 午前9時から午後5時まで

(2) 駐車場 午前9時から午後10時まで

2 資料館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

3 文化会館の開館時間は、次に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定める時間とする。

(1) 県民ギャラリー 午前9時から午後5時まで

(2) 芸能ホール及び和室 午前9時から午後10時まで

4 教育委員会は、特別展示室又は県民ギャラリーで展覧会を開催する場合その他必要があると認める場合は、前3項の規定にかかわらず、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第4条 ミュージアムの休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

(2) 12月29日から翌年1月3日までの日

2 資料館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（その日が休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

(2) 12月29日から翌年1月3日までの日

3 文化会館の休館日は、12月29日から翌年1月3

日までの日とする。

4 教育委員会は、特別展示室で展覧会を開催する場合その他必要があると認める場合は、前3項の規定にかかわらず、休館日を変更し、又は休館日を設けることができる。

(利用の許可を要する施設)

第5条 ミュージアムのうち条例第4条の許可を受けなければならない施設は、特別展示室（常設展示室、ロビー又はエントランスホールのうち特別展示室と併せて展示の用に供される部分を含む。）講堂及び研修室並びに芸能ホール、県民ギャラリー及び和室（以下「特別展示室等」という。）とする。

(利用の許可)

第6条 特別展示室等に係る条例第4条前段の規定による利用の許可（以下「利用許可」という。）を受けようとする者は、香川県立ミュージアム利用許可申請書（第1号様式）又は香川県立ミュージアム香川県文化会館利用許可申請書（第1号様式の2）（以下「利用許可申請書」という。）を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の利用許可申請書は、利用しようとする日（2日以上継続して利用しようとする場合は、その初日）の1年前から7日前までに提出しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要があると認める場合は、この限りでない。

3 教育委員会は、利用許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可をしないことができる。

(1) ミュージアムの秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。

(2) ミュージアムの施設又は設備を損傷するおそれがあると認められるとき。

(3) ミュージアムの利用により暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団を利するおそれがあると認められるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、ミュージアムの管理上支障があると認められるとき。

4 利用許可には、ミュージアムの管理上必要な範囲

内で条件を付することができる。

(利用の許可の変更)

第7条 利用許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、条例第4条後段の規定による変更の許可(以下「変更許可」という。)を受けようとするときは、香川県立ミュージアム利用許可変更申請書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前条第3項及び第4項の規定は、変更許可について準用する。

(利用の中止の届出)

第8条 利用者は、施設の利用を中止しようとするときは、香川県立ミュージアム利用中止届(第3号様式)により、教育委員会に届け出なければならない。

(資料画像等の利用の許可)

第9条 ミュージアム(文化会館を除く。)の保管に係る資料画像等の利用をしようとする者は、資料画像等利用許可申請書(第4号様式)を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

2 第6条第3項及び第4項の規定は、前項の許可について準用する。この場合において、同条第3項第3号中「ミュージアムの利用」とあるのは、「ミュージアムの利用又は資料画像等の利用」と読み替えるものとする。

第10条から第12条まで 削除

(利用の許可の取消し等)

第13条 教育委員会は、利用者又は第9条第1項の許可を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可若しくは変更許可若しくは同項の許可を取り消し、又はミュージアムの利用若しくは資料画像等の利用の停止を命ずることができる。

(1) この規則の規定に違反し、又は教育委員会の指示に従わなかったとき。

(2) 偽りその他不正の手段により利用許可若しくは変更許可又は第9条第1項の許可を受けたとき。

(3) 第6条第3項各号(第9条第2項において準用する場合を含む。)のいずれかに該当することとなったとき。

(4) 第6条第4項(第7条第2項及び第9条第2項において準用する場合を含む。)の規定により付された

許可の条件に違反したとき。

(5) 納期限までに使用料を納付しないとき。

(入館の拒否等)

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、ミュージアムへの入館を拒否し、又はミュージアムからの退館を命ずることができる。

(1) 他人に迷惑を及ぼした者

(2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑となるおそれのある物品を携帯する者

(3) 前2号に掲げるもののほか、ミュージアムの管理上支障があると認められる者

(損害賠償の責任)

第15条 利用者又は第9条第1項の許可を受けた者は、その責めに帰すべき理由により利用許可若しくは変更許可若しくは同項の許可を取り消され、又はミュージアムの利用若しくは資料画像等の利用を停止されたために損害を被る場合においても、その損害の賠償を請求することができない。

2 ミュージアムの施設、設備、器具、展示品等を損傷させ、又は滅失させた者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。

3 ミュージアムに保管を委託された資料が、災害その他の不可抗力によって損傷し、又は滅失した場合は、損害賠償の責任を負わない。

(補則)

第16条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成11年11月16日から施行する。

附 則(平成12年3月31日教育委員会規則第23号)

1 この規則は、平成12年4月1日から施行する。

2 改正前の第1号様式による用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則(平成13年3月27日教育委員会規則第11号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成13年5月8日教育委員会規則第16号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成13年7月24日教育委員会規則第18号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 14 年 3 月 29 日教育委員会規則第 21 号）

この規則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 15 年 3 月 31 日教育委員会規則第 7 号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

（香川県歴史博物館規則の一部改正に伴う経過措置）

3 この規則の施行の際現に交付されている第 3 条の規定による改正前の香川県歴史博物館規則第 11 条第 1 項第 1 号又は第 2 号に規定する証票は、それぞれ第 3 条の規定による改正後の同規則第 11 条第 1 項第 1 号又は第 2 号に規定する証票とみなす。

4 この規則の施行の際現に香川県歴史博物館の駐車場を第 3 条の規定による改正前の香川県歴史博物館規則別表第 5 号の表に規定する 5,590 円券により利用している者の当該利用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成 16 年 3 月 29 日教育委員会規則第 4 号抄）

1 この規則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 18 年 3 月 31 日教育委員会規則第 4 号）

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 18 年 7 月 28 日教育委員会規則第 28 号）

この規則は、平成 18 年 8 月 1 日から施行する。ただし、別表第 5 号の表の改正規定中「7,800 円券」を「6,000 円券」に、「6,500 円」を「5,000 円」に、「13,000 円券」を「1 万円券」に、「10,500 円」を「8,000 円」に改める部分は、同年 9 月 1 日から施行する。

附 則（平成 18 年 9 月 29 日教育委員会規則第 29 号）

1 この規則は、平成 18 年 10 月 1 日から施行する。

2 障害者自立支援法（平成 17 年法律第 123 号）附則第 41 条第 1 項の規定によりなお従前の例により運営されている身体障害者更生援護施設、同法附則第 58 条第 1 項の規定によりなお従前の例により運営されている知的障害者援護施設又は同法附則第 48 条の規定によりなお従前の例により運営されている精神障害者社会復帰施設の在籍者で、当該施設の職員が引率の上入室するものについては、第 3 条の規定による改正後の香川県立ミュージアム規則第 11 条第 1 項の規定にかかわらず、同法附則第 1 条第 3 号に掲げる規定の施行の日の前日までの間は、なお従前の例により観覧料を

免除する。

附 則（平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 5 号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

3 第 3 条の規定による改正前の香川県歴史博物館規則第 1 号様式から第 4 号様式までによる用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則（平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 6 号）

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 20 年 3 月 25 日教育委員会規則第 5 号）

（施行期日）

1 この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

2 この規則の施行の日の前日までに香川県歴史博物館の利用の申請を行った者の当該利用の許可に係る使用料の額については、なお従前の例による。

3 改正前の第 1 号様式から第 4 号様式までによる用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則（平成 20 年 3 月 25 日教育委員会規則第 6 号）

この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 20 年 10 月 31 日教育委員会規則第 19 号）

この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 5 条及び第 6 条の改正規定並びに第 1 号様式の次に 1 様式を加える改正規定は、公布の日から施行する。

附 則（平成 20 年 11 月 21 日教育委員会規則第 20 号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成 20 年 12 月 1 日から施行する。

附 則（平成 21 年 2 月 10 日教育委員会規則第 2 号）

この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号）

1 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

2 この規則の施行の日の前日までに香川県立ミュージアムの利用の申請を行った者の当該利用の許可に係る使用料の額については、なお従前の例による。

附 則（平成 23 年 3 月 31 日教育委員会規則第 9 号）

この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 23 年 3 月 31 日教育委員会規則第 11 号）

この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 24 年 3 月 30 日教育委員会規則第 8 号）

この規則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 3 月 29 日教育委員会規則第 10 号）

この規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 27 年 3 月 27 日教育委員会規則第 2 号）

1 この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

2 改正前の第 1 号様式による用紙は、当分の間、修正して使用することができる。

教育委員会の権限に属する事務の委任

（平成 19 年 4 月 6 日教育委員会告示第 7 号）

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 180 条の 7 の規定により、平成 19 年 4 月 1 日から次の表の左欄に掲げる者に当該右欄に掲げる香川県教育委員会の権限に属する事務を委任した。

左 欄	右 欄
政策部 文化芸 術局長	1 香川県立ミュージアムの管理運営に関する事務（重要なものに限る。）
香川県 立ミュ ージア ム館長	1 香川県立ミュージアム条例（平成 11 年香川県条例第 6 号）第 4 条に規定する利用の許可及び利用の許可の変更に関する事 と。 2 香川県立ミュージアム規則（平成 11 年香川県教育委員会規則第 16 号。以下「ミュージアム規則」という。）第 3 条第 4 項に規定する開館時間の変更 3 ミュージアム規則第 4 条第 4 項に規定する休館日の変更及び設定

4 ミュージアム規則第 8 条に規定する利用の中止の届出の受理

5 ミュージアム規則第 9 条に規定する資料画像等の利用の許可に関する事
と。

6 ミュージアム規則第 13 条に規定する利用許可若しくは変更許可若しくは資料画像等の利用の許可の取消し又は香川県立ミュージアムの利用若しくは資料画像等の利用の停止の命令に関する事
と。

7 ミュージアム規則第 14 条に規定する入館の拒否及び退館の命令に関する事
と。

8 地方自治法第 238 条の 4 第 7 項に規定する行政財産の使用の許可に関する事
と。

9 ミュージアム規則に定めるもののほか、香川県立ミュージアムの管理運営に必要な事項を定める事
と（政策部文化芸術局長の項に定めるものを除く。）。

前 文（抄）（平成 20 年 3 月 28 日教育委員会告示第 1 号）

平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

前 文（抄）（平成 23 年 3 月 31 日教育委員会告示第 4 号）

平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

前 文（抄）（平成 25 年 3 月 29 日教育委員会告示第 2 号）

平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

前 文 (抄) (平成 27 年 3 月 31 日教育委員会告示第 1 号)

平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

香川県立ミュージアムの管理運営のための組織規則

(平成 19 年 3 月 30 日規則第 29 号)

(趣旨)

第 1 条 この規則は、香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)の管理運営を行うための組織について定めるものとする。

(組織)

第 2 条 ミュージアムに、総務課、学芸課、瀬戸内海歴史民俗資料館(以下「資料館」という。)及び香川県文化会館(以下「文化会館」という。)を置く。

(分掌事項)

第 3 条 総務課は、次の事務を処理する。

- (1) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
- (2) 予算、決算及び会計に関すること。
- (3) 施設及び設備の利用及び管理に関すること。
- (4) 公印の管理に関すること。
- (5) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、学芸課、資料館及び文化会館の所掌に属しない事項に関すること。

2 学芸課は、次の事務を処理する。

- (1) 歴史、芸術及び民俗に関する資料(以下「資料」という。)の収集及び保管に関すること。
- (2) 資料の展示に関すること。
- (3) 資料の利用についての説明、助言、指導等に関すること。
- (4) 資料の専門的又は技術的な調査研究に関すること。
- (5) 歴史、芸術及び民俗についての講演会、講習会等の開催に関すること。

3 資料館は、次の事務を処理する。

- (1) 瀬戸内地方の資料の収集及び保管に関すること。
- (2) 瀬戸内地方の資料の展示に関すること。
- (3) 瀬戸内地方の資料の利用についての説明、助言、指導等に関すること。

(4) 瀬戸内地方の資料の専門的又は技術的な調査研究に関すること。

(5) 瀬戸内地方の歴史及び民俗についての講演会、講習会等の開催に関すること。

(6) 前各号に掲げるもののほか、館長が資料館に処理させることが適当と認めた事務に関すること。

4 文化会館は、次の事務を処理する。

- (1) 文化会館の施設、附属設備、器具等の利用及び管理に関すること。
- (2) 公印の管理に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、館長が文化会館に処理させることが適当と認めた事務に関すること。

(職員)

第 4 条 ミュージアムに、次の職員を置く。

- (1) 館長
- (2) 副館長
- (3) 課長
- (4) 瀬戸内海歴史民俗資料館長
- (5) 香川県文化会館長
- (6) 香川県文化会館次長
- (7) 副主幹
- (8) 主任専門職員
- (9) 主任専門学芸員
- (10) 主任文化財専門員
- (11) 主任
- (12) 専門職員
- (13) 専門学芸員
- (14) 文化財専門員
- (15) 主任学芸員
- (16) 学芸員
- (17) その他の職員

(職務)

第 5 条 館長は、上司の命を受けて、ミュージアムの業務を掌理し、所属の職員を指揮監督する。

2 副館長は、館長を補佐する。

3 課長は、上司の命を受けて、課の事務を処理する。

4 瀬戸内海歴史民俗資料館長は、上司の命を受けて、資料館の事務を処理する。

5 香川県文化会館長は、上司の命を受けて、文化会

館の事務を処理する。

6 香川県文化会館次長は、香川県文化会館長を補佐する。

7 副主幹及び主任は、上司の命を受けて、事務を処理する。

8 主任専門職員、主任専門学芸員、主任文化財専門員、専門職員、専門学芸員、文化財専門員、主任学芸員及び学芸員は、上司の命を受けて、ミュージアムの専門的事務を処理する。

9 その他の職員は、上司の命を受けて、事務に従事する。

(補則)

第6条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの組織に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年3月28日規則第25号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年3月27日規則第28号)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

香川県立ミュージアム使用料規則

(平成25年3月29日規則第16号)

(趣旨)

第1条 この規則は、香川県立ミュージアム条例(平成11年香川県条例第6号)第1条第1項の香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)の使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(使用料)

第2条 香川県使用料、手数料条例(昭和27年香川県条例第2号)別表第1 第1表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアムの項に規定する規則で定める額並びに特別展示室を分割して利用する場合の使用料、利用時間を分割して利用する場合の使用料、午後5時後の時間において利用する場合の使用料並びに冷暖房使用料及び電気特別使用料並びに駐車場を回数券により利用する場合の使用料、同表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアム瀬戸内海歴史民俗資料館の項に規定する規則で定める

額並びに同表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアム香川県文化会館の項に規定する規則で定める額並びに芸能ホールを準備又は練習のために利用する場合の使用料、県民ギャラリー又は和室を分割して利用する場合の使用料、芸能ホール又は和室を利用時間を分割して利用する場合の使用料、午後9時後(県民ギャラリーにあっては、午後5時後)の時間において利用する場合の使用料並びに冷暖房使用料及び電気特別使用料は、別表第1のとおりとする。

2 香川県使用料、手数料条例別表第1 第1表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアムの項に規定する歴史展示室、常設展示室及び特別展示室を香川県立ミュージアム年間観覧券(以下「年間観覧券」という。)により観覧する場合の観覧料並びに同表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアム香川県文化会館の項に規定する県民ギャラリーを年間観覧券により観覧する場合の観覧料は、別表第2のとおりとする。

(使用料の還付)

第3条 次の各号のいずれかに該当するときは、当該各号に定める額の使用料を還付する。

(1) 天災地変その他香川県立ミュージアム規則(平成11年香川県教育委員会規則第16号。以下「ミュージアム規則」という。)第7条第1項に規定する利用者(以下「利用者」という。)の責めに帰することができない理由により利用できなくなったとき。 全額

(2) ミュージアム規則第7条第1項に規定する変更許可により過納額が生じたとき。 当該過納額

(3) ミュージアム規則第5条に規定する特別展示室等を利用する日(2日以上継続して利用する場合は、その初日)の1月前までにミュージアム規則第8条の規定による届出があったとき。 半額

(観覧料の免除)

第4条 第1号から第7号までのいずれかに該当する者については歴史展示室、常設展示室及び特別展示室並びに県民ギャラリーの観覧料を、第8号に該当する者については歴史展示室及び常設展示室の観覧料を、第9号に該当する者については特別展示室又は県民ギャラリーを観覧する日に限り歴史展示室及び常設展示

室の観覧料を、第 10 号に該当する者については知事が定める観覧料を免除する。

- (1) 65 歳以上の者
- (2) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条第 4 項の規定により交付を受けた身体障害者手帳に身体上の障害がある者として記載されている者
- (3) 都道府県知事又は地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 252 条の 19 第 1 項に規定する指定都市の市長が交付した療育手帳に本人として記載されている者
- (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条第 2 項の規定により交付を受けた精神障害者保健福祉手帳に精神障害の状態にある者として記載されている者
- (5) 保護施設、児童福祉施設及び老人福祉施設の在籍者で、当該施設の職員が引率の上入室するもの
- (6) 学校等における教育活動として、学齢に達しない者、児童、中学校生徒、高等学校生徒及びこれらに準ずる者を引率の上入室する者
- (7) 国際博物館の日（5 月 18 日（その日がミュージアム規則第 4 条に規定するミュージアムの休館日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休館日でない日））に入室する者
- (8) 法人等会員証（県が法人等（法人その他の団体及び事業を行う個人をいう。以下同じ。）に対し交付するミュージアムの利用に係る証票をいう。以下同じ。）の交付を受けている法人等の関係者であって当該法人等会員証を利用する権利を有する者
- (9) 特別展示室又は県民ギャラリーを観覧する者
- (10) 前各号に掲げる者のほか、知事が特に必要があると認めた者

2 前項第 1 号に掲げる者は、入室の際、同号に該当することを証明するに足りる書類を提示しなければならない。

3 第 1 項第 2 号に掲げる者は、入室の際、身体障害者手帳を提示しなければならない。

4 第 1 項第 3 号に掲げる者は、入室の際、療育手帳を提示しなければならない。

5 第 1 項第 4 号に掲げる者は、入室の際、精神障害

者保健福祉手帳を提示しなければならない。

6 第 1 項第 5 号に掲げる者は、入室の際、当該施設に在籍していることを証明するに足りる書類を提示しなければならない。

7 第 1 項第 6 号に掲げる者は、あらかじめ、観覧料免除申請書（別記様式）を知事に提出し、その許可を受けなければならない。

8 第 1 項第 8 号に掲げる者は、入室の際、法人等会員証を提示しなければならない。

9 第 1 項第 9 号に掲げる者は、入室の際、特別展示室観覧券又は県民ギャラリー観覧券を提示しなければならない。

（観覧料の減額）

第 5 条 次の各号のいずれかに該当する者については、歴史展示室、常設展示室及び特別展示室並びに県民ギャラリーの観覧料を、団体で利用する場合における歴史展示室、常設展示室及び特別展示室並びに県民ギャラリーの観覧料に相当する額に減額する。

(1) かがわウェルカムカード（公益社団法人香川県観光協会が外国人に対し交付する証票で、当該外国人が県内の観光に関する施設等を利用する際に提示することにより当該利用に係る料金の割引等を受けることができるものをいう。以下同じ。）の交付を受けている者

(2) 文化観光施設入場割引券（公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローが県内で開催される大会等の参加者に対し交付する証票で、当該参加者が県内の観光に関する施設等を利用する際に提出することにより当該利用に係る料金の割引を受けることができるものをいう。以下同じ。）の交付を受けている者

(3) 前 2 号に掲げる者のほか、知事が特に必要があると認めた者

2 前項第 1 号に掲げる者は、入室の際、かがわウェルカムカードを提示しなければならない。

3 第 1 項第 2 号に掲げる者は、入室の際、文化観光施設入場割引券を提出しなければならない。

4 次の各号のいずれかに該当する者については、特別展示室及び県民ギャラリーの観覧料を、その 2 分の 1 に相当する額に減額する。この場合において、10 円

未満の端数は切り捨てるものとする。

(1) 年間観覧券の交付を受けている者（以下「パスポート会員」という。）（年間観覧券により観覧する場合を除く。）

(2) パスポート会員に同行して観覧する者（観覧 1 回につき 1 人に限る。）

5 前項第 1 号に掲げる者は、入室の際、年間観覧券を提示しなければならない。

6 年齢に達しない者、児童、中学校生徒、高等学校生徒及びこれらに準ずる者並びに前条第 1 項第 1 号から第 4 号までのいずれかに該当する者については、第 2 条第 2 項に規定する観覧料を、その 3 分の 1 に相当する額に減額する。この場合において、10 円未満の端数は、切り捨てるものとする。

(資料画像等使用料の免除)

第 6 条 次の各号のいずれかに該当する者については、資料画像等使用料を免除する。

(1) 歴史、芸術及び民俗に関する教育、学術上の調査研究又は啓発を目的として資料画像等の利用をする者

(2) ミュージアムの広報に資する用途に供することを目的として資料画像等の利用をする者

(3) 前 2 号に掲げる者のほか、知事が特に必要があると認めたる者

(補則)

第 7 条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの使用料に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 26 年 3 月 31 日規則第 30 号）

この規則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 27 年 3 月 27 日規則第 14 号）

この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 28 年 3 月 31 日規則第 22 号）

この規則は平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

付 則（平成 29 年 3 月 14 日規則第 9 号）

この規則は平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

付 則（平成 31 年 3 月 19 日規則第 7 号）

この規則は平成 31 年 10 月 1 日から施行する。

(別表省略)

香川県政策部文化芸術局における歴史、美術及び民俗に関する資料収集方針

(趣旨)

第 1 条 この収集方針（以下「方針」という。）は、香川県政策部文化芸術局（以下「局」という。）における歴史、美術及び民俗に関する資料収集方針について定めるものとする。

(方針)

第 2 条 方針は、「収集の目的」、「資料の範囲」、「収集の対象」について別表のとおり定めるものとする。

(資料収集要綱等)

第 3 条 局の所管する各文化施設は、別に定める収集要綱及び要領等に基づき、資料収集、調査研究、鑑定評価等の手続きを行うものとする。

附 則

1 この方針は、平成 31 年 2 月 1 日から施行する。

別表

	収集の目的	資料の範囲	収集の対象
1 歴 史	香川県の歴史を解明し、その特質を国内外の中に位置付けることで、県民の郷土がもつ文化・歴史への理解を深める。	古文書を始めとする記録資料のほか、考古資料や美術工芸品、民俗・生活資料等の非文字資料もその中に含む。考古資料や民俗・生活資料は、文字資料と一体と	①香川県の歴史・文化を理解する上で必要と認められる資料及び資料群 ②歴史資料として保存すべき価値が高い資料、資料群及びコレクション ③展示、調査研究、学習支援活動を行

		集する場合に、歴史資料として扱う。また、美術工芸品については近世以前に制作されたものを歴史資料として扱う。ただし、資料群として収集する場合はこの限りではない。	<p>う上で必要と認められる資料及び資料群</p> <p>④国指定文化財及び県・市町指定文化財。</p> <p>もしくはそれに準じる資料</p>
--	--	---	--

			<p>外の優れた作品、及びその影響の系譜をたどることができる作品。</p> <p>④現代の表象としての意義がある作品</p> <p>⑤その他、展示、調査研究、学習支援活動を行う上で必要と認められる作品</p> <p>⑥上記の作品を理解するうえで役立つ資料および資料群</p>
3	民俗	香川県及び瀬戸内地方の民俗資料を能動的に収集し、新たなコレクション形成を目指すとともに、現在行われている行事、生活等を積極的に画像や映像で収集し、変化衰滅が著しい民俗文	<p>古くから民間で伝承・使用されてきた衣食住・生産・生業・人の一生・年中行事・信仰等くらしのあらゆる場面で使われていた有形の道具や祭り・行事・民俗芸能等の無形の資料。また、近代以降</p> <p>①香川県及び瀬戸内地方の有形・無形の民俗を理解する上で必要と認められる資料及び資料群、映像等の記録類</p> <p>②民俗資料として保存すべき価値が高い資料、資料群及びコレクション</p>

2	美術	香川県にまつわる芸術の動きをとらえ、国内外の動向に位置づけることでその魅力を紹介する等により、県民が美術に親しみ、文化芸術への関心をさらに高め、創造性を育む機会を充実させる。	<p>創造的行為の産物であり、かつ時代状況を反映するような意義を持つ作品及びその関連資料。</p> <p>①香川県及び瀬戸内地方にゆかりのある優れた作品</p> <p>②国内の近代以降の絵画、版画、彫刻・立体造形、工芸、デザイン、建築、写真、書等の流れをたどることができる作品</p> <p>③香川県及び国内の近現代美術に大きな影響を与えた国</p>
---	----	---	---

	<p>化の記録と 衰滅後の復 活に資する。 また、近代以 降の生活の 変化を物語 る再現展示 を可能にする 道具・資料 の体系的収 集を目指す。</p>	<p>の生活の変 化を示す電 気製品を始 めとする機 械製品など 大量生産品 などの資料。</p>	<p>ン ③国指定文 化財及び県・ 市町指定文 化財。もしくはそれに準 じる資料 ④展示、調査 研究、学習支 援活動を行 う上で必要 と認められ る資料及び 資料群 ⑤近代・現代 の生活資料 (大量生産 品を含む)の うち、世相や 流行を反映 したものや、 生活様式を 大きく変化 させたもの 等、歴史的・ 社会的・技術 史的に重要 性が認めら れる資料及 び資料群</p>
--	--	---	---

香川県政策部文化芸術局における歴史、美術 及び民俗に関する資料収集要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、香川県政策部文化芸術局（以下「局」という。）における歴史、美術及び民俗に関する資料（以下「資料」という。）の収集に関し、必要な事項を定める。

(収集する資料)

第2条 収集は、「香川県政策部文化芸術局の歴史、美術及び民俗に関する資料収集方針」に基づき、歴史、美術及び民俗に関する実物のほか、標本、複写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード、電磁的記録その他の資料について行う。

(資料収集の方法)

第3条 資料の収集は、次の各号に掲げる方法により行う。

- (1) 購入
- (2) 寄贈
- (3) 寄託
- (4) 発掘・採集
- (5) 製作

(資料の調査研究・鑑定評価・意見聴取)

第4条 局の所管する各文化施設の長（以下「各文化施設の長」という。）は、資料を収集しようとするときは、あらかじめ当該資料について調査研究及び鑑定評価を行うものとする。

2 購入価格が1件100万円を超える資料を購入しようとするときは、長が別に定めるところにより意見聴取を行うものとする。

(申込書の提出)

第5条 各文化施設の長は、寄贈又は寄託の申込みがあった資料を収集しようとするときは、速やかに当該資料の所有者に対し、寄贈申込書（様式1）又は寄託申込書（様式2）の提出を求めるものとする。ただし、寄贈申込書又は寄託申込書により難いときは、その都度別に定めるところによるものとする。

(寄託契約)

第6条 寄託資料は、歴史、美術及び民俗に関する資料寄託契約書（様式3）に目録を添付し、受託するものとする。

(寄託期間)

第7条 寄託契約の期間は、原則として2年とし、期間満了の2か月前までにいずれか一方から文書による別段の意思表示がないときは、自動的に契約期間を更新したものとする。ただし、契約期間中において、特別な事情が生じたときは、寄託者と協議の

うえ寄託資料を返還するものとする。

(受領書の交付)

第8条 寄贈資料又は寄託資料を受領した場合は、速やかに受領書(様式4)を寄贈申込者又は寄託申込者に交付する。

(感謝状の贈呈)

第9条 資料の寄贈申込者に対しては、資料の寄贈に伴う感謝状贈呈基準(別記)に基づいて感謝状の贈呈を行うものとする。ただし、特別の事情がある場合は、その都度別に定めるものとする。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、資料の収集に関し必要な事項は、各文化施設の長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成31年2月1日から施行する。
- 2 「香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料収集要綱」は廃止する。
- 3 「香川県立東山魁夷せとうち美術館の美術資料収集に関する要綱」は廃止する。
- 4 「香川県漆芸研究所に対する漆工芸資料の寄贈に関する要綱」は廃止する。
- 5 この要綱の施行日前に附則2項から4項までに規定する要綱の規定に基づいてなされた寄附申込、寄託契約その他の手続であって、この要綱に相当の規定があるものは、この要綱の規定に基づいてなされた手続とみなす。

附 則

この要綱は、令和3年9月1日から施行する。

利用案内（令和3年4月1日現在）

◆本館

- 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
特別展開催時は夜間開館を行う場合があります。
- 休館日 ・毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日）
・年末年始
ただし、ゴールデンウィークの期間は無休
- 観覧料 常設展（歴史展示室・常設展示室）
一般個人 410円
一般団体（20人以上） 330円
・特別展は展覧会により異なります。
・特別展観覧券で常設展もご覧いただけます。（一部の特別展を除く）
・次の方は観覧料が免除されます。当館受付にて証明するものをご提示ください。
*高校生以下
*65歳以上
*障害者手帳をお持ちの方
*学校教育活動の一環として児童生徒と入室する引率者
*このほかにも無料もしくは免除になる場合があります。
- 交通案内 J R 高松駅から東へ900m
ことடன்高松築港駅から東へ800m
ことடன்片原町駅から北へ500m
・岡山・愛媛・高知方面から
高松自動車道高松西 I C より車で約30分
・徳島方面から
高松自動車道高松中央 I C より車で約25分
・高松空港から
J R 高松駅までリムジンバスで35分
- 駐車場 地下駐車場（普通乗用車50台）
・使用料：25分ごとに100円
・使用時間：午前9時～午後10時
別に、大型バス3台駐車可能（事前申込が必要です。）
近くに香川県玉藻町駐車場（有料）があります。



〒760-0030 高松市玉藻町5番5号

TEL. 087-822-0002（代）

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/kmuseum>

◆分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

- 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
 休館日 ・毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日）
 ・年末年始（12月29日～1月3日）
 観覧料 無料
 交通案内 五色台北端部に立地
 ・JR高松駅から車で約25分、JR坂出駅から車で約30分
 ・坂出北ICから車で約30分
 （いずれも県道高松王越坂出線の大崎ノ鼻経由）
 駐車場 普通車30台、大型バス可（無料）



〒761-8001 高松市亀水町 1412-2
 TEL. 087-881-4707
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/setorekishi/>

◆分館 香川県文化会館

- 利用時間 県民ギャラリー 午前9時～午後5時（金曜日は午後7時30分まで）
 芸能ホール・和室 午前9時～午後10時
 休館日 年末年始（12月29日～1月3日）
 交通案内 JR高松駅から南へ1.5km
 ことでん瓦町駅から西へ1.2km
 駐車場 香川県番町地下駐車場（有料）
 高松市立中央駐車場（有料）



〒760-0017 高松市番町1-10-39
 TEL. 087-831-1806

香川県立ミュージアム年報 第14号（令和3年度）

発行日 令和4（2022）年8月31日

編集発行 香川県立ミュージアム

香川県高松市玉藻町5番5号

TEL（087）822-0002（代） FAX（087）822-0043

URL <https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/kmuseum>